

MP3/WMA (CD-R/RW)

MP3/WMAについて	366~371
MP3/WMAを使う	372~379
各部の名称とはたらき	372
表示部(再生画面)について	373
MP3/WMAを聞く	374、375
MP3/WMAモードを終了する	375
MP3/WMAディスクを取り出す	375
1ファイルずつ選曲する (トラックを戻す/進める)	376
早戻し/早送りをする	376
再生を一時停止する	377
トラックリストより好きなトラックを選び 再生させる	377、378
好きなフォルダを選ぶ	378
リピート(繰り返し)再生する	379
ランダム(順序不同)再生をする	379
スキャン(イントロ)再生をする	379

MP3/WMAについて(1)

■MP3とは？

MP3 (MPEG Audio Layer 3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

■WMAとは？

WMA (Windows Media™ Audio) は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

■再生可能なMP3/WMAファイルの規格について

	MP3	WMA
対応規格	MPEG Audio Layer 3	Windows Media Audio* ¹
対応サンプリング周波数	☞ 370ページ参照	☞ 371ページ参照
対応ビットレート* ²		

*1印：●DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。

●Windows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応していません。

*2印：●一般的にビットレートが高くなるほど音質はよくなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用をおすすめします。

●VBRに対応しています。

●フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

※極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

■使用できるメディアについて

●MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。

※CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。

●一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

■ファイル名について

●MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“MP3”/WMAの拡張子“WMA”が付いたものだけです。

●MP3ファイルには“MP3”、WMAのファイルには“WMA”の拡張子を付けて保存してください。
※拡張子名“MP3”/WMAは大文字でも小文字でもかまいません。



オーディオ

MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMAファイル以外に、“MP3”/“WMA”の拡張子を付けしないでください。MP3/WMA以外の形式のファイルは動作を保証していません。

■ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字、2.xは半角64文字です。
 - ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
 - 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。
- ※本機が対応しているID3タグはアーティスト名/トラック名/アルバム名/フォルダ名です。
 ※WMAタグの表示可能文字数は半角32文字です。
 ※対応バージョンはVer 1.0/1.1/2.2/2.3となります。

■マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3/WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイルナライズ処理をしてください。

■MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックしますので、通常の音楽CDより時間がかかります。



アドバース

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音はできません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(飛ばします。)

■MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

■使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるディスクのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1(*)およびレベル2(*)です。

※UDF形式のディスクでの動作保証はしていません。

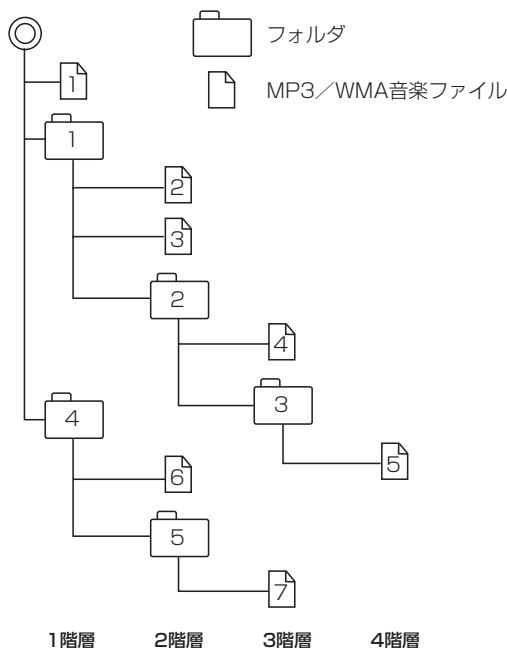
上記フォーマット(*)以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大フォルダ階層 : 8階層
- 最大フォルダ名/ファイル名文字数 : 全角、半角ともに32文字
- フォルダ名/ファイル名使用可能文字 : A~Z、0~9、_(アンダースコア)、JIS第一水準
- 1メディア内の最大ファイル数 : 255
- 最大フォルダ数 : 100
- マルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライト/m3u/MP3iフォーマット/MP3 PROフォーマット/ディエンファシスには対応していません。

MP3/WMAについて(2)

階層と再生順序のイメージ



- パソコンからのコピーの際に意図しない並び替えが発生することがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のSDカードでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 通常は、①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順に再生します。
- 8階層までのMP3およびWMAファイルの再生に対応しています。

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層をなるべく少なくすることをおすすめします。

■著作権保護がある音楽ファイルについて

本機では著作権保護された音楽ファイルは再生できません。

※著作権保護とは著作者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

■MP3/WMAファイルの作り方について

MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

□インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。

音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は本機では再生できません。

□音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ(変換)ソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3/WMA形式のファイルに変換することで、12cmの音楽CD1枚(最大74分収録/データ容量650MB)が約65MBのデータ量(約10分の1)になります。(詳しくはエンコーダソフト等の説明を参照してください。)

本機はWMAのDRM(デジタル著作権管理)に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“取り込んだ音楽を保護する(Ver.によって表現が異なる場合があります。)”の項目にチェックを付けしないでください。

□CD-R/CD-RWに書き込む場合

MP3/WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。

□SDカードに書き込む場合

MP3/WMAファイルをパソコンに接続されているSDカード・スロットを介してSDカードに書き込みます。



アドバンス

- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクやSDカードにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- MP3/WMAファイルの作成の詳しくはエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書をご覧ください。
- MP3/WMAファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行っていないディスクは再生できません。

MP3/WMAについて(3)

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3

	MPEG1	MPEG2
サンプリング周波数 (kHz)		
16.000	—	○
22.050	—	○
24.000	—	○
32.000	○	—
44.100	○	—
48.000	○	—
ビットレート (kbps)		
8	—	○
16	—	○
24	—	○
32	○	○
40	○	○
48	○	○
56	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
112	○	○
128	○	○
144	—	○
160	○	○
192	○	—
224	○	—
256	○	—
320	○	—
VBR	○	○

※VBR：可変ビットレート

WMA

	WMA7	WMA9 standard
サンプリング周波数 (kHz)		
32.000	○	○
44.100	○	○
48.000	—	○
ビットレート (kbps)		
48	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
128	○	○
160	○	○
192	○	○
256	—	○
320	—	○
VBR	—	○

※VBR：可変ビットレート

●表示可能なID3/WMAタグ

Song Title、Artist Name、Album Title

※MP3のID3タグはVer1.0、Ver1.1、Ver2.2、Ver2.3に対応しています。

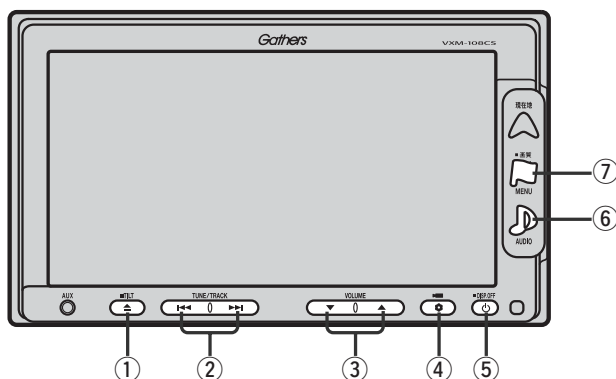
●フォルダ番号、トラック番号について

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

- 32kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64kbps以下のビットレートで保存されたMP3/WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- WMA9 Professional/WMA9 Losslessには対応していません。

MP3/WMAを使う(1)

各部の名称とはたらき



① TILT ボタン(▲)

パネルをオープンさせて、ディスクを入れる／取り出すときに使用します。(374、375ページ)

② トラック ボタン(◀◀/▶▶)

好きな曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(◀◀)／早送り(▶▶)します。(376ページ)

③ VOLUME ボタン(▼/▲)

音量の増減を調整します。
▼：音量減 ▲：音量増

④ OPTION ボタン(⊙)

オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。(267、268ページ)

⑤ 電源 ボタン(⏻)

- オーディオ操作をON/OFFするときに使用します。
- 2秒以上長押しで画面を消します。(447ページ)

⑥ AUDIO ボタン(🎧)

AV SOURCE画面を表示します。
※ナビゲーション/ラジオ(FM/AM)/ワンセグ/SD/AUX/VTR★/USB/PHOTOモードからMP3/WMAモードに切り替えるときに使用します。
★印：本機に別売のVTRコードを接続している場合に選択できます。

⑦ 画質 ボタン(📐)

- 2秒以上長押しで画質調整画面が表示されます。(444～446ページ)
- 短押しでナビゲーションモードのメニュー画面が表示されます。(67、68ページ)

表示部(再生画面)について



(例)リビート再生時

①再生時間表示

②再生状態表示

- ▶ : 通常再生
- ▶▶ : 早送り
- ◀◀ : 早戻し
- || : 一時停止

③アーティスト名/トラック名/ アルバム名/フォルダ名表示

④再生ファイル表示

※WMAモードの場合は **WMA** となります。

⑤フォルダー ボタン

前のフォルダに戻ります。

⑥フォルダ+ ボタン

次のフォルダに進みます。

⑦リスト ボタン

リストを表示させて選曲することができます。
(377、378ページ)

⑧スキャン ボタン

曲の頭(イントロ)を約10秒間再生します。
(379ページ)

⑨ランダム ボタン

曲を順序不同で再生します。(379ページ)

⑩リビート ボタン

現在再生中の曲を繰り返し再生します。(379ページ)

⑪再生/一時停止 ボタン

再生中にタッチすると音声が一時的に止まり、
もう一度タッチすると再び再生が始まります。
(377ページ)

⑫切替 ボタン

時計表示に切り替わります。
※時計表示画面で **切替** ボタンをタッチすると、
もとの画面に戻ります。(364ページ)

⑬リピート/ランダム/スキャン選択時に表示

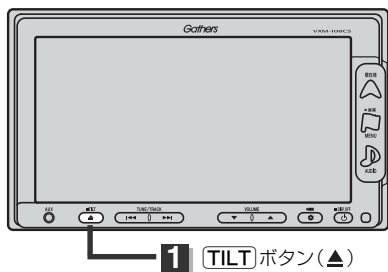
※表示内容につきましては379ページをご覧ください。



- トラック名/ファイル名/アーティスト名/アルバム名の最大表示文字数は全角、半角ともに32文字です。
(本機は漢字・ひらがなに対応しています。)
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名・フォルダ名・トラック名/アーティスト名/アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- トラック名/アーティスト名/アルバム名が記録されていないディスクの場合は、“No Title”と表示されます。

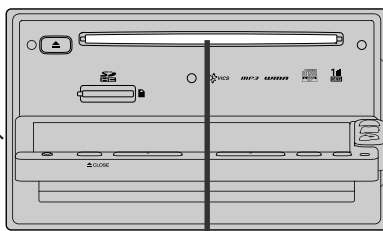
MP3/WMAを使う(2)

[ディスプレイが閉じた状態]



1 TILT ボタン(▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 ディスク挿入口

MP3/WMAを聞く

■ ディスク未挿入の場合

1

TILT ボタン(▲)を押す。

: ディスプレイが開きます。



CDディスクの印刷面を下にして入れるとディスクを認識しません。
必ず印刷面を上にして挿入してください。

2

ディスク挿入口にMP3またはWMAのデータが入ったCDを挿入する。

: 自動でディスプレイが閉じ、MP3またはWMAの再生を始めます。

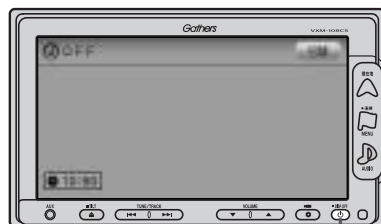
■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回MP3/WMAモード画面でOFF (オーディオモードを終了)していた場合

① 電源 ボタン(⏻)を押す。

: 前回のつづきからMP3/WMAの再生を始めます。

※ AUDIO ボタン(🎧)を押し、CD ボタンをタッチしてもMP3/WMAの再生を始めます。



① 電源 ボタン(⏻)

□ ナビゲーションまたは前回MP3/WMAモード以外のオーディオモード画面の場合

① [AUDIO] ボタン(🎵)を押す。

: AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

■ AV SOURCE画面のときは…
下記手順②へ進んでください。

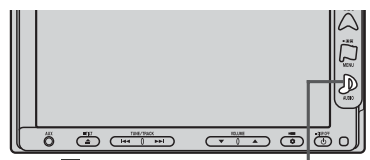
■ ラストモード*画面のときは…
もう一度[AUDIO] ボタン(🎵)を押す。

: AV SOURCE画面が表示されます。

* : 前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)

② [CD] ボタンをタッチする。

: MP3またはWMAの再生を始めます。



① [AUDIO] ボタン(🎵)

(例) AV SOURCE画面



■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

- 👉 「音量を調整する」 297ページ
- 👉 「音質／音量バランスの調整をする」 299、300ページ
- 👉 「映像の調整のしかた」 444～446ページ



MP3/WMAの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

👉 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 449、450ページ

MP3/WMAモードを終了する

1

[電源] ボタン(🔌)を押す。

: 画面に“OFF”と表示されMP3/WMAの再生を止めます。(オーディオモード終了)



1 [電源] ボタン(🔌)



MP3/WMAディスクを取り出す

1

360ページ [CDを取り出す] の手順 1、2 にしたがって操作してください。

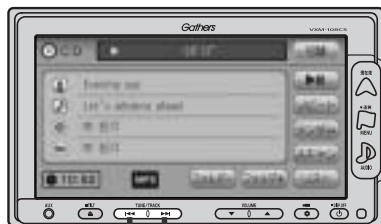
MP3/WMAを使う(3)

1ファイルずつ選曲する(トラックを戻す/進める)

1

トラック ボタン(◀◀/▶▶)を押す。

: 前のファイルに戻る、または次のファイルに進みます。



1 **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。*

*1回押した場合は再生中のファイル(曲)の頭に
戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



アドバイス

- *印: 曲が再生されてから1秒以内に◀◀側を1回押した場合も前のトラックに戻ります。
- **リスト** ボタンをタッチしてトラックリストより選択することもできます。

▶「**トラックリストより好きなトラックを選び再生させる**」377ページ

早戻し/早送りをする

1

トラック ボタン(◀◀/▶▶)を押し続ける。

: 再生中のファイル(曲)の早戻し/早送りを
します。

再生状態表示

▶: 通常再生

▶▶: 早送り

◀◀: 早戻し



1 **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。



アドバイス

それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます。

再生を一時停止する

1 再生／一時停止 ボタン(▶||)をタッチする。

: 音声が一時的に止まります。



一時停止状態

(例)一時停止状態画面



■ 再び再生を始める場合

①一時停止中に再生／一時停止 ボタン(▶||)をタッチする。

: 画面に▶を表示し、再生を止めたつづきから再生を始めます。

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

1 リスト ボタンをタッチする。

: トラックリストが表示されます。

※すでにトラックリスト表示になっている場合は手順 **1** を省略することができます。

MP3モード TOP画面((例)詳細表示)



MP3/WMAを使う(4)

2

再生したいトラックをタッチする。

: 選択したトラックが再生されます。

MP3モード TOP画面((例)トラックリスト表示時)



▲ / ▼ ボタンタッチでつづきを表示

2



アドバイス

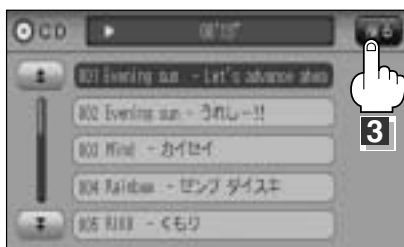
トラックリストについて

トラックリストにはトラック名が表示されます。

3

MP3/WMAモードTOP画面の詳細表示画面に戻るには…

戻る ボタンをタッチする。



好きなフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1

フォルダー- / **フォルダ+** ボタンをタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダー- ボタンをタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ+ ボタンをタッチする。

MP3モード TOP画面((例)詳細表示)



1

リピート(繰り返し)再生をする

1 リピート ボタンをタッチする。

：ボタンが点灯し、リピート機能が働き、再生中の曲を繰り返し再生します。

※もう一度 **リピート** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例)リピート再生画面



リピート再生中はマークが表示されます。

選択時点灯

ランダム(順序不同)再生をする

1 ランダム ボタンをタッチする。

：ボタンが点灯し、順序不同で再生します。

※もう一度 **ランダム** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例)ランダム再生画面



ランダム再生中はマークが表示されます。

選択時点灯



ランダム再生は、次に再生する曲が任意に決められるため同じ曲が連続で再生されることがあります。

アドバイス

スキャン(イントロ)再生をする

1 スキャン ボタンをタッチする。

：ボタンが点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

※もう一度 **スキャン** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例)スキャン再生画面



スキャン再生中はマークが表示されます。

選択時点灯



スキャンを解除すると再生中の曲で通常再生をつづけます。

アドバイス




SD再生(SDカード)

SDカードの音楽再生について	382~384
SDカードを使う	385~393
各部の名称とはたらき	385
表示部(再生画面)について	386
SDカードを聞く	387、388
SDモードを終了する	388
SDカードを取り出す	388
1ファイルずつ選曲する (トラックを戻す/進める)	389
早戻し/早送りをする	389
再生を一時停止する	390
リストより選曲する	390、391
好きなフォルダを選ぶ	392
リピート(繰り返し)再生をする	392
ランダム(順序不同)再生をする	393
スキャン(イントロ)再生をする	393

SDカードの音楽再生について(1)

パソコンからSDカードにMP3/WMA/AAC形式で保存された音楽データを本機で再生することができます。

■SDロゴは商標です。 

■SDHCロゴは商標です。 

■MP3/WMA/AACは音声圧縮フォーマットです。

■AACとはAdvanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3/WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。

※MP3/WMAの説明につきましては366～371ページをご覧ください。

■SDカードについて

- SDカードに記録されている音楽データを本機で編集することはできません。
- SDカードの初期化は本機で行なってください。
☞ 「データを初期化(消去)する」281、282ページ
- SDモードで音楽再生中にSDカードを抜かないでください。
※SDモードを終了(OFF状態に)させてから抜いてください。
- miniSDカード/microSDカードを使用する場合は必ずminiSDカードアダプター/microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、“miniSDカード” / “microSDカード” が取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。
- miniSDカード/microSDカードをminiSDカードアダプター/microSDカードアダプターでご利用の際は、正常に動作しない場合があります。
- microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。
- 本機で再生する音楽データを含めたSDカード内のデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはSDカードの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- ゴミやほこり、そりなどをさけるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所での使用や保存はしないでください。
 - ・使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
 - ・湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3/WMAにつきましては「[P.370](#)、[P.371](#)ページをご覧ください。AACにつきましてはサンプリング周波数16~48kHz、対応ビットレート16~320kbpsとなります。

※32kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

※64kbps以下のビットレートで作成されたMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

■操作可能な機能と対応可能なSDカードの組み合わせは以下のとおりとなります。

機能		SDカード (4GB未満)	SDHCカード (4GB以上 16GB以下)	miniSDカード (アダプター必要)	microSDカード (アダプター必要)
音楽データの再生 「 P.378 ~ P.389 ページ	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○

※本機はclass2、class4、class6のSDHCカードに対応しています。

■MP3/WMA/AACの再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- m3u/MP3iフォーマット/MP3 PROフォーマット/ディエンファシスには対応していません。
- 極端にファイルサイズの大きいファイル、極端にファイルサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行なわれない場合があります。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応していません。
- AACファイルのADIFフォーマットには対応していません。
- 複数のオーディオプログラムが入っているAACファイルの再生はできません。
- 同一ファイル内にオーディオ以外の情報(画像など)が同時に収録されているAACファイルの再生はできません。
- AACの対応プロファイルはLow Complexityのみです。
- AAC(m4a)ファイルに画像データ(iTunesのネットワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合は再生できません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層/1メディア内の最大ファイル数3000/
1フォルダ内の最大ファイル数：255/最大フォルダ数：400となります。
- 選曲モード(「[P.385](#)~[P.388](#)ページ)のフォルダやトラックリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
※正しく表示させるにはファイルの先頭に“01~99”など番号を付け、一度にメディアに書き込むことをおすすめします。
- 著作権保護されたWMA/AACは再生できません。

SDカードの音楽再生について(2)

■ファイル名について

- MP3/WMA/AACと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“mp3”/WMAの拡張子“wma”/AACの拡張子“m4a”が付いたものだけです。
※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
- 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。

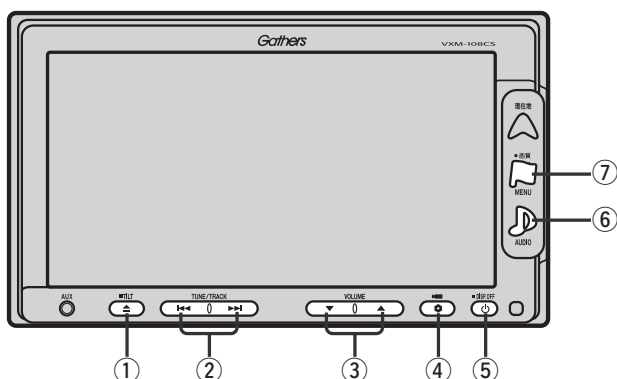
■ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字です。
 - ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。
 - ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
 - 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。
- ※本機が対応しているID3タグはアーティスト名/トラック名/アルバム名/フォルダ名です。
(トラック番号をタグに入れていないファイルはトラック番号を表示しません。)
- ※WMA/AACタグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。

SDカードを使う(1)

各部の名称とはたらき



① TILT ボタン(▲)

パネルをオープンさせて、SDカードを入れる／取り出すときに使用します。(387、388ページ)

② トラック ボタン(◀▶)

好きな曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(◀◀)／早送り(▶▶)します。(389ページ)

③ VOLUME ボタン(▼▲)

音量の増減を調整します。
▼：音量減 ▲：音量増

④ OPTION ボタン(◆)

オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。(267、268ページ)

⑤ 電源 ボタン(⏻)

- オーディオ操作をON/OFFするときに使用します。
- 2秒以上長押しで画面を消します。(447ページ)

⑥ AUDIO ボタン(🎵)

AV SOURCE画面を表示します。

※ナビゲーション／ラジオ(FM/AM)／ワンセグ／CD／MP3／WMA／AUX／VTR★／USB／PHOTOモードからSDモードに切り替えるときに使用します。

★印：本機に別売のVTRコードを接続している場合に選択できます。

⑦ 画質 ボタン(📺)

- 2秒以上長押しで画質調整画面が表示されます。(444～446ページ)
- 短押しでナビゲーションモードのメニュー画面が表示されます。(67、68ページ)

SDカードを使う(2)

表示部(再生画面)について



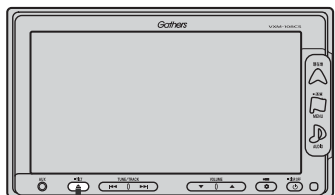
- ①再生時間表示
- ②全曲再生/フォルダ再生の状態を表示する。
(390、391ページ)
- ③再生状態表示
 - ▶ : 通常再生
 - ▶▶ : 早送り
 - ◀◀ : 早戻し
 - || : 一時停止
- ④アーティスト名/トラック名*1/
アルバム名/フォルダ名表示
- ⑤再生ファイル表示
※WMAモードの場合は **再生禁止** となります。
- ⑥ **フォルダー** ボタン
前のフォルダに戻ります。
- ⑦ **フォルダ+** ボタン
次のフォルダに進みます。
- ⑧ **リスト** ボタン
リストを表示させて選曲することができます。
(390、391ページ)
- ⑨ **スキャン** ボタン
曲の頭(イントロ)を約10秒間再生します。
(393ページ)
- ⑩ **ランダム** ボタン
曲を順序不同で再生します。(393ページ)
- ⑪ **リピート** ボタン
現在再生中の曲を繰り返し再生します。(392ページ)
- ⑫ **再生/一時停止** ボタン
再生中にタッチすると音声が一時的に止まり、
もう一度タッチすると再び再生が始まります。
(390ページ)
- ⑬ **切替** ボタン
時計表示に切り替わります。(364ページ)
※時計表示画面で **切替** ボタンをタッチすると、
もとの画面に戻ります。
- ⑭ **リピート/ランダム/スキャン** 選択時に表示
※表示内容につきましては392、393ページをご覧ください。



アドバンス

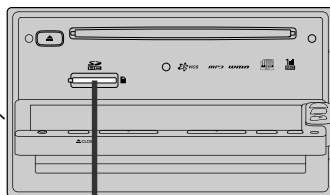
- アーティスト名/トラック名/アルバム名/フォルダ名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アルバム名/アーティスト名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
※*1印:トラック名がない場合はファイル名を表示します。(MP3/WMA/AACの場合)
- 詳細表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(アーティスト名/トラック名/アルバム名/フォルダ名)をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。

[ディスプレイが閉じた状態]



1 [TILT]ボタン(▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 SDカード挿入口

SDカードを聞く

■ SDカード未挿入の場合

1 [TILT]ボタン(▲)を押す。
: ディスプレイ部が開きます。

2 SDカード挿入口にSDカードを
差し込む。
: 自動でディスプレイが閉じます。



- SDカードを差し込むには「**SD**」[SDカードを入れる／取り出すには] 48ページをご覧ください。
- SDカードにつきましては「**SD**」[SDカード／USBメモリデバイスについて] 39、40ページ、「SDカードの音楽再生について」 382～384ページをご覧ください。

■ 他のモード画面を表示している場合

□ 前回SDモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

① [電源]ボタン(⏻)を押す。
: 前回のつづきからSDの再生を始めます。
※[AUDIO]ボタン(🎵)を押し、[SD]ボタンをタッチしてもSDの再生を始めます。

□ ナビゲーションまたは前回SDモード以外のオーディオモード画面の場合

① [AUDIO]ボタン(🎵)を押す。
: AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

■ AV SOURCE画面のときは…
下記手順②へ進んでください。

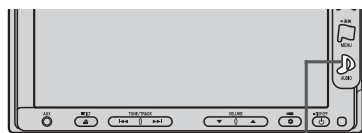
■ ラストモード*画面のときは…
もう一度[AUDIO]ボタン(🎵)を押す。

: AV SOURCE画面が表示されます。
*: 前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)

② [SD]ボタンをタッチする。
: SDの再生を始めます。



① [電源]ボタン(⏻)



① [AUDIO]ボタン(🎵)

(例) AV SOURCE画面



SD再生

〔表示部(再生画面)に「SD」〕 / 〔聞く〕

SDカードを使う(3)

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合


 「音量を調整する」 297ページ

「音質／音量バランスの調整をする」 299、300ページ

「映像の調整のしかた」 444～446ページ



SDカードの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 449、450ページ

SDモードを終了する

1

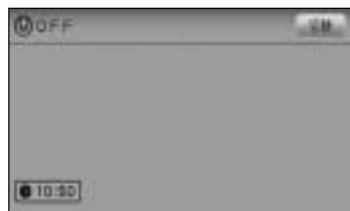
電源 ボタン(⏻)を押す。

: 画面に“OFF”と表示されSDの再生を止めます。(オーディオモード終了)



1

電源 ボタン(⏻)



SDカードを取り出す

1

TILT ボタン(▲)を押す。

: ディスプレイが自動で開きます。

2

SDカードを“カチッ”と音がするまで押したあと、取り出す。



● SDカードを取り出した後同じSDカードを挿入して再度再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。

※SDカード認識中に取り出した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。

● 音楽再生中にSDカードを取り出すとデータがこわれたり、SDカードが破損する恐れがあります。必ずSDモードを終了(OFF)にして取り出してください。

1 ファイルずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1 **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押す。

：前のファイルに戻る、または次のファイルに進みます。

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。*

※1回押した場合は再生中のファイル(曲)の頭に
戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



1 **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)



アドバース

- *印：曲が再生されてから1秒以内に◀◀側を1回押した場合も前のトラックに戻ります。
- **リスト** ボタンをタッチしてリスト(全曲リスト/フォルダリスト)より選択することもできます。

☞ 「**リストより選曲する**」 390、391ページ

早戻し／早送りをする

1 **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押し続ける。

：再生中のファイル(曲)の早戻し／早送りを
します。

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。

再生状態表示

- ▶▶：通常再生
- ▶▶▶▶：早送り
- ◀◀◀◀：早戻し



1 **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)



アドバース

それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます。

SDカードを使う(4)

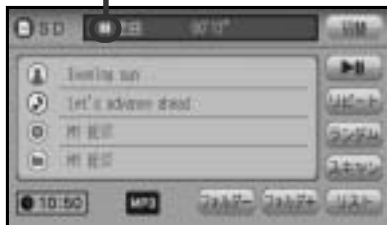
再生を一時停止する

1 **再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。

：音声が一時的に止まります。

一時停止状態

(例)一時停止状態画面



■ 再び再生を始める場合

①一時停止中に **再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。

：画面に▶を表示し、再生を止めたつづきから再生を始めます。

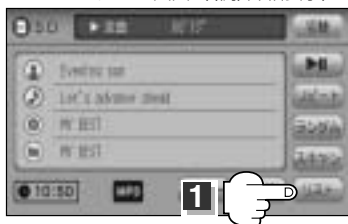
リストより選曲する

1 **リスト** ボタンをタッチする。

：リスト画面が表示されます。

※すでにリスト表示になっている場合は
手順 **1** を省略することができます。

SDモードTOP画面 ((例)詳細表示)



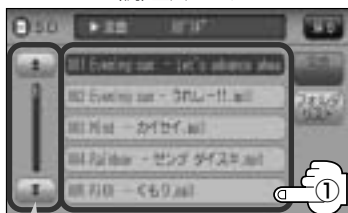
2 リスト内から再生させたい曲(トラック)を選び、タッチする。

■ 全曲リストから選ぶ場合

① 再生させたい曲(トラック)を全曲リストから選びタッチする。

※フォルダリストが表示されている場合は
全曲リスト ボタンをタッチして、
全曲リストを表示させてください。

(例)全曲リスト



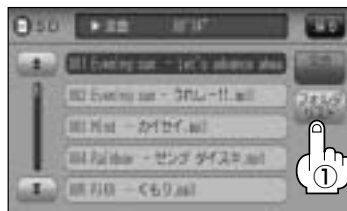
▲ / ▼ ボタンでつづきを表示

■ フォルダリストから選ぶ場合

① **フォルダリスト** ボタンをタッチする。

: フォルダリストが表示されます。

(例) 全曲リスト画面



② フォルダリストから再生させたいフォルダを選びタッチする。

: フォルダ内の曲リストが表示されます。

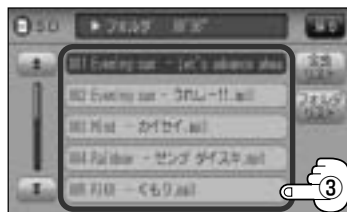
(例) フォルダリスト画面



③ 曲リストから再生させたい曲(トラック)を選びタッチする。

: 曲(トラック)の再生が始まります。

(例) 曲リスト画面



一時停止

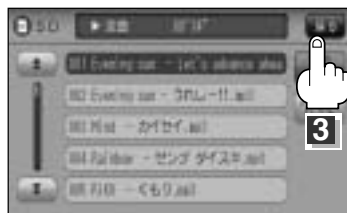
SD再生

リストより選曲する

3

SDモードTOP画面の詳細表示画面に戻るには…

戻る ボタンをタッチする。



SDカードを使う(5)

好きなフォルダを選ぶ

SDカードの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1

フォルダー / **フォルダ+** ボタンをタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダー ボタンをタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ+ ボタンをタッチする。

SDモードTOP画面((例)詳細表示)



1

リピート(繰り返し)再生をする

1

リピート ボタンをタッチする。

: ボタンが点灯し、リピート機能が働き、再生中の曲を繰り返し再生します。

※もう一度 **リピート** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例)リピート再生画面



リピート再生中はマークが表示されます。

選択時点灯

ランダム(順序不同)再生をする

1 ランダム ボタンをタッチする。

：ボタンが点灯し、順序不同で再生します。

※もう一度 **ランダム** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例)ランダム再生画面



ランダム再生中はマークが表示されます。

選択時点灯



アドバンス

- 390、391ページ手順 **2** で全曲リストで再生している場合はSDカード内の全曲のランダム再生をし、フォルダリストで再生している場合はそのフォルダ内のランダム再生をします。
- ランダム再生は、次に再生する曲が任意に決められるため同じ曲が連続で再生されることがあります。

スキャン(イントロ)再生をする

1 スキャン ボタンをタッチする。

：ボタンが点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

※もう一度 **スキャン** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例)スキャン再生画面



スキャン再生中はマークが表示されます。

選択時点灯



アドバンス

- 390、391ページ手順 **2** で全曲リストで再生している場合はSDカード内の全曲のスキャン再生をし、フォルダリストで再生している場合はそのフォルダ内のスキャン再生をします。

「フォルダを選ぶ」

「SD再生」

「リピート再生」

「ランダム再生」

「スキャン再生」



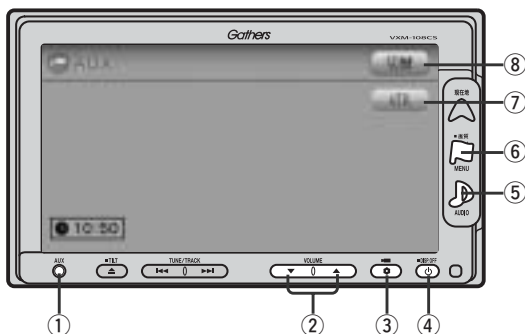
AUX/VTR

AUX/VTR機能を使う	396~401
各部の名称とはたらき	396
AUX機能/VTR機能を使う	397~399
画面のサイズを変更する	400
AUX/VTRモードを切り替える	401
時計を表示する	402

AUX/VTR機能を使う(1)

各部の名称とはたらき

(例) AUX/VTR接続時(AUXモード)



① AUX端子

市販のポータブルオーディオ機器を接続します。
(397ページ)

② [VOLUME] ボタン(▼/▲)

音量の増減を調整します。
▼: 音量減 ▲: 音量増

③ [OPTION] ボタン(⬠)

オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。(267、268ページ)

④ [電源] ボタン(⏻)

- オーディオ操作をON/OFFするときに使用します。
- 2秒以上長押しで画面を消します。(447ページ)

⑤ [AUDIO] ボタン(🔊)

●AV SOURCE画面を表示します。
※ナビゲーション/ラジオ(FM/AM)/ワンセグ/CD/MP3/WMA/SD/USB/PHOTOモードからAUX/VTR*モードに切り替えるときに使用します。

★印: 本機に別売のVTRコードを接続している場合に選択できます。

(例) VTRモード



⑥ [画質] ボタン(📐)

- 2秒以上長押しで画質調整画面が表示されます。(444~446ページ)

- 短押しでナビゲーションモードのメニュー画面が表示されます。(67、68ページ)

⑦ [VTR/AUX] ボタン

VTRモード↔AUXモードに交互に切り替わります。
(401ページ)

⑧ [切替] ボタン

時計表示に切り替わります。(401ページ)

※時計表示画面で[切替] ボタンをタッチすると、もとの画面に戻ります。

⑨ [ボタン消] ボタン

表示しているボタンを消し、映像を全画面表示します。
(399ページ)

⑩ [画面のサイズ] ボタン

画面サイズ(ノーマル/フル/ワイド/シネマ)を選択することができます。(400ページ)

AUX機能/VTR機能を使う

※接続の前に本機および接続する機器の電源を切ってください。
(車のエンジンスイッチを0(OFF)にしてください。)

本機に別売のVTRコードやAUX接続コードを使用して市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの外部入力装置を利用した映像や音声を本機に出力することができます。

※VTR機器を使う場合、別売のVTRコードが必要となります。



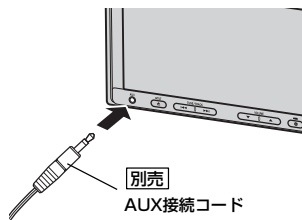
VTR機器などの映像は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみで観ることができます。(走行中は音声のみになります。)

1 別売のVTRコードやAUX接続コードを使用して本機に市販のポータブルオーディオ機器やVTR機器を接続する。

AUX機能を使う場合

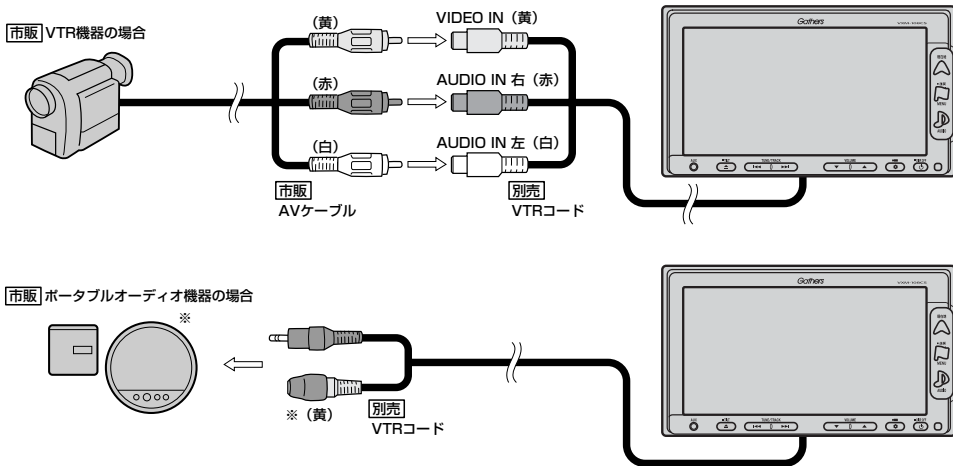
別売のAUX接続コードを使用してAUX端子から本機に市販のポータブルオーディオ機器を接続する。

※音声ケーブルに抵抗が入ったものは使用しないでください。音声が正常に出ない場合があります。



VTR機能を使う場合

市販の音声ケーブルやAVケーブルと別売のVTRコードを使用して本機に市販のポータブルオーディオ機器やVTR機器を接続する。



※DVDプレーヤー等の場合に使用します。

AUX/VTR機能を使う(2)

2 本機と使用する機器の電源を入れる。 (車のエンジンスイッチⅡ (ON)状態)

※他のモードになった場合は

1. **AUDIO** ボタン(🎧)を押してAV SOURCE画面を表示させ、**AUX**★ボタンをタッチして、AUX/VTRモードに切り替えてください。

(例)本機に別売のVTRコードを接続している場合



1 **AUDIO** ボタン(🎧)



アドバイス

★印: 本機に別売のVTRコードを接続した場合、AV SOURCE画面の**AUX**ボタンは、**AUX/VTR**ボタンとなります。

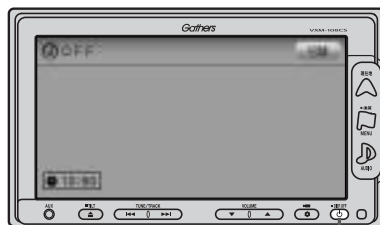
■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回AUX/VTRモード画面でOFF (オーディオモードを終了)していた場合

① **電源** ボタン(🔌)を押す。

: AUX/VTRモードの再生画面を表示します。

※ **AUDIO** ボタン(🎧)を押し、**AUX** ボタンをタッチしてもAUX/VTRの再生を表示します。



① **電源** ボタン(🔌)

- ナビゲーションまたは前回AUX/VTRモード以外のオーディオモード画面の場合

① **AUDIO** ボタン(🎧)を押す。

: AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

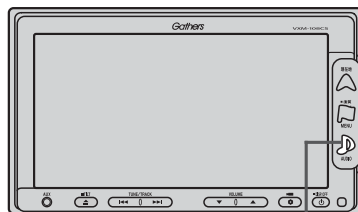
■ AV SOURCE画面のときは…

下記手順②へ進んでください。

■ ラストモード*画面のときは…

もう一度**AUDIO** ボタン(🎧)を押す。

: AV SOURCE画面が表示されます。



① **AUDIO** ボタン(🎧)



② **AUX** ボタンをタッチする。

: AUX/VTRの再生画面を表示します。

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

📖 「音量を調整する」 297ページ

「映像の調整のしかた」 444～446ページ

「音質／音量バランスの調整をする」 299、300ページ

3

VTR機器やポータブルオーディオ機器を操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。



本機の電源をOFF（エンジンスイッチO(OFF)）する場合は、接続される機器の電源も一緒にOFFしてください。



アドハイス

- VTR端子から入力された映像や音声はVTRモードにすることにより見たり、聞くことができます。
- AUX端子から入力された音声はAUXモードにすることにより聞くことができます。
- AUX/VTRの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
📖 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 449、450ページ
- VTRモード時 **ボタン消** ボタンをタッチするとボタンと情報バー表示を消します。
- 接続した機器によっては映像や音が出ない場合があります。
- 市販の音声ケーブルは抵抗なし品を使用してください。抵抗入りケーブルは音声が聞こえません。ご購入前にご確認ください。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。（調整してください。）
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

AV入力端子（RCA×1系統）

映像入力レベル	1Vpp（入力インピーダンス75Ω）
音声最大入力レベル	2.0V（入力インピーダンス47KΩ）

AUX/VTR機能を使う(3)

画面のサイズを変更する

別売のVTRコードを接続してVTRモードにしている場合、画面のサイズ(ノーマル/フル/ワイド/シネマ)を選択することができます。

🔗 「別売品(システムアップ)について」 510、511ページ

🔗 「(AUX/VTRモードを切り替える)」 401ページ

1

画面をタッチし、**画面サイズ** ボタンをタッチする。

：画面サイズ選択画面が表示されます。

(例)VTRモード



2

変更したい画面(**ノーマル** / **フル** / **ワイド** / **シネマ** ボタン)を選択し、タッチする。

：選択した画面に切り替わります。

(例)VTRモード



アドバース

シネマ ボタンを選択した場合映像を拡大して表示するため、映像の上下が画像がら切れて見えなくなります。

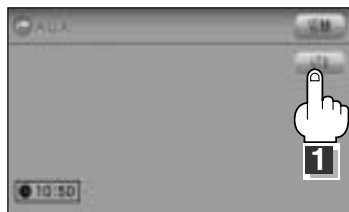
- ノーマル : 4 : 3の映像の画面
- フル : 4 : 3の映像を左右に引き伸ばし、16 : 9にした画面
- ワイド : “フル” の違和感を少なくした画面
- シネマ : 4 : 3の映像をそのまま拡大した画面

AUX/VTRモードを切り替える

1

VTR ボタンをタッチする。

：VTRモード画面に切り替わります。



■ AUXモードに切り替える場合

①画面をタッチし操作ボタンを表示させ、

AUX ボタンをタッチする。

：AUXモード画面に切り替わります。



〔画面サイズを変更する〕

AUX/VTR

〔AUX/VTRモードを切り替える〕

時計を表示する

AUXモード画面で、画面全体に時計を表示することができます。

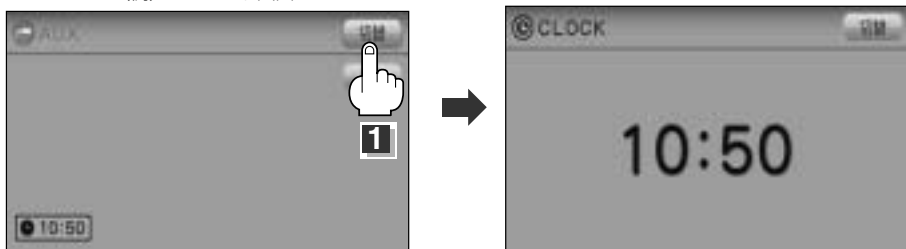
1

AUXモード画面で **切替** ボタンをタッチする。

：画面全体に時計を表示します。

※もう一度 **切替** ボタンをタッチすると、もとの画面に戻ります。

(例)AUXモード画面



アドバイス

VTRモードが表示されている場合は、**切替** 「(AUX/VTRモードを切り替える)」(401ページ)にしたがってAUXモードに切り替えてください。

USB/iPod

USBメモリデバイスの音楽再生について	404~406
USBメモリデバイスを使う	407~415
各部の名称とはたらき	407
表示部(再生画面)について	408
USBメモリデバイスを本機に接続するには	409
USBメモリデバイスを聞く	409、410
USBモードを終了する	410
USBメモリデバイスの接続をやめるには	410
1曲ずつ選曲する	
(トラックを戻す/進める)	411
早戻し/早送りをする	411
再生を一時停止する	412
リストより選曲する	412、413
好きなフォルダを選ぶ	414
リピート(繰り返し)再生をする	414
ランダム(順序不同)再生をする	415
スキャン(イントロ)再生をする	415
iPodについて	416~418
iPodとは	416
使用上の注意	416
対応可能なiPod	417
iPodを再生させるには	418
iPodを本機に接続すると	418
iPodを使う	419~431
各部の名称とはたらき	419
表示部(再生画面)について	420
iPodを聞く	421
iPodを終了する	422
1曲ずつ選曲する(トラックを戻す/進める)	422
早戻し/早送りをする	423
再生を一時停止する	423
リストより好きなトラックを選び再生させる	424
選曲モードより選択し再生させる	425~429
リピート(繰り返し)再生をする	430
シャッフル再生をする	430
時計を表示する	431

USBメモリデバイスの音楽再生について(1)

USBメモリデバイス(USBフラッシュメモリ)を使用して本機で再生することができます。

■MP3/WMA/AACは音声圧縮フォーマットです。

■AACとはAdvanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3/WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。

※MP3/WMAの説明につきましては366～371ページをご覧ください。

■USBメモリデバイスについて

- 別売のUSB接続コードに接続してください。
※iPod本体に付属されているUSBケーブルを使用してUSBモードでiPodの再生をすることもできます。[?] 「iPodを再生させるには」 418ページ
- USBハブ、USB延長ケーブルを介した接続には対応していません。
- マストレージクラスのUSBフラッシュメモリ(USBメモリデバイス)に対応しています。
- パーティションが複数あるデバイスには対応していません。
- 電流が500mAを超えるデバイスには対応していません。
- パソコンに接続した際、ドライバを要求されるデバイスには対応していません。
- セキュリティ機能など特殊な機能が付いているUSBメモリデバイスには対応していません。
- USBメモリデバイスに記憶されている音楽データを本機で編集することはできません。
- USBメモリデバイスの音楽再生中にUSBメモリデバイスを外さないでください。
※USBモードを終了(OFF状態に)させてから外してください。
- FAT16/FAT32のファイルシステムに対応しています。
- すべてのUSBメモリデバイスの動作保証するものではありません。
- 本機で再生する音楽データは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはUSBメモリデバイスの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

■MP3/WMA/AACの再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- m3u/MP3iフォーマット/MP3 PROフォーマット/ディエンファシスには対応していません。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行われない場合があります。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応していません。
- AACファイルのADIFフォーマットには対応していません。
- 複数のオーディオプログラムが入っているAACファイルの再生はできません。
- 同一ファイル内にオーディオ以外の情報(画像など)が同時に収録されているAACファイルの再生はできません。
- AACの対応プロファイルはLow Complexityのみです。
- AAC(m4a)ファイルに画像データ(iTunesのアートワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合は再生できません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層/1メディア内の最大ファイル数：3000/
1フォルダ内の最大ファイル数：255/最大フォルダ数：400となります。
- 選曲メニューのリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想されている順とは異なった順で表示されることがあります。
※正しく表示させるにはファイルの先頭に“01～99”など番号を付け、一度にメディアに書き込むことをおすすめします。

■ファイル名について

- MP3/WMA/AAC/OMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“mp3”/WMAの拡張子“wma”/AACの拡張子“m4a”/OMAの拡張子“oma”が付いたものだけです。
※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
- ※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
- 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。

USBメモリデバイスの音楽再生について(2)

■ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字です。
- ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはトラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名です。

※WMA／AACタグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

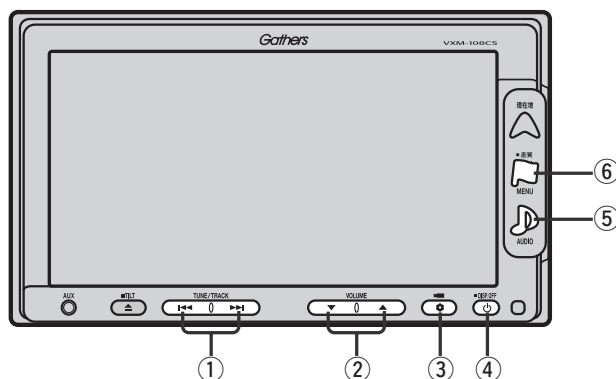
MP3／WMAにつきましては[P370、371ページ](#)をご覧ください。AACにつきましてはサンプリング周波数16～48kHz、対応ビットレート8～320kbpsとなります。

※32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

※64kbps以下のビットレートで作成されたMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

USBメモリデバイスを使う(1)

各部の名称とはたらき



① **トラック** ボタン(◀▶)

好きな曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(◀◀)／早送り(▶▶)します。(411ページ)

② **VOLUME** ボタン(▼▲)

音量の増減を調整します。
▼：音量減 ▲：音量増

③ **OPTION** ボタン(⚙)

オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。(267、268ページ)

④ **電源** ボタン(⏻)

- オーディオ操作をON/OFFするとき 사용합니다。
- 2秒以上長押しで画面を消します。(447ページ)

⑤ **AUDIO** ボタン(🔊)

AV SOURCE画面を表示します。

※ナビゲーション／ラジオ(FM/AM)／ワンセグ／CD／MP3／WMA／SD／AUX／VTR★／PHOTOモードからUSBモードに切り替えるときに使用します。

★印：本機に別売のVTRコードを接続している場合に選択できます。

⑥ **画質** ボタン(📺)

- 2秒以上長押しで画質調整画面が表示されます。(444～446ページ)
- 短押しでナビゲーションモードのメニュー画面が表示されます。(67、68ページ)



iPodを接続している場合の操作につきましては「iPodを使う」419～431ページをご覧ください。

アドバース

USBメモリデバイスを使う(2)

表示部(再生画面)について



(例)リピート再生時

- ①再生時間表示
- ②全曲再生／フォルダ再生の状態を表示する。
- ③再生状態表示
 - ▶ : 通常再生
 - ▶▶ : 早送り
 - ◀◀ : 早戻し
 - || : 一時停止
- ④アーティスト名／トラック名*／アルバム名／フォルダ名表示
- ⑤再生ファイル表示
 - ※WMAモードの場合は **MP3** となります。
- ⑥ **フォルダ** ボタン
前のフォルダに戻ります。
- ⑦ **フォルダ+** ボタン
次のフォルダに進みます。
- ⑧ **リスト** ボタン
リストを表示させて選曲することができます。
(412、413ページ)
- ⑨ **スキャン** ボタン
曲の頭(イントロ)を約10秒間再生します。
(415ページ)
- ⑩ **ランダム** ボタン
曲を順序不同で再生します。(415ページ)
- ⑪ **リピート** ボタン
現在再生中の曲を繰り返し再生します。(414ページ)
- ⑫ **再生／一時停止** ボタン
再生中にタッチすると音声が一時的に止まり、もう一度タッチすると再び再生が始まります。
(412ページ)
- ⑬ **切替** ボタン
時計表示に切り替わります。
※時計表示画面で **切替** ボタンをタッチすると、もとの画面に戻ります。(431ページ)
- ⑭ **リピート／ランダム／スキャン** 選択時に表示
※表示内容につきましては414、415ページをご覧ください。

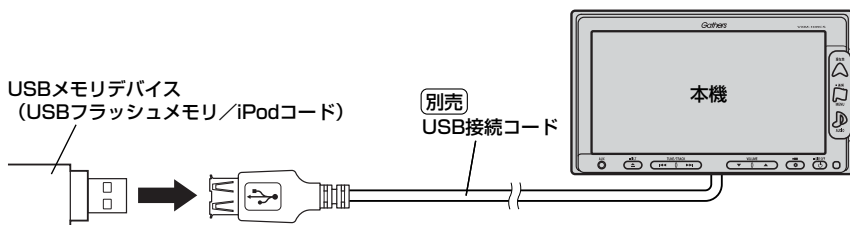


アドバンス

- アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アルバム名／アーティスト名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
 - ※ *印：トラック名がない場合はファイル名を表示します。(USBフラッシュメモリの場合)
- 詳細表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名)をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。
- タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- iPodを接続している場合の表示部につきましては「iPodを使う」420ページをご覧ください。

USBメモリデバイスを本機に接続するには

- 1** 本機より出ている別売のUSB接続コードにUSBメモリデバイスを接続する。



※別売のUSB接続コードに、iPod本体に付属されているUSBケーブルを接続すると、USBモードでiPodを再生させることができます。[P.418ページ]

USBメモリデバイスを聞く

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回USBモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

- ① **電源** ボタン(⏻)を押す。

: 前回のつづきからUSBメモリデバイスの再生を始めます。



- ① **電源** ボタン(⏻)

- ナビゲーションまたは前回USBモード以外のオーディオモード画面の場合

- ① **AUDIO** ボタン(🎧)を押す。

: AV MENU画面またはラストモード*画面が表示されます。

■ AV SOURCE画面のときは…

下記手順②へ進んでください。

■ ラストモード*画面のときは…

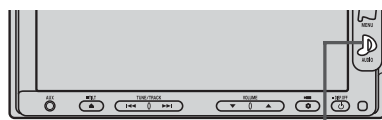
もう一度**AUDIO**ボタン(🎧)を押す。

: AV SOURCE画面が表示されます。

*: 前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)

- ② **USB** ボタンをタッチする。

: USBメモリデバイスの再生を始めます。



- ① **AUDIO** ボタン(🎧)

AV SOURCE画面



USBメモリデバイスを使う(3)

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

- 🔊 「音量を調整する」 297ページ
- 🔊 「音質／音量バランスの調整をする」 299、300ページ
- 📺 「映像の調整のしかた」 444～446ページ



USBメモリデバイスの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

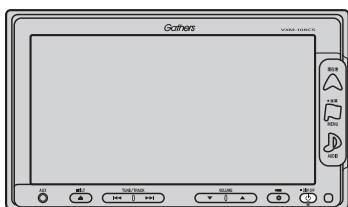
- 🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 449、450ページ

USBモードを終了する

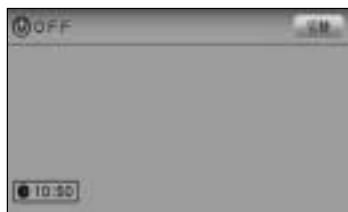
1

電源 ボタン(⏻)を押す。

：画面に“OFF”と表示されUSB機器の再生を止めます。
(オーディオモード終了)



1 電源 ボタン(⏻)



USBメモリデバイスの接続をやめるには

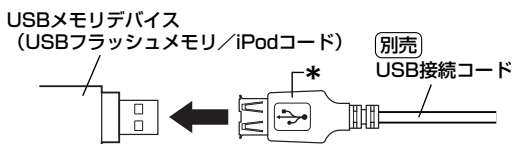
1

電源 ボタン(⏻)を押す。

：電源をOFF(オーディオモード終了)します。

2

USBメモリデバイスを外す。



*：別売のUSB接続コードの先端にはキャップが付いています。接続時以外はキャップをはめてください。



- USBメモリデバイスを外して再度再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
※USBメモリデバイス認識中(再生中)に外した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 音楽再生中にUSBメモリデバイスを外すとデータがこわれたり、USBメモリデバイスが破損する恐れがあります。必ずUSBモードを終了(OFF)にして外してください。

1曲ずつ選曲する(トラックを戻す/進める)

1 **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押す。

: 前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。

※聞きたい曲のトラック番号を表示させます。



1 **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



アドバイス

リスト ボタンをタッチしてリスト内から再生させたい曲(トラック)より選択することもできます。

🔍 「**リストより選曲する**」412、413ページ

早戻し/早送りをする

1 **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押し続ける。

: 再生中の曲の早戻し/早送りをします。

再生状態表示

▶: 通常再生

▶▶: 早送り

◀◀: 早戻し



1 **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。



アドバイス

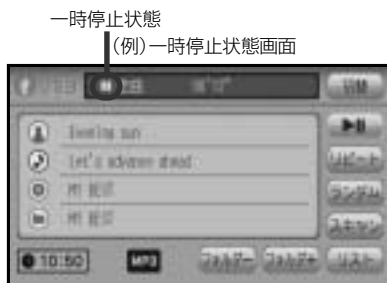
それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます。

USBメモリデバイスを使う(4)

再生を一時停止する

1 **再生/一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。

: 音声が一時的に止まります。



■ 再び再生を始める場合

① 一時停止中に **再生/一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。

: 画面に▶を表示し、再生を止めたつづきから再生を始めます。

リストより選曲する

1 **リスト** ボタンをタッチする。

: リスト画面が表示されます。

USBモードTOP画面 ((例)詳細表示)



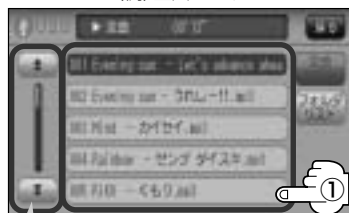
2 リスト内から再生させたい曲(トラック)を選び、タッチする。

■ 全曲リストから選ぶ場合

① 再生させたい曲(トラック)を全曲リストから選びタッチする。

※フォルダリストが表示されている場合は **全曲リスト** ボタンをタッチして、全曲リストを表示させてください。

(例)全曲リスト



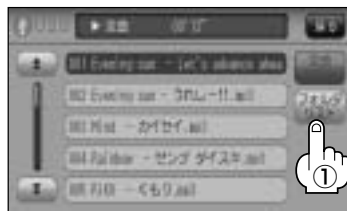
▲/▼ ボタンタッチでつづきを表示

■ フォルダリストから選ぶ場合

① **フォルダリスト** ボタンをタッチする。

：フォルダリストが表示されます。

(例)全曲リスト画面



② フォルダリストから再生させたいフォルダを選びタッチする。

：フォルダ内の曲リストが表示されます。

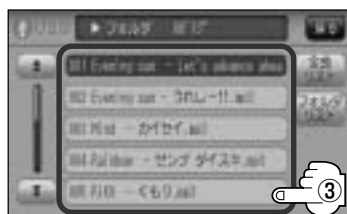
(例)フォルダリスト画面



③ 曲リストから再生させたい曲(トラック)を選びタッチする。

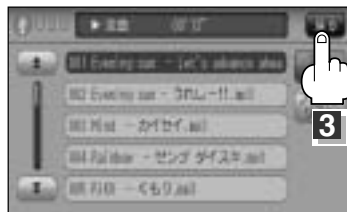
：曲(トラック)の再生が始まります。

(例)曲リスト画面



3 USBモードTOP画面の詳細表示画面に戻るには…

戻る ボタンをタッチする。



〔一時停止〕

USB

〔リストより選曲する〕

USBメモリデバイスを使う(5)

好きなフォルダを選ぶ

USBメモリデバイスの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1

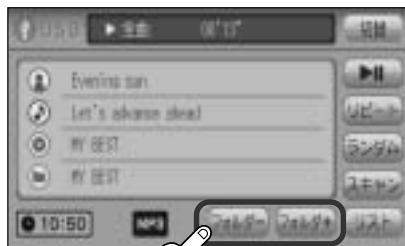
フォルダー / **フォルダ+** ボタンをタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダー ボタンをタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ+ ボタンをタッチする。



1

リピート(繰り返し)再生をする

1

リピート ボタンをタッチする。

: ボタンが点灯し、リピート機能が働き、再生中の曲を繰り返し再生します。

※もう一度 **リピート** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例) リピート再生画面



リピート再生中はマークが表示されます。

選択時点灯

ランダム(順序不同)再生をする

1

ランダム ボタンをタッチする。

：ボタンが点灯し、順序不同で再生します。

※もう一度 **ランダム** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例)ランダム再生画面



ランダム再生中はマークが表示されます。

選択時点灯



- 412、413ページ手順 **2** で全曲リストで再生している場合はSDカード内の全曲のランダム再生をし、フォルダリストで再生している場合はそのフォルダ内のランダム再生をします。
- ランダム再生は、次に再生する曲が任意に決められるため同じ曲が連続で再生されることがあります。

スキャン(イントロ)再生をする

1

スキャン ボタンをタッチする。

：ボタンが点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

※もう一度 **スキャン** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例)スキャン再生画面



スキャン再生中はマークが表示されます。

選択時点灯



- 412、413ページ手順 **2** で全曲リストで再生している場合はSDカード内の全曲のスキャン再生をし、フォルダリストで再生している場合はそのフォルダ内のスキャン再生をします。

フォルダを選ぶ / リピート再生 / ランダム再生

USB

スキャン再生

iPodについて(1)

別売のUSB接続コードにiPod本体に付属されているUSBケーブルを接続すると、本機でiPodの曲を再生することができます。



"Made for iPod" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

iPod is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iPodとは

iPodとはApple Inc.が提供するポケットサイズの大容量保管装置です。曲やポッドキャスト*、フォト、ビデオデータなどを保管し、手軽に持ち運ぶことが可能です。



アドバイス

*印：インターネット経由で配布されるダウンロード可能なラジオ形式の番組

使用上のご注意

- iPodは精密部品が内蔵されています。落としたり、ぶつけたりして損傷を与えないようにしてください。
- iPodを車内に放置しないでください。直射日光や高温などによってiPodの故障の原因となります。
- iPodのデータが紛失しても消去したデータの保証は致しかねます。
- iPod本体の保証は致しかねます。
- iPod本体の取扱説明書もあわせてご確認ください。
- iPodは個人として楽しむなどのほかは、権利者に無断で使用できません。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod本体の設定の“EQ”を“オフ”以外にすると、音質が悪くなる場合があります。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPodのリピートやシャッフルなどの設定がかわってしまう場合があります。
- iPodのソフトウェアのバージョンによって操作方法／仕様が異なる場合があります。
- iPodは別売のUSB接続コードを使用してUSBモードで再生させます。

409ページ

対応可能なiPod

iPodモデル名	iPodソフトウェアバージョン	USB接続
		AUDIO
iPhone	Ver. 2.0以上	○
iPod touch 第2世代	Ver. 2.1.1以上	○
iPod touch 第1世代	Ver. 1.1.5以上	○
iPod classic	Ver. 1.0.3以上	○
iPod Video (iPod 第5世代)	Ver. 1.2.3以上	○
iPod nano 第4世代	Ver. 1.0以上	○
iPod nano 第3世代	Ver. 1.0.3以上	○
iPod nano 第2世代	Ver. 1.1.3以上	○
iPod nano 第1世代	Ver. 1.3.1以上	○
iPod photo	—	×
iPod mini	—	×
iPod 第4世代 (クリックホイール)	—	×

○：可能 ×：不可



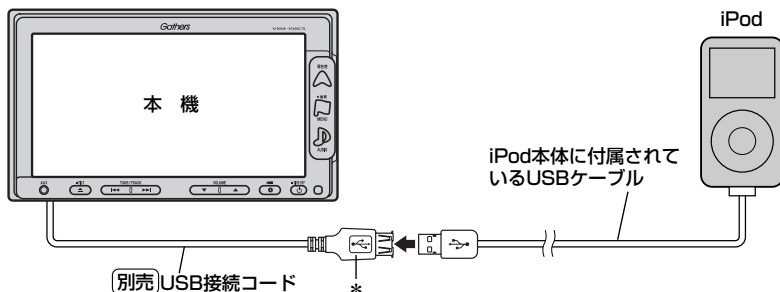
アドバイス

- iPodは最新のソフトウェアバージョンをアップル社のWebサイトよりインストールしてご使用ください。
※最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作できない場合があります。
- 第1、第2、第3世代のiPodには対応しておりません。
- ソフトウェアのバージョンはiPod本体の“情報”よりご確認ください。
- 映像データには対応していません。
- 各iPodの仕様につきましてはiPodをお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

iPodについて(2)

iPodを再生させるには

iPod本体に付属されているUSBケーブルを使用して再生させることができます。



*：別売のUSB接続コードの先端にはキャップが付いています。接続時以外はキャップをはめてください。

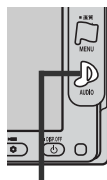


アドバイス

本機でiPodを再生させる場合も

USB ボタンをタッチします。

※USBモードとなりますが、操作につきましては「**USB**」**「iPodを使う」** (419～431ページ) をご覧ください。



① **AUDIO** ボタン (🔊)

AV SOURCE画面



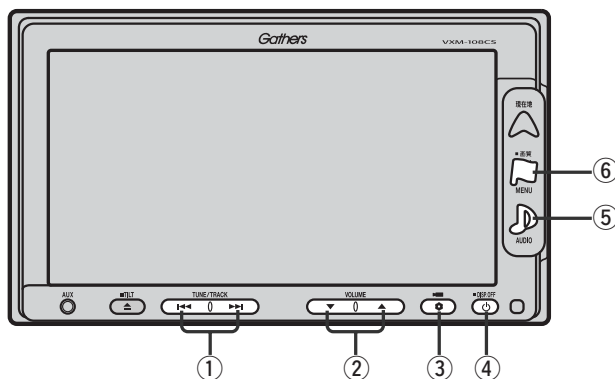
- 本機にiPodを接続するときはヘッドフォンなどの機器は外してiPod単体としてください。
- iPodは本機の状態や車のエンジンスイッチ0 (OFF) にかかわらず接続できます。
- 本機で操作可能状態のとき、iPod側での操作はできません。
- 接続した状態で車のエンジンスイッチ I (ACC) を0 (OFF) にすると約2分後にiPod本体の電源もOFFされます。

iPodを本機に接続すると…

- iPodに収録されたデータが本機に表示されます。使い慣れたiPodの感覚そのままにタッチパネルを使用して操作することができます。
- 本機の電源ON状態でiPod接続中は充電ができるのでバッテリー消費の心配は不要です。
- 接続中はiPod本体を操作しないでください。
- iPodが正しく動作しないときは、iPodを外してiPodをリセットしてから再度接続してください。

iPodを使う(1)

各部の名称とはたらき



① **トラック** ボタン(◀▶)

好きな曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(◀)／早送り(▶)します。(422、423ページ)

② **VOLUME** ボタン(▼／▲)

音量の増減を調整します。
▼：音量減 ▲：音量増

③ **OPTION** ボタン(⊙)

オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。(267、268ページ)

④ **電源** ボタン(⏻)

- オーディオ操作をON/OFFするときに使います。
- 2秒以上長押しで画面を消します。(447ページ)

⑤ **AUDIO** ボタン(🔊)

AV SOURCE画面を表示します。

※ナビゲーション／ラジオ(FM/AM)／ワンセグ／CD／MP3／WMA／SD／AUX／VTR★／PHOTOモードからUSBモードに切り替えるときに使用します。

★印：本機に別売のVTRコードを接続している場合に選択できます。

⑥ **画質** ボタン(📐)

- 2秒以上長押しで画質調整画面が表示されます。(444～446ページ)
- 短押しでナビゲーションモードのメニュー画面が表示されます。(67、68ページ)



USBメモリデバイスを接続している場合の操作につきましては「USBメモリデバイスを使う」407～415ページをご覧ください。

「接続するには」／「接続する」と

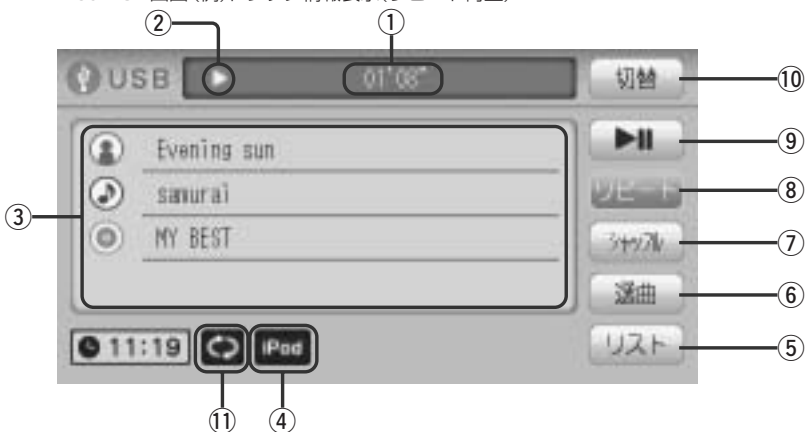
USB

「各部の名称とはたらき」

iPodを使う(2)

表示部(再生画面)について

iPod TOP画面(例)トラック情報表示(リピート再生)



①再生時間表示

②再生状態表示

- ▶ : 通常再生
- ▶▶ : 早送り
- ◀◀ : 早戻し
- || : 一時停止

③アーティスト名/トラック名/ アルバム名表示

④iPodを接続している場合に表示

⑤リスト ボタン

リストを表示させて選曲することができます。
(424ページ)

⑥選曲 ボタン

iPodのミュージックリストから再生したい曲を絞り込んで再生することができます。
(425~429ページ)

⑦シャッフル ボタン

シャッフル再生をすることができます。
(430ページ)

⑧リピート ボタン

現在再生中の曲を繰り返し再生します。(430ページ)

⑨再生/一時停止 ボタン

再生中にタッチすると音声が一時的に止まり、もう一度タッチすると再び再生が始まります。
(423ページ)

⑩切替 ボタン

時計表示に切り替わります。
※時計表示画面で「切替」ボタンをタッチすると、もとの画面に戻ります。(431ページ)

⑪リピート/トラックシャッフル/ アルバムシャッフル選択時に表示

※表示内容につきましては
430ページをご覧ください。



- 表示内容はiPod本体で表示されるアーティスト名/トラック名/アルバム名となります。
- 本機は日本語/英数字のみ表示可能です。
- iPod本体で表示される~(半角波形表示)は、本機では- (ハイフン表示)となります。
- トラック情報表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(アーティスト名/トラック名/アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
※画面上部のトラック名が表示しきれない場合は、トラック情報表示/トラックリスト表示のどちらからでもタッチしてスクロールすることができます。

iPodを聞く

※iPodを本機に接続していない/iPodになにも収録されていない場合、iPodの曲を聞くことはできません。

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回iPod画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

① 電源 ボタン(⏻)を押す。

: 前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。



① 電源 ボタン(⏻)

- ナビゲーションモードまたは前回iPod以外のオーディオモード画面の場合

① AUDIO ボタン(🔊)を押す。

: AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

■ AV SOURCE画面のときは…

下記手順②へ進んでください。

■ ラストモード*画面のときは…

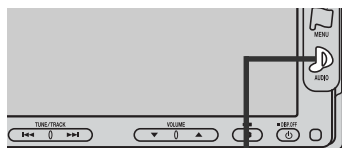
もう一度AUDIO ボタン(🔊)を押す。

: AV SOURCE画面が表示されます。

*: 前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)

② USB ボタンをタッチする。

: 前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。



① AUDIO ボタン(🔊)



【再生画面にうつる】 / 【接続する】

USB

【聞く】

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

- 🔊 「音量を調整する」 297ページ

「音質／音量バランスの調整をする」 299、300ページ

「映像の調整のしかた」 444～446ページ



iPodの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 449、450ページ

アドハイス

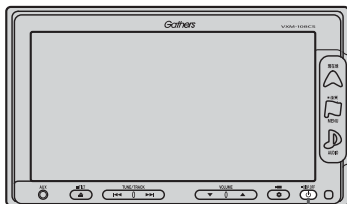
iPodを使う(3)

iPodを終了する

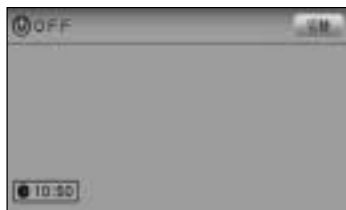
1

電源 ボタン(⏻)を押す。


: 画面に“OFF”と表示されiPodの再生を止めます。
(オーディオモード終了)



1 電源 ボタン(⏻)



アドハイス

iPodの接続をやめるには、 「USBメモリデバイスの接続をやめるには」(410ページ)をご覧ください。

1曲ずつ選曲する(トラックを戻す/進める)

1

トラック ボタン(⏮/⏭)を押す。

: 前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。



1 トラック ボタン(⏮/⏭)

■ 前のトラックに戻る場合

⏮側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。


■ 次のトラックに進む場合

⏭側を押す。



アドハイス

リスト ボタンをタッチしてトラックリストより選択することもできます。

 「リストより好きなトラックを選び再生させる」424ページ

早戻し／早送りをする

1 **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押し続ける。

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。

再生状態表示
▶：通常再生
▶▶：早送り
◀◀：早戻し



1 **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)



それぞれボタンから手を離れたところで再生を始めます。

トラック ボタン(◀◀/▶▶)を押し続け、曲の

始めまたは終わりにくると通常再生になります。

再生を一時停止する

1 **再生／一時停止** ボタン(▶ ||)をタッチする。

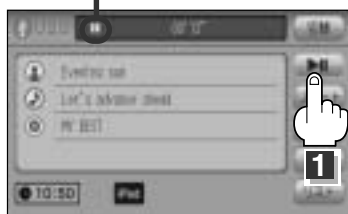
：音声が一時的に止まります。

■ 再び、再生を始める場合

再生／一時停止 ボタン(▶ ||)をタッチする。

：画面に▶を表示し、再生を止めたつづきから再生を始めます。

一時停止状態



〔終了する〕 (1 曲ずつ選択)

USB

〔早戻し／早送り〕／〔一時停止〕

iPodを使う(4)

リストより好きなトラックを選び再生させる

選曲モード(☞ 425ページ)で選択したボタン(全曲/アルバム/ポッドキャスト/プレイリスト/アーティスト/作曲家/ジャンル)のトラックをリストより選択再生させることができます。

1

リスト ボタンをタッチする。

: リスト画面が表示されます。

iPodモード TOP画面
(例)トラック情報表示時



2

再生したい曲(トラック) をタッチする。

: 選択した曲(トラック)が再生されます。

iPodモード TOP画面
(トラックリスト表示時(例))

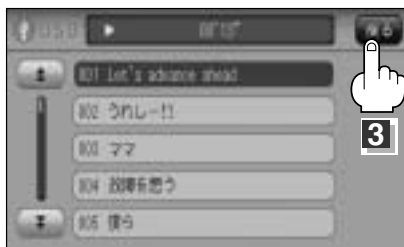
↑ / ↓ ボタンタッチで
つづきを表示



3

iPodモードTOP画面の詳細表示画面に戻るには…

戻る ボタンをタッチする。



選曲モードより選択し再生させる

再生させたい曲を絞り込んで検索することができます。

1

選曲 ボタンをタッチする。

：選曲モード画面が表示されます。

iPodモード TOP画面
(例)トラック情報表示時



2

選曲モードより選曲する方法

(**全曲** / **アルバム** / **アーティスト** /
ポッドキャスト / **ジャンル** /
プレイリスト / **作曲家** ボタン)を
選択します。



アドハイス

- 選曲モードより選択した各ボタンに収録されている内容は、iPod本体に収録されている内容となります。
- iPodのデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 選曲モードを選択する前に **戻る** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。

選曲モード画面



〔リストより選択〕

USB

〔選曲モードより選択再生(全曲)〕

■ **全曲** ボタンをタッチした場合

：トラックリスト画面の表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

(例)全曲画面



iPodを使う(5)

- **アルバム** ボタンをタッチした場合 : アルバムリスト画面が表示されます。

①再生させたいアルバムをタッチする。

: 選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



すべて ボタンをタッチするとiPod内のアルバムのトラック表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。

: 選択した曲を再生します。



- **アーティスト** ボタンをタッチした場合 : アーティストリスト画面が表示されます。

①再生させたいアーティストをタッチする。

: 選択したアーティストのアルバムが表示されます。



すべて ボタンをタッチすると iPod内のアルバムが表示されます。—— さらに

②再生させたいアルバムをタッチする。

: 選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



すべて ボタンをタッチすると①(左記)で選択したアーティストに該当するトラックリストが表示されます。

③再生させたいトラックをタッチする。

: 選択した曲を再生します。



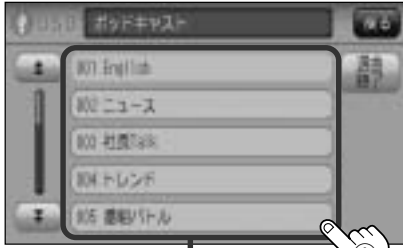
■ **ポッドキャスト** ボタンをタッチした場合

：ポッドキャスト画面が表示されます。

①再生させたいポッドキャストをタッチする。

：選択したポッドキャストに収録されているポッドキャストリスト表示とともにポッドキャストが再生されます。

(例)ポッドキャスト画面



ポッドキャスト

②再生させたいポッドキャストをタッチする。

：選択したポッドキャストを再生します。

(例)ポッドキャストリスト画面



■ **ジャンル** ボタンをタッチした場合

：ジャンルリスト画面が表示されます。

①再生させたいジャンル(iPodに収録されているジャンル名の)ボタンをタッチする。

：選択したジャンルに該当するアーティストが表示されます。

(例)ジャンルリスト画面



すべて ボタンをタッチするとiPod内のアーティストが表示されます。一さらに**すべて** ボタンをタッチするとiPod内のアルバムが表示されます。一さらに**すべて** ボタンをタッチするとiPod内のトラック表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいアーティストをタッチする。

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

(例)アーティストリスト画面



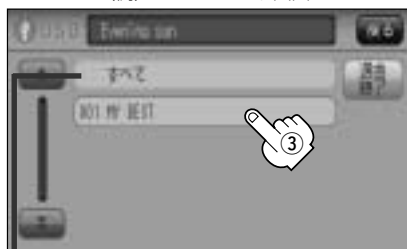
すべて ボタンをタッチすると①で選択したジャンルに該当するアルバムが表示されます。一さらに**すべて** ボタンをタッチするとiPod内のトラック表示とともに曲が再生されます。

iPodを使う(6)

③再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

(例) アルバムリスト画面



すべて ボタンをタッチすると②で選択したアーティストのトラック表示とともに曲が再生されます。

④再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

(例) トラックリスト画面



アドバイス

ジャンルリスト画面に表示されるボタンの数(表示)はiPod本体に収録されている内容となります。(iPodの内容によってボタンが増えることも減ることもあります。)

■ **プレイリスト** ボタンをタッチした場合

：プレイリスト画面が表示されます。

①再生させたいプレイリストをタッチする。

：選択したプレイリストに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

(例) プレイリスト画面



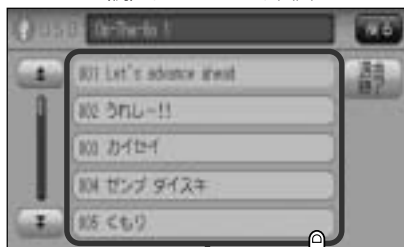
プレイリスト



②再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

(例) トラックリスト画面



トラック



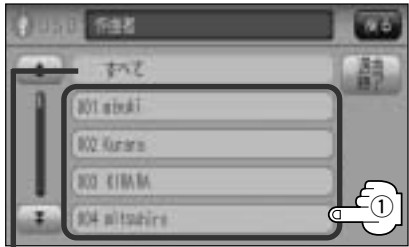
■ **作者** ボタンをタッチした場合

： 作者リスト画面が表示されます。

①再生させたい作者をタッチする。

： 選択した作者のアルバムが表示されます。

(例) 作者リスト画面

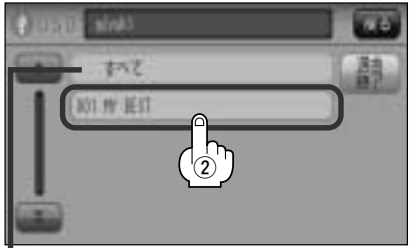


すべて ボタンをタッチするとiPod内の全てのアルバムが表示されます。-さらに **すべて** ボタンをタッチするとiPod内の全てのトラック表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいアルバムをタッチする。

： 選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともにリストの一番上の曲が再生されます。

(例) アルバムリスト画面



すべて ボタンをタッチすると①で選択した作者に該当するiPod内のトラック表示とともに曲が再生されます。

③再生させたいトラックをタッチする。

： 選択した曲を再生します。

(例) トラックリスト画面



3 設定を終わるには…

戻る ボタンまたは **選曲終了** ボタンをタッチする。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **選曲終了** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。



次ページがある場合 ▲ / ▼ ボタンタッチでページ戻し/送り表示をします。

iPodを使う(7)

リピート(繰り返し)再生をする

1

リピート ボタンをタッチする。

: ボタンが点灯し、リピート機能が働き、再生中の曲を繰り返し再生します。

※もう一度 **リピート** ボタンをタッチするとボタンが消灯し、通常再生に戻ります。

(例) リピート再生画面



リピート再生中はマークが表示されます。

選択時点灯

シャッフル再生をする

1


シャッフル ボタンをタッチする。

: シャッフルボタンが点灯し、シャッフル機能が働きます。

• **シャッフル** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックの
シャッフル再生


(表示灯点灯/ TOP画面で

マーク表示有)



今聞いているアルバムの
シャッフル再生

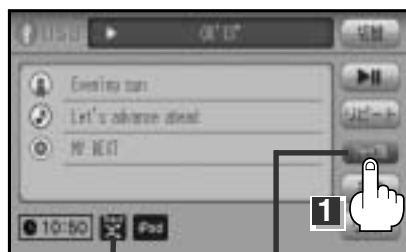
(表示灯点灯/ TOP画面で

マーク表示有)



通常再生(シャッフル解除)

(表示灯消灯/ マーク表示無)



選択中の再生モード 選択時ボタン点灯の状態を表示



曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めるため同じ曲が連続で再生されることがあります。

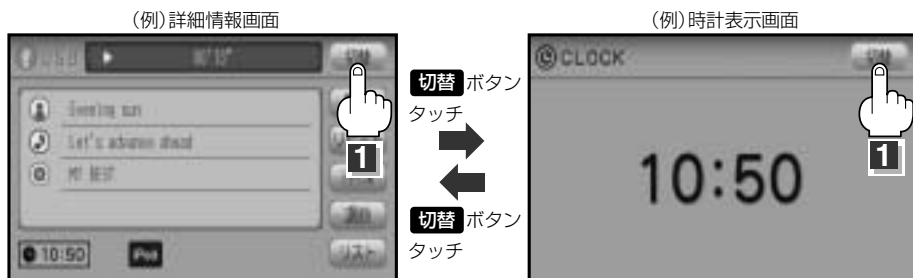
時計を表示する

画面全体に時計を表示することができます。

1 詳細情報画面で「切替」ボタンをタッチする。

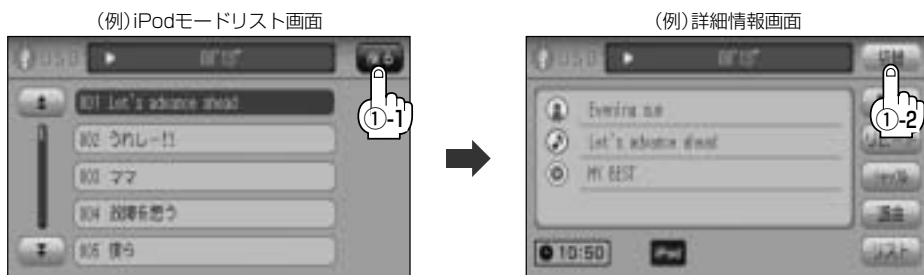
：画面全体に時計を表示します。

※もう一度「切替」ボタンをタッチすると、もとの画面に戻ります。



■ リスト画面が表示されている場合

①再生させたいポッドキャストをタッチする。



〔リプレイ再生〕／〔シャッフル再生〕／〔時計表示〕

USB

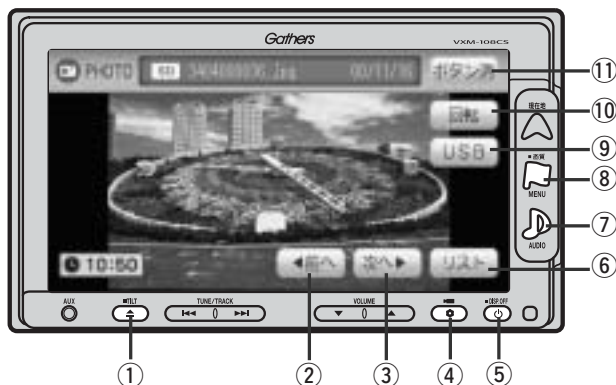


PHOTO

PHOTO機能を使う	434~441
各部の名称とはたらき	434
表示部について	435
画像を表示させる	436、437
PHOTOモードを終了する	437
メディア (USB/SD) を選択する	438
フォルダを選択し画像を表示させる	439
画像を回転させる	440
画像を戻す/進める	441

PHOTO機能を使う(1)

各部の名称とはたらき



① TILT ボタン(▲)

パネルをオープンさせて、SDカードを入れる／取り出すときに使用します。

② 前へ ボタン

1つ前の画像を表示します。(441ページ)

③ 次へ ボタン

次の画像を表示します。(441ページ)

④ OPTION ボタン(◆)

オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。(267、268ページ)

⑤ 電源 ボタン(⏻)

- オーディオ操作をON/OFFするときに使用します。
- 2秒以上長押しで画面を消します。(447ページ)

⑥ リスト ボタン

画像リストを表示します。(439ページ)

⑦ AUDIO ボタン(🔊)

AV SOURCE画面を表示します。

※ナビゲーション/ラジオ(FM/AM)/ワンセグ/CD/MP3/WMA/SD/AUX/VTR★/USBモードからPHOTOモードに切り替えるときに使用します。

★印：本機に別売のVTRコードを接続している場合に選択できます。

⑧ 画質 ボタン(📐)

- 2秒以上長押しで画質調整画面が表示されます。(444～446ページ)

- 短押しでナビゲーションモードのメニュー画面が表示されます。(67、68ページ)

⑨ USB ボタン / SD ボタン

表示させるメディアを選択します。

タッチするたびに **SD** ↔ **USB** に切り替わりま

⑩ 回転 ボタン

表示させている画像を回転することができます。(440ページ)

⑪ ボタン消 ボタン


表示されている操作ボタンを消します。


※約10秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

表示部について



① 選択中メディアアイコン表示

SD選択時…… 

USB選択時… 

② 画像ファイル名表示

③ 画像撮影日

(画像保存日)

PHOTO機能を使う(2)

画像を表示させる

SDカードまたはUSBメモリデバイスに記録されているJPEG画像を本機に表示させることができます。

(例) PHOTOモード画面(走行中)



安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ画像をご覧になることができます。



■ SDカード未挿入の場合

- ① ボタン(OFFEN)を押してディスプレイを開き、SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

: 自動でディスプレイが閉じ画像が表示されます。



アドバース

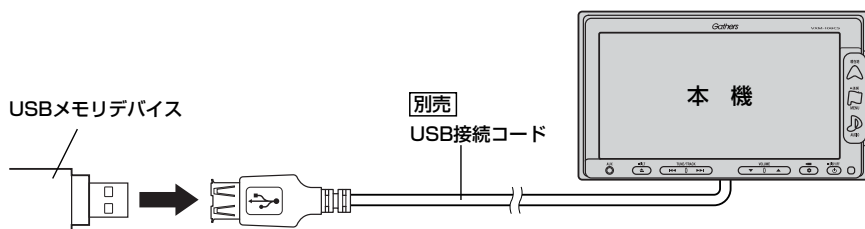
- SDカード挿入口につきましては「 48ページをご覧ください。
- USBのメディアが選択されている場合はSDを選択しなおす必要があります。

「**メディア(USB/SD)を選択する**」438ページ

■ USB未接続の場合

- ① 本機より出ている別売のUSB接続コードにUSBメモリデバイスを接続する。

: 画像が表示されます。



アドバース

初期状態ではSDのメディアが選択されているため、画面にメッセージが表示された場合はメディアをUSBに変更する必要があります。

「**メディア(USB/SD)を選択する**」438ページ

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回PHOTOモード画面で(オーディオモード終了)OFFにしていた場合

① **電源** ボタン(⏻)を押す。

: 画像が表示されます。



① **電源** ボタン(⏻)

- ナビゲーションモードまたはPHOTOモード以外のオーディオモード画面の場合

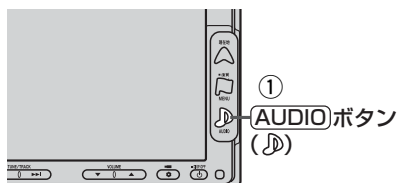
① **AUDIO** ボタン(🎧)を押す。

: AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

* : 前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)

② **PHOTO** ボタンをタッチする。

: 画像が表示されます。



AV SOURCE画面



■ 映像の調整をする場合

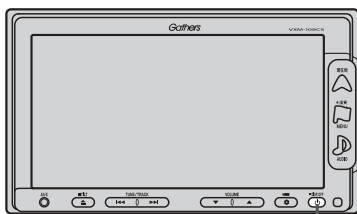
📖 「映像の調整のしかた」 444~446ページ

PHOTOモードを終了する

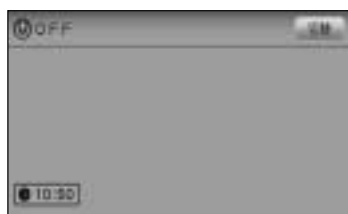
1

電源 ボタン(⏻)を押す。

: 画面に“OFF”と表示され画像の表示を止めます。(オーディオモード終了)



1 **電源** ボタン(⏻)



「画像を表示させる」 / 「PHOTOモードを終了する」

PHOTO

PHOTO機能を使う(3)

メディア(USB/SD)を選択する

表示させたい画像のメディア(USB/SD)を選択します。

1

■ USBを選択する場合

- ① 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、**USB** ボタンをタッチする。

：メディアが選択されPHOTOモードTOP画面に戻ります。

※ **USB** ボタンが **SD** ボタンに替わります。

(例) PHOTOモード TOP画面
SDカード選択時



■ SDカードを選択する場合

- ① 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、**SD** ボタンをタッチする。

：メディアが選択されPHOTOモードTOP画面に戻ります。

※ **SD** ボタンが **USB** ボタンがに替わります。

(例) PHOTOモード TOP画面
USBカード選択時



アドバイス

選択したメディアが未挿入/未接続の場合は画面にメッセージが表示されるので挿入/接続後 **USB** ボタンまたは **SD** ボタンをタッチしてください。

(例) SDカード未挿入の場合



フォルダを選択し画像を表示させる

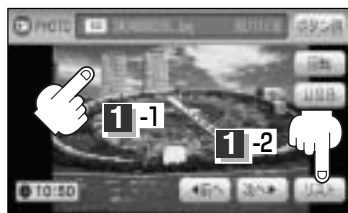
1 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、

リスト ボタンをタッチする。

：フォルダリストが表示されます。

※フォルダリストはフォルダの更新日が古い順に表示されます。(ROOTフォルダは除きます。)

(例) PHOTOモード TOP画面



2 表示させたいファイルのフォルダを タッチする。

：選択したフォルダの画像(ファイル)リストが
表示されます。

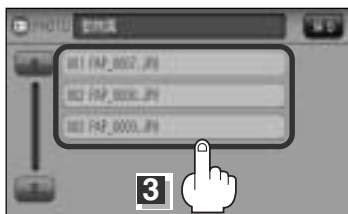
※リストは画像の更新日が古い順に表示されます。

(例) フォルダリスト画面



3 表示させたい画像(ファイル)をタッチする。

：選択した画像(ファイル)が表示されます。



〔メディアを選択する〕 / 〔フォルダから画像を選択する〕

PHOTO



アドバイス

- 次ページがある場合 / ボタンタッチしてリストをスクロールさせることができます。
- 選択中フォルダの画像を1つずつ表示させることもできます。

「**画像を戻す / 進める**」 441ページ

PHOTO機能を使う(4)

画像を回転させる

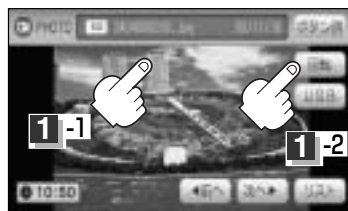
表示させている画像の向きを変えることができます。

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、

回転 ボタンをタッチする。

：タッチするたびに右方向に90度ずつ回転します。



アドバイス

- ファイルフォーマット：Baseline JPEG方式
 - ※Progressive JPEGカラーフォーマットがGray scale、CMYKのJPEGファイルは対応しません。
- 480×240ドットの画像がちょうど本機の画面の大きさです。
- JPEG画像を表示する場合、画面(480×240ドット)より大きい画像は画面にあわせて表示されます。
- 液晶の縦横のドットピッチが違うため、画像は縦伸びに表示されます。
- 表示できるのは、拡張子がJPGのみですが、拡張子がJPGでも表示できない場合もあります。
- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 最大フォルダ名／ファイル名文字数：全角32文字・半角64文字
- ファイルサイズ：10MB以下
- 画像サイズ：16×16ピクセル～4032×3024ピクセル
- フォルダ名／ファイル名使用可能文字：A～Z、0～9、_(アンダースコア)
- 1フォルダ中の最大ファイル数：255(ファイル数+フォルダ数)
- 最大フォルダ数：50
- 最大ファイル数：1000

画像を戻す／進める

選択中フォルダの画像を1枚ずつ表示させることができます。

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、

前へ / **次へ** ボタンをタッチする。

■ 前の画像に戻る場合

前へ ボタンをタッチする。

※1つ前の画像を表示します。

■ 次の画像に進む場合

次へ ボタンをタッチする。

※次の画像を表示します。



アドバイス

- フォルダを選択して画像を表示させることもできます。

🔍 「**フォルダを選択し画像を表示させる**」 439ページ

その他

映像の調整のしかた	444~446
画質調整を初期値に戻すには	446
音声はそのまま画面を消すには	447
ボタンの照明について	448
音声はそのまま、ナビゲーション	
画面を表示する	449、450
今聞いているモードの画面に戻すには	449
音楽／音声の再生を止めるには	449
リモコンを使う	451~464
安全上のご注意	451、452
使用上のご注意	453
リモコンをホルダーから取り出す	454
リモコンをホルダーに収める	454
リモコンに電池を入れる	455
リモコンの主な便利機能	456
各部の名称とはたらき	457~462
リモコンの10キーで文字を入力するには	463
10キーでの文字入力のみ	464
個人情報の取り扱いについて	465
ルート案内時の注意点	466~469
出発地・経由地・目的地の設定について	470、471
経由地、目的地の登録のポイント	470、471
経由地を使って上手にルートを作る	471
地図ソフトについて	472~475
地図に表示される記号	476、477
市街地図(5m/12m/25mスケール)の	
収録エリア	478~481
細街路(主要市区町村道路)探索エリア	481
VICSの概要	482、483
VICS情報有料放送サービス契約約款	484、485
故障かな?と思ったら	486~497
こんなメッセージが出たときは	498~501
チャンネル一覧	502、503
用語説明	504~507
初期設定一覧	508、509
別売品(システムアップ)について	510、511
主な仕様	512
構成内容	513
保証/アフターサービスについて	514

映像の調整のしかた(1)

- ナビゲーションモード/ラジオ (FM/AM)/CD/MP3/WMA/SD/AUX/USB/PHOTOモード画面のときは、明るさ/コントラスト調整ができます。
- ワンセグ/VTRモード画面のときは、明るさ/コントラスト/色の濃さ/色合いが調整できます。(ただし走行中は明るさ/コントラスト調整のみとなります。)
- 本機に別売のリアカメラ/コーナカメラ/フロントカメラを接続しているときは、明るさ/コントラスト/色の濃さ/色合いが調整できます。



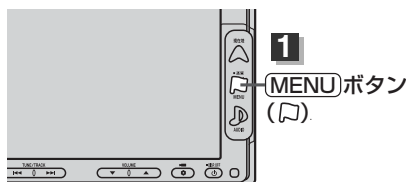
アドバイス

- VTRモード画面で音声入力しか接続していない場合、それぞれのボタンは表示されても調整が反映されるのは、明るさ/コントラスト調整となります。
- 画質は、ナビゲーションモード/ラジオ (FM/AM)/CD/MP3/WMA/SD/AUX/USB/PHOTOモードの画面、ワンセグ画面、VTR画面で別々に調整することができます。



1

MENU ボタン()を2秒以上押す。

：画面右側に画面調整画面が表示されます。



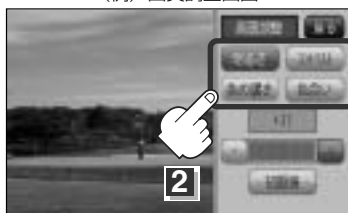
アドバイス

オプション ボタン()に画質調整機能を設定している場合は、このボタンを押して画面調整画面を表示させることができます。  「オプションボタンの設定をする」267、268ページ

2

調整したい項目(**明るさ** / **コントラスト** / **色の濃さ** / **色合い** ボタン)をタッチする。

(例) 画質調整画面



3

- / **+** ボタンをタッチして値を調整する。



アドバイス

調整はタッチパネルの **-** ボタンまたは **+** ボタンをタッチしつづけると素早く調整できます。タッチするのをやめると、その値で止まります。お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。

(例) 画質調整画面



3



■ 明るさ(1~31)調整の場合

- ボタンをタッチすると暗くなり、 **+** ボタンをタッチすると明るくなる。



アドバイス

車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、それぞれ明るさをメモリーしています。ライトをつけている／ライトを消しているときの明るさを、それぞれお好みの明るさに調整してください。

■ コントラスト(1~31)調整の場合

- ボタンをタッチすると黒さが増し、 **+** ボタンをタッチすると白さが増す。



アドバイス

直射日光の反射などで画面が見えにくい場合は **+** ボタンをタッチして白さを増してください。

■ 色の濃さ(1~31)調整の場合

- ボタンをタッチすると淡くなり、 **+** ボタンをタッチすると濃くなる。

■ 色合い(1~31)調整の場合

- ボタンをタッチすると赤が強くなり、 **+** ボタンをタッチすると緑が強くなる。



アドバイス

人間の肌色が自然な感じになるように調整してください。

映像の調整のしかた(2)

4

設定を終わるには…

■ オーディオモード画面の場合

戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻る。

■ NAVIモード画面の場合

現在地 ボタンを押すと、現在地の地図画面に戻る。

※ **戻る** ボタンをタッチすると、1つ前の画面に戻ります。



アドバイス

すでに値を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

画質調整を初期値に戻すには

手順 **2**、**3** (444、445ページ)で調整した画質(明るさ/コントラスト/色の濃さ/色合い)を設定する前の値(初期値)に戻すことができます。

手順 **1** (444ページ)にしたがって操作し、
手順 **2** (画質調整画面)で **初期値** ボタンを
タッチする。

: 設定した値が工場出荷時の値に戻ります。


(例) 画質調整画面



音声はそのまま画面を消すには

画面を消して、音声のみ聞くことができます。

1

電源 ボタン()を2秒以上押す。

: 画面のバックライトが消えて、黒くなります。


(例) CDモード画面



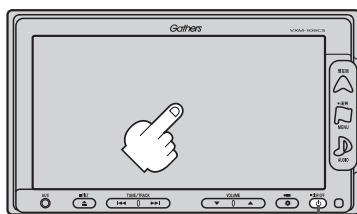
1 **電源** ボタン()

再度、画面を表示する場合

画面をタッチするか、再度

電源 ボタン()をタッチする。


: 画面のバックライトが点灯し、画面が表示されます。



電源 ボタン()



アドハイス












- リアカメラ／コーナーカメラ／フロントカメラが接続されている場合に車のシフトレバーをリバースに入れると、画面消モード中でも、カメラ映像に自動的に切り替わります。
※シフトレバーをリバース以外に入れると、画面を消す前に表示していたモードの画面を5秒間表示してから画面消モードに戻ります。
- リアカメラを接続し、カメラ映像を表示している場合は、**電源** ボタン()を長押ししても画面を消すことはできません。

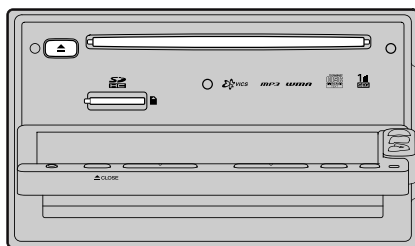
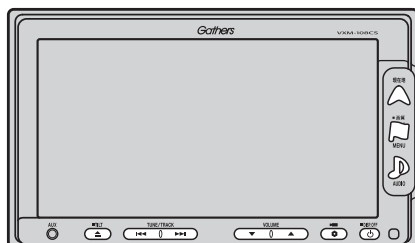
〔映像調整〕

／ 〔音声はそのまま画面を消すには〕

その他

ボタンの照明について

車のライトをONにすると、本機のボタン
(, , )やイラスト
(, , , , , , )
ディスプレイ部を開いたときのイラスト()や
ディスク挿入口、SDカード挿入口が点灯しま
す。



音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する(1)

今のモードの音声を聞きながら、地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。

※この操作はナビゲーション画面から操作することはできません。ナビゲーション画面を表示している場合は、295ページ手順 **2** にしたがって操作し、再生させたいモードに替えてください。

1 各モードの画面で、**現在地** ボタン(△)を押す。

：音声はそのまま、画面がナビゲーション画面に変わります。

(例) CDモード画面



今聞いているモードの画面に戻すには

① **AUDIO** ボタン(♪)を押す。

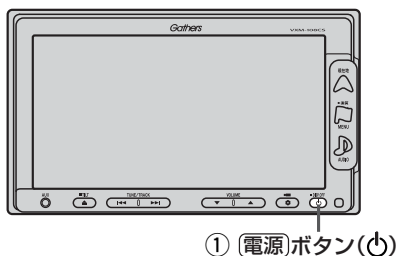
：今聞いているモードの画面に戻り、今聞いているモードの操作が可能になります。再度、ナビゲーション画面を表示する場合は、**現在地** ボタンを押してください。



音楽／音声の再生を止めるには

① **電源** ボタン(⏻)を押す。

：音楽／音声の再生を中止します。(オーディオモード終了)



「ボタンの照明について」／「音声はそのままナビゲーション画面を表示する」

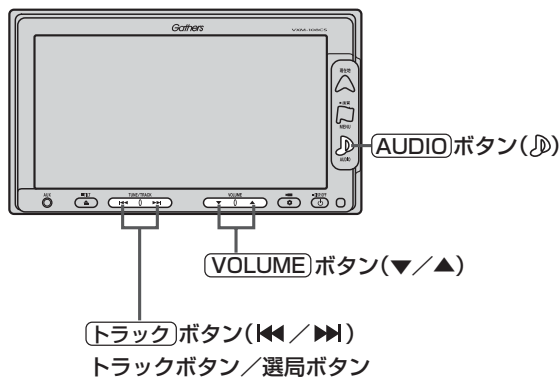
その他

音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する(2)



アドバイス

- 音量調整や◀◀/▶▶を使つての操作やAV OFF/ON(電源)ボタン(⏻)を押すは、ナビゲーション画面のままでもできます。



*用途によって呼び名が変わります。

☞ 295ページアドバイスをご覧ください。

- 音声はそのまま画面を消したい場合は、☞ 「音声はそのまま画面を消すには」 447ページをご覧ください。

安全上のご注意

⚠ 危険

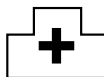
! 電池のプラス⊕とマイナス⊖を確認して正しく入れてください。
電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・けがや、
周囲を汚損させる原因となります。



⊘ 火の中に入れてたり加熱したりしないでください。
電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・けがや周囲を
汚損させる原因となります。



! 電池の液が目に入った場合は、失明の恐れがありますので
こすらずに、すぐにきれいな水で充分洗ったあと、
直ちに医師の治療を受けてください。



⊘ 本機を、前方の視界を妨げる場所やハンドル・シフトレバー・ブレーキペダル等の運
転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険をおよぼす場所、エ
アバッグシステムの動作を妨げる場所に置いたり、取り付けたりしないでください。
交通事故やけがの原因となります。

⊘ 本機を分解したり、改造しないでください。
事故・火災の原因となります。



⊘ 運転中に本機の操作はしないでください。
事故の原因となります。



⊘ 電池のプラス⊕とマイナス⊖を針金などの金属で接続しない。
電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・けがや周囲を
汚損させる原因となります。



「音声はそのまままでナビゲーション画面を表示する」／「リモコンを使う」

その他

警告



水や海水につけたり、ぬらしたりしない。
電池の発熱やサビにより、火災の原因となります。



液もれ、変色、変形など今までと異なることに気づいた時は使用しないでください。
電池の発熱や破裂により、火災やけがの原因となります。



電池の液が皮膚や衣服についた場合は、皮膚に障害をおこす恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗い流す。



事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。そのままにしておくと、生命に危険を及ぼす場合があります。



注意



強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。
電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・けがや周囲を汚損させる原因となることがあります。



高温の場所(直射日光の当たる場所、炎天下の車内、火のそばなど)や低温の場所(寒い戸外など)に放置しない。
電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・けがや周囲を汚損させる原因となることがあります。

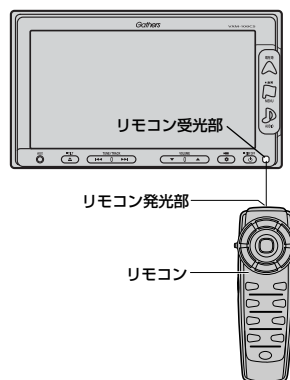


小児が使用する場合は、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書のとおりを使用しているかどうか注意する。
事故の原因となることがあります。



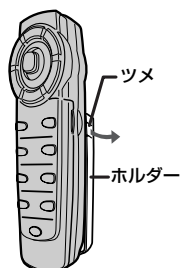
使用上のご注意

- **指定された電池以外は使用しない。**
電池の破裂や液漏れにより、火災やケガ、周囲を汚染する原因となることがあります。
- **リモコン内に電池を入れるときは、極性(⊕極と⊖極)に注意し、指示どおりに入れる。**
指示どおりに入れないと、電池の破裂や液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。
- **加熱・分解したり、火・水の中に入れない。**
電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。
- **金属製のボールペン・ネックレス・コインなどと一緒に携帯または保管しない。**
電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。
- **使用済みの電池は定められた方法および場所に廃棄する。**
- **直射日光の当たる場所に長時間放置しないでください。**
- **ご使用の際は、リモコンの発光部をナビゲーションのリモコン受光部に向けてください。**
※ 電池の消耗により、リモコンの使える範囲が狭くなったり、ボタンを押しても操作できないことがあります。
この場合は、電池を交換してください。

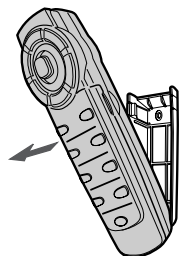


リモコンをホルダーから取り外す

- 1 ホルダーの左右のツメを少し外側に広げて、外します。

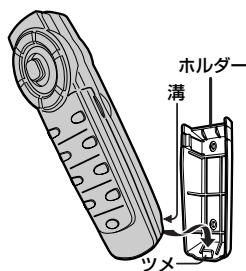


- 2 そのまま手前に引く。

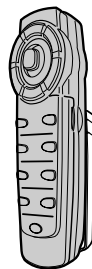


リモコンをホルダーに収める

- 1 ホルダー下部のツメに、リモコン下部の溝を合わせる。



- 2 “カチッ”と音がしてホルダーの左右のツメがはまるまで、リモコンをホルダーに押す。



リモコンに電池を入れる

付属の単4形乾電池を2個使用します。

⚠ 危険

- 電池は、極性(⊕、⊖)に注意し、表示通りに入れてください。
- 金属性のピンセットなどで電池をつかまないでください。ショート(短絡)する恐れがあります。
- 分解や加熱をしたり、水の中に入れてたりしないでください。破裂するなどの危険があります。また、捨てるときは燃えないゴミとして、処理してください。
- 万一、電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

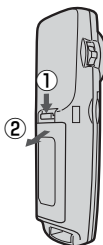


お願い

- 電池は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
- 長時間使用しない場合は、本体から取り出し、湿気の少ない場所で保管してください。

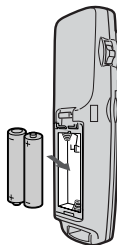
1

ツメを押し下げ、そのまま手前に引く。



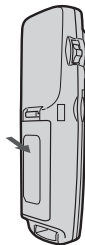
2

左に入れる電池はマイナスを上にして入れ、
右の電池はプラスを上にして入れる。



3

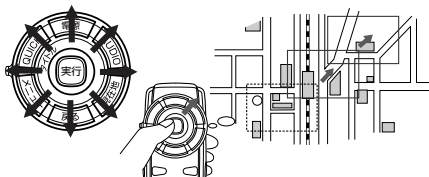
ふたの下のツメを本体の溝に合わせ、“カチッ”と音がするまで閉める。



リモコンの主な便利機能

地図を動かすときに使用

- 1 カーソルキーをスクロールしたい方向へ動かす。
：地図がスクロールされます。

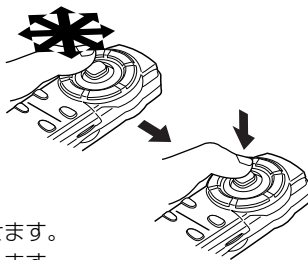


アドバイス

押し続けると連続してスクロールします。カーソルキーは8方向に動かすことができます。

画面のメニュー等を選択し、実行するときに使用

- 1 画面上の項目を選ぶ。(※)
カーソルキーを使用して選びます。
- 2 選んだ項目を押す(実行する)。
実行 ボタンを押します。
選んだ項目の内容を実行したり、次画面を表示させます。
※リモコンで選んだ項目は外わくが水色に表示されます。



アドバイス

機能によっては、リモコンで選択できないボタンがあります。

NAVI/AV切替スイッチについて

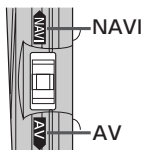
ナビゲーション画面を表示させながらオーディオ(ラジオ(FM/AM)/ワンセグ/CD/MP3/WMA/SD/AUX/VTR/USB/iPod/PHOTO)を同時起動した場合に、ナビゲーションまたはオーディオのどちらのモード操作をナビゲーションが受信するか、あらかじめ設定することができます。

NAVI 側にスイッチをスライドさせる。

：ナビゲーション操作を行ないます。

AV 側にスイッチをスライドさせる。

：オーディオ操作を行ないます。



2画面 ボタンについて

現在地表示時、全画面表示↔2画面表示(地図画面)の切り替えを行ないます。

各部の名称とはたらき

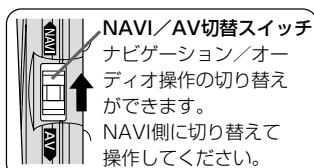
[ナビゲーションの操作1]

電源 ボタン

- オーディオ操作をON/OFFするときに使います。
- 長押しすると、画面が消えます。もう一度ボタンを押すと、再度画面を表示します。

QUICK ボタン

スクロール先で押すと設定メニューが表示されます。



メニュー ボタン

- メニュー画面を表示します。
- 長押しすると画面調整画面が表示されます。

ページ ボタン(▼/▲)

1画面で表示できないときに
1画面で表示できないときに
押すと、ページ送り(▼)
/戻し(▲)します。

2画面 ボタン

押すたびに、
2画面表示 ↔ 全画面表示
と切り替わります。

リモコン発光部

カーソルキー(✱)

- 地図表示位置を変えたり、画面で項目を選ぶときに使います。
- 入力画面のとき、文字選択に使います。

実行 ボタン

- 画面で選んだ項目を実行します。
- 現在地表示中に押すと、渋滞/規制地点が表示されます。(設定ルート上に渋滞/規制がある場合)
- スクロール先で押すと、設定メニューが表示されます。

AUDIO ボタン

ナビゲーション画面で1回押すと、最後に選択した画面(AV含む)になります。もう一度押すと、AV SOURCE画面を表示します。

現在地 ボタン

現在地の地図を表示します。

戻る ボタン

1つ前の選択画面に戻ります。

詳細/広域 ボタン

地図の拡大(詳細)、縮小(広域)をします。

クイックルート ボタン

自宅までのルート探索に使います。

3D表示 ボタン

押すたびに、3D、北方向を上(平面地図)、進行方向を上(平面地図)と、地図表示が切り替わります。

フリップ

[ナビゲーションの操作2]

フリップを開けた場合

検索 ボタン

- 電話番号入力画面または郵便番号入力画面で入力途中で押すと、入力した電話番号または郵便番号に該当するリストまたは地図が表示されます。
- 50音入力画面で押すと、入力した施設名または地名で検索が開始されます。
- マップコード入力画面／緯度・経度入力画面で押すと、入力したマップコードまたは緯度・経度で検索が開始されます。



50音 ボタン

施設の名前を入力して目的地を探すときに、施設50音入力画面を表示します。

TEL ボタン

電話番号を入力して目的地を探すときに、電話番号入力画面を表示します。

10キー&編集ボタン

文字または数字を入力するときに使います。
※詳しくは459ページをご覧ください。

[CD/MP3/WMA/SD/USB/iPodの操作]

電源 ボタン

- オーディオモードを開始/終了 (OFF状態に) します。
- 長押しすると画面が消えます。もう一度押すと、再び画面を表示します。

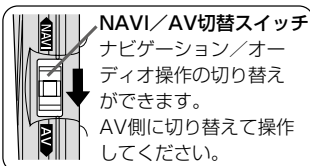
リモコン発光部

カーソルキー (+)

画面で項目を選択するときを使用します。

実行 ボタン

画面で選んだ項目を実行します。



メニュー ボタン

ナビゲーションのメニュー画面を表示します。

音量 ボタン (-/+)

- : 音量減 + : 音量増

AUDIO ボタン

AV SOURCE画面または前回最後に選択していたモード画面を表示します。

現在地 ボタン

現在地の地図を表示します。

戻る ボタン

1つ前の選択画面に戻ります。

トラック ボタン (◀▶)

- 好きな曲を選びます。
- ボタンを押し続けると早戻し (◀◀) / 早送り (▶▶) します。

MP3/WMAの場合

フォルダ ボタン

好きなフォルダを選びます。

REW : フォルダ戻し

FF : フォルダ送り

SD/USBの場合

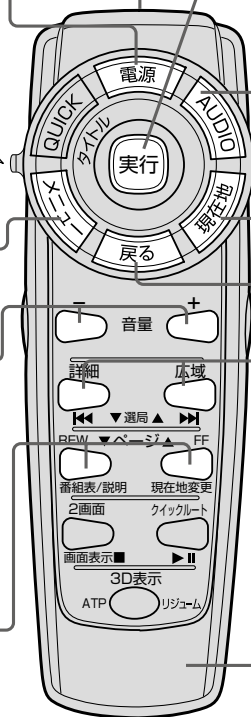
ページ ボタン (▼/▲)

1ページで表示できないリストを、ページ送り (▼) / 戻し (▲) します。

iPodの場合

ページ ボタン (▼/▲)

1ページで表示できないリストを、ページ送り (▼) / 戻し (▲) します。



フリップ

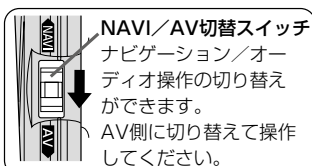
[ラジオの操作]

電源 ボタン

- オーディオモードを開始/終了 (OFF状態) にします。
- 長押しすると画面が消えます。もう一度押しすと、再び画面を表示します。

QUICK ボタン

リスト画面を表示します。



メニュー ボタン

ナビゲーションのメニュー画面を表示します。

音量 ボタン(-/+)

- : 音量減 + : 音量増

ページ ボタン

プリセット放送局を選びます。

リモコン発光部

カーソルキー(+)

画面で項目を選択するときに使います。

実行 ボタン

画面で選んだ項目を実行します。

AUDIO ボタン

AV SOURCE画面または前回最後に選択していたモード画面を表示します。

現在地 ボタン

現在地の地図を表示します。

戻る ボタン

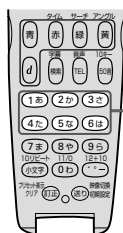
1つ前の選択画面に戻ります。

選局 ボタン(▼/▲)

- 好きなチャンネルを選びます。また、このボタンを押し続けると自動選局を開始します。
- ボタンを押すと自動選局をします。

フリップ

フリップを開けた場合



プリセット選局 ボタン

プリセット放送局を選択します。(ただし、エリアは除く)

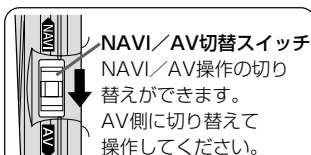
[ワンセグの操作1]

電源 ボタン

- オーディオモードを開始/終了 (OFF状態) にします。
- 長押しすると、画面が消えます。もう一度押しすと、再び画面を表示します。

QUICK ボタン

QUICKメニューを表示します。



メニュー ボタン

ワンセグメニュー画面を表示します。

音量 ボタン(-/+)

- : 音量減 + : 音量増

番組表 ボタン

番組表を表示します。

画面表示 ボタン

操作ボタン1を表示します。

リモコン発光部

カーソルキー(+/-)

画面で項目を選択するときを使用します。

実行 ボタン

画面で選んだ項目を実行します。

AUDIO ボタン

AV SOURCE 画面または前回最後に選択していたモード画面を表示します。

現在地 ボタン

現在地の地図を表示します。

戻る ボタン

1つ前の選択画面に戻ります。

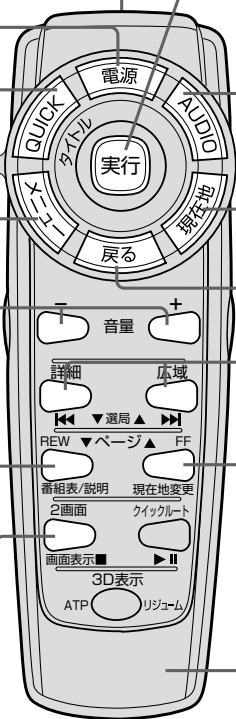
選局 ボタン(▼/▲)

チャンネルを選局するときを使用します。また、このボタンを押し続けると自動選局を開始します。

現在地変更 ボタン

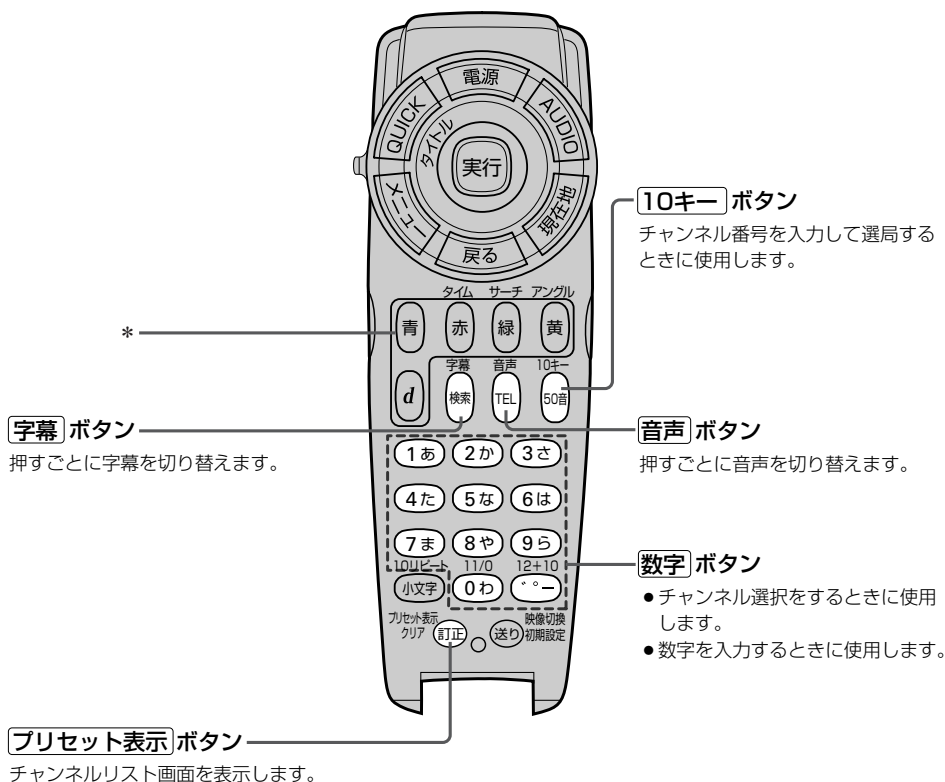
視聴エリア変更画面を表示します。

フリップ



[ワンセグの操作2]

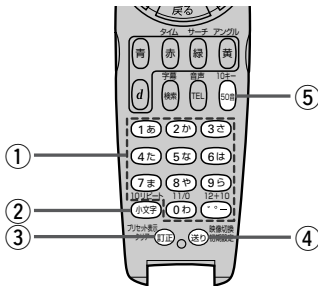
フリップを開けた場合



リモコンの10キーで文字を入力するには

文字の割り当て

文字の入力のしかたには、10キーを押して直接入力する方法と、カーソルキーを動かして画面に表示された50音パレットから文字を選択する方法があります。また、両方の操作を混ぜて行なうこともできます。



10キーでは、1つのボタンに複数の文字が割り当てられています。10キーに割り当てられた文字および編集ボタンのはたらきは以下のとおりです。

文字の割り当て表

	押すボタン	入力文字
①	1あ ボタン	かな・漢字：あいうえお カナ：アイウエオ 英数：1ABC
	2か ボタン	かな・漢字：かきくけこ カナ：カキクケコ 英数：2DEF
	3さ ボタン	かな・漢字：さしすせそ カナ：サシスセン 英数：3GHI
	4た ボタン	かな・漢字：たちつと カナ：タチツテト 英数：4JKL
	5な ボタン	かな・漢字：なにぬねの カナ：ナニヌネノ 英数：5MNO
	6は ボタン	かな・漢字：はひふへほ カナ：ハヒフヘホ 英数：6PQR

⑦	7ま ボタン	かな・漢字：まみむめも カナ：マミムメモ 英数：7STU
⑧	8や ボタン	かな・漢字：やゆよ カナ：ヤユヨ 英数：8VWX
⑨	9ら ボタン	かな・漢字：らりるれる カナ：ラリルレロ 英数：9YZ
⑩	0わ ボタン	かな・漢字：わをん カナ：ワヲン 英数：0ー_/_.
⑪	⋄ ボタン	かな・漢字：` ° ー カナ：` ° ー
⑫	小文字 ボタン	小文字を入力したい時に押します。
⑬	訂正 ボタン	文字を1文字消去する。
⑭	送り ボタン	10キーで文字(かな/カナ/英数)を入力したとき、その文字を確定します。 ※続けて同じボタンの文字を入力するときは、1文字入力後、送りボタンを押してカーソルを右に移動させた後、次の文字を入力します。次に入力する文字が違うボタンの文字のときは、次の文字のボタンを押すと自動的にカーソルが右に移動します。
		押すごとに、 「かな→カナ→英数」と切り替えます。

10キーでの文字入力のしかた

50音パレットで文字を入力する場合

1 入力したい文字が割り当てられたボタンをくり返し押して、入力したい文字を表示させる。

2 **[送り]** ボタンを押して文字を確定する。

※次に入力したい文字が同じボタンに割り当てられていない場合は、**[送り]** ボタンを押す必要はありません。次に入力したい文字のボタンを押すと、前回の文字は自動的に確定されます。

例) あおと入力する場合 **[1あ]** **[1あ]** 5回押す
あ → **[送り]** → お

あかと入力する場合 **[1あ]** **[2か]** **[2か]** ボタンを押した時点で“あ”文字は確定されます。

※入力を間違えた場合は**[訂正]** ボタンを押して入力し直します。
[訂正] ボタンを長押しすると、入力した文字がすべて消去されます。

3 手順**1**、**2**をくり返し、文字を入力する。

電話番号入力画面で数字を入力する場合

入力は数字のみです。

1 入力したい数字のボタンを押す。

※入力した時点で、数字は確定されます。
※入力を間違えた場合は**[訂正]** ボタンを押して入力し直します。
[訂正] ボタンを長押しすると、入力した数字がすべて消去されます。

2 **[検索]** ボタンを押すと、地図検索を始める。



アドバイス

- ここで説明した入力方法は1例です。
この他にも文字の入力画面があります。
- 10キーで入力している時に、カーソルキーを動かして画面に表示された50音パレットから文字を入力する操作を混ぜ合わせて行なうことも可能です。

本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合はプライバシー保護のため、お客様の責任において本機の情報を消去してください。

■ 個人情報に関わる設定を初期化する場合

☞ 「データを初期化(消去)する」 281、282ページ

■ それぞれの設定箇所で消去する場合

- 本機に内蔵されている地上デジタルテレビ放送(ワンセグ)に関する情報の削除

☞ 「 **設定を初期化する** 」 352、353ページ

ルート案内時の注意点(1)

■表示されるルートは参考ルートです。最短ルートをとらない場合があります。

■道路は日々変化しており、地図ソフト作成時期の関係から、形状、交通規制などが実際と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。

■ルート探索中は、車両走行にともなう地図の移動が遅れることがあります。

■ルート探索終了後、探索されたルートが表示されるまでに時間がかかることがあります。

■目的地および経由地に到着してもルートが消えない場合があります。新しいルートを探るか、ルート削除したときにルートは消えます。

■再探索をしたとき、通過したと判断した経由地に戻るルートは探索しません。

■ルート表示時に地図を移動させると、ルートの再表示に時間がかかることがあります。

■距離優先でルート探索をした場合、細い道路の通過や有料道路の乗り降りを繰り返すことがあります。

■距離優先でルート探索をした場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので、距離優先とならない場合があります。

■道路が近接している所では、正確に位置を設定してください。特に、上り、下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。

■経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートをそれぞれ別々に探索していますので、以下になることがあります。

- どれか1か所でもルートが探索できなかったときは、全ルートが表示されません。
- 経由地付近でルートがつかないことがあります。
- 経由地付近でUターンするルートが表示されることがあります。
- 距離優先での探索でも、細街路(白色(細線)の道路)は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。
- 現在地および目的地(経由地)付近における細街路(白色(細線)の道路)を使用したルートについては、音声での案内は行ないません。地図上のルート表示を確認のうえ、実際の交通規制にしたがって走行してください。
- 細街路(白色(細線)の道路)から、それ以外の道路に出るルートおよび細街路に入るルートでは交通規制を考慮していないので、現地では十分確認のうえ、実際の交通規制にしたがって走行してください。

■以下のような場合、ルートが探索できないことがあります。

- 現在地と目的地が遠すぎる場合。
この場合は目的地をもう少し近づけてから再度ルート探索してください。
- 交通規制で目的地や経由地まで到達できない場合。
- 極度に迂回したルートしかない場合。
- その他、条件によってはルート探索できない場合があります。

■以下のようなルートが表示されることがあります。

- ルート探索しても、自転車マークの前または後からルートが表示されることがあります。
- 目的地を設定しても、目的地の前または後にルートが表示されることがあります。
- ルート探索しても、他の道路からのルートを表示することがあります。

この場合は自転車マークが現在地とずれている可能性がありますので、自転車マークが正しい道路に戻ってから、再度ルート探索を行なってください。

- 登録地、案内情報から呼び出した地点をそのまま目的地や経由地に設定すると、遠回りなルートを表示することがあります。修正する場合は、進行方向などに注意して設定してください。インターチェンジ(IC)やサービスエリア(SA)などのように上りと下りの道路が別々になっている場所では、特にご注意ください。

- **一般優先** に表示をしてルート探索させても、有料道路を通るルートが設定される場合があります。

ルートを修正したいときは、一般道路に経由地を設定して再度ルート探索を行なってください。

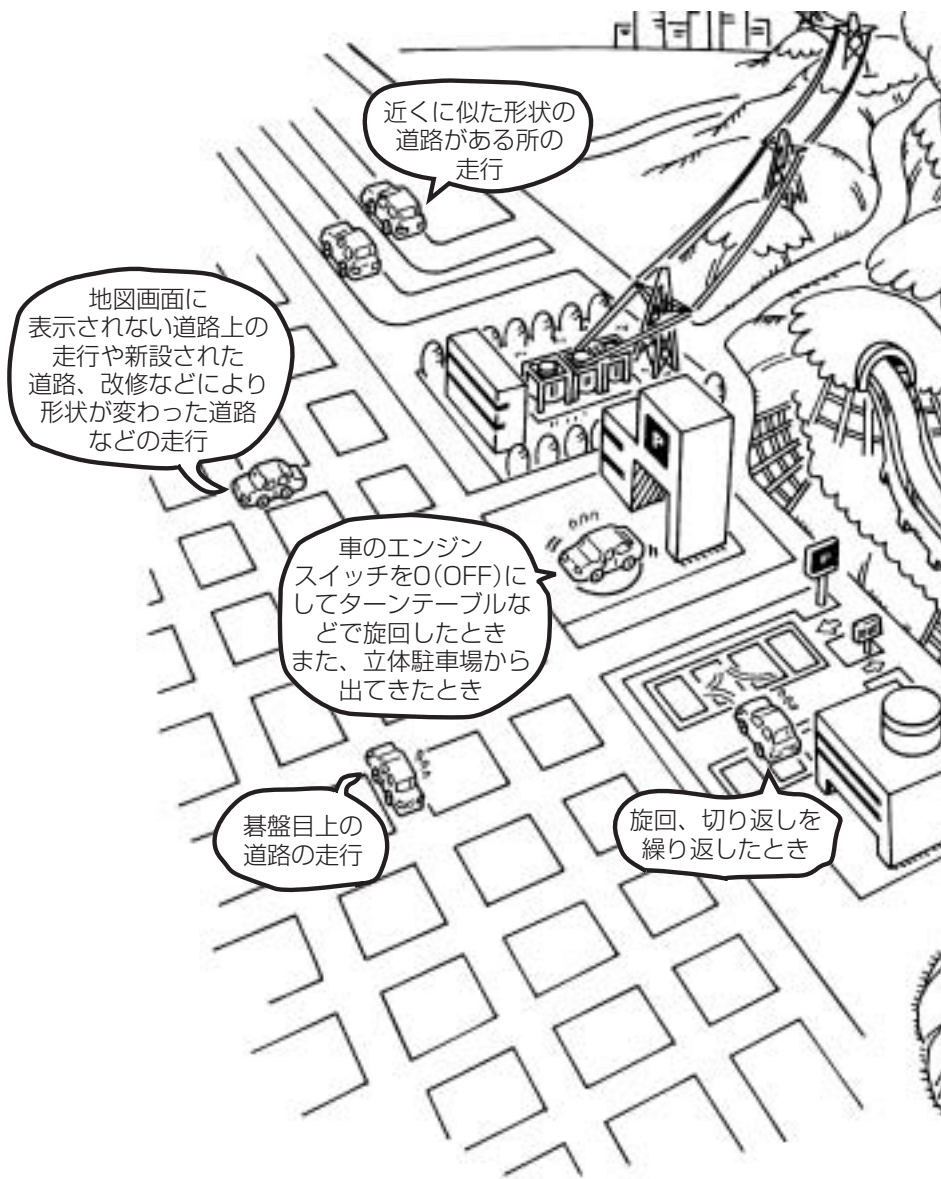
- 陸路のみで目的地に到着できるときや **探索条件** の設定でフェリーを優先“する”に設定していなくても、フェリー航路でのルートが設定される場合があります。ルートを修正したいときは、陸路に経由地を設定して再度ルート探索を行なってください。

- フェリー航路は、旅客のみ、二輪車のみ航路を除いた主なものがルート設定可能ですが、目安としてお考えいただき、実際の所要時間、運行状況などをご確認の上、利用してください。

ルート案内時の注意点(2)

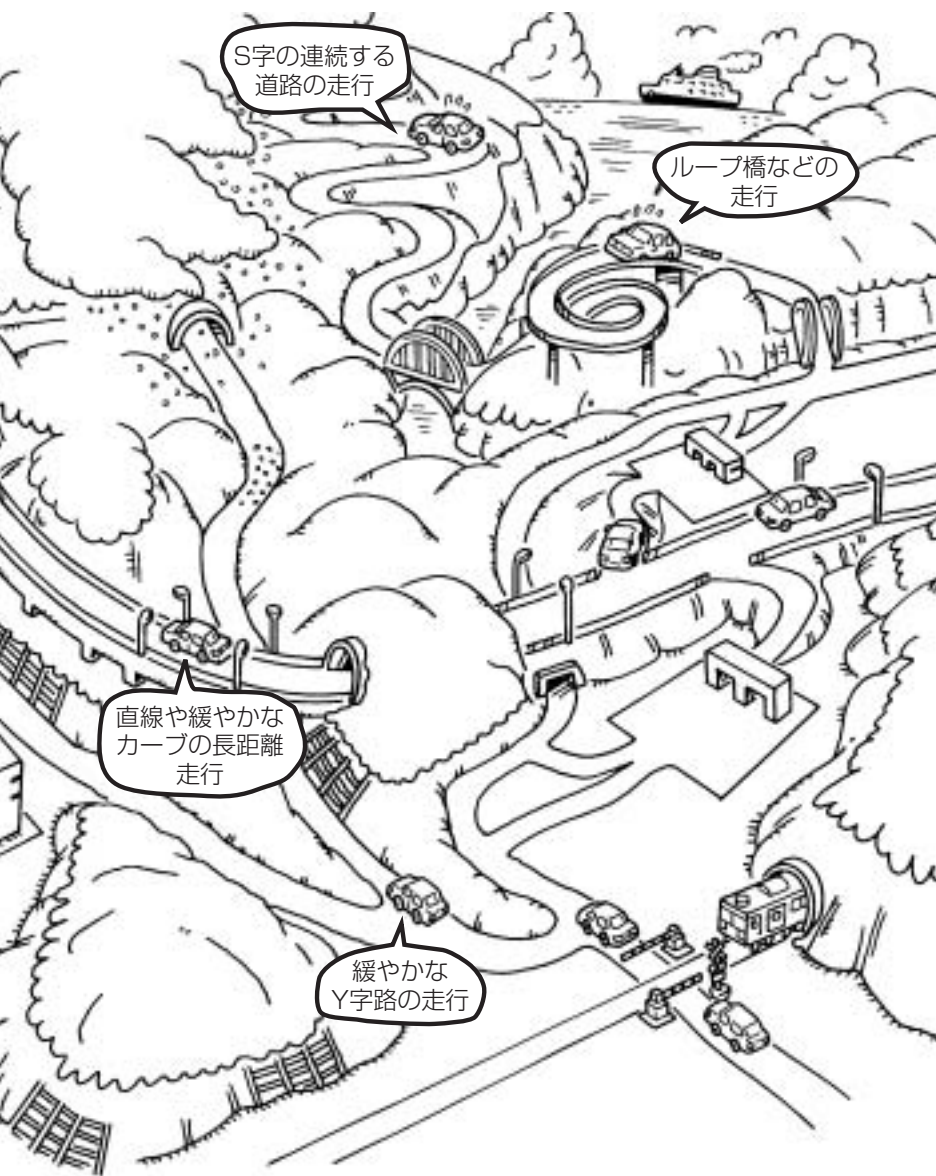
自車マークの表示誤差について

自車マークの現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。





エンジンを始動してすぐ車を動かしたときも、自車マークの向きがずれることがあります。



S字の連続する
道路の走行

ループ橋などの
走行

直線や緩やかな
カーブの長距離
走行

緩やかな
Y字路の走行

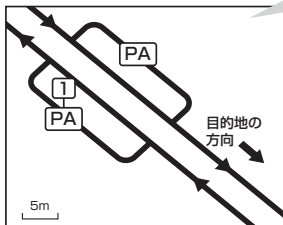
出発地・経由地・目的地の設定について

経由地、目的地の登録のポイント

経由地、目的地は必ず最詳細地図で設定してください。

最詳細地図で設定しなかった場合、次のように設定したい場所とはちがう位置に設定してしまう場合があります。

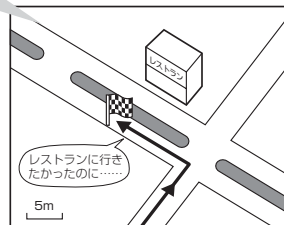
例) 高速道路のPAに経由地を設定した場合



目的地方向と逆のPAに設定され、正しいルートが作れないことがあります。

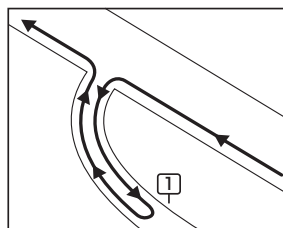
例) 中央分離帯のある一般道路に目的地を設定した場合

最詳細地図で見てみると・・・



目的地と逆の車線に設定されたり、遠まわりルートを設定することがあります。

例) 設定したい経由地付近に細街路がある場合



立ち寄りたい地点とは別の道路上に設定され、正しいルートが作れないことがあります。

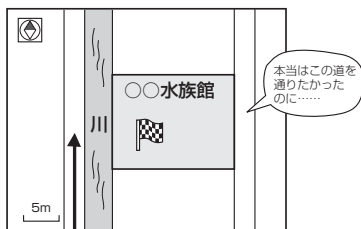
経由地は最詳細地図で目的地方向上にあるPA、車線側に設定してください。

目的地は最詳細地図で、車線等を確認して設定してください。

経由地/目的地は、交差点には設定しないでください。

メニューの検索で施設の地図を探した場合

例) 「施設のジャンルから地点を探す」で「○○水族館」の地図を表示し、目的地を登録した場合



目的地マークに一番近い道路であるため、川向こうのこの道路上の地点が、ルート探索の実際の目的地になります。

出発地/経由地/目的地のマークは施設上に登録されますが、ルート探索の実際の出発地/経由地/目的地は、登録した地点に一番近い探索データのある道路の地点となります。このため、意図したルートとはちがうルートが設定される場合があります。

これをさけるには、最詳細地図で、探索データのある道路のうち、好きな道路上(目的地方向の車線側)に登録してください。

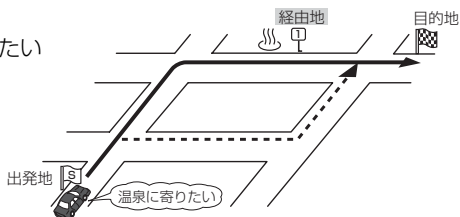


出発地／経由地／目的地を登録した地点から直線距離で一番近い道路がルート探索の実際の出発地／経由地／目的地になります。

経由地を使って上手にルートを作る

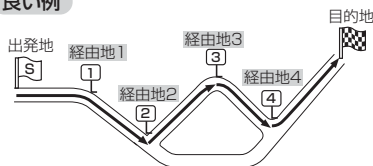
例) ルートの途中に立ち寄りた場所があるとき

経由地を設定しない場合、立ち寄りた場所を通らないルート(-----▶)を作ることがあります。



例) 経由地は出発地(現在地)から近い順に、1、2、3...と、設定してください。

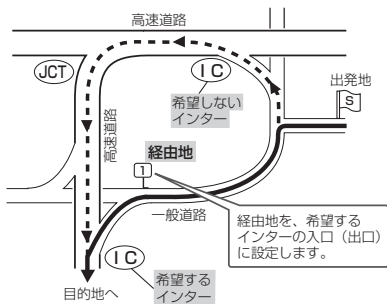
良い例



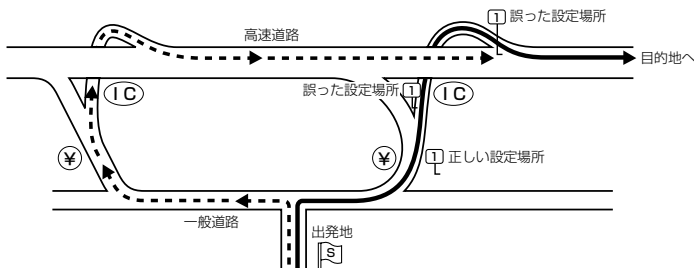
悪い例



例) 希望する高速道路インターから乗りたい(降りたい)場合



希望するICの入口(出口)に経由地を設定します。
 経由地を設定しない場合は、希望しないインターを選ぶことがあり、遠回りのルート(-----▶)を選ぶことがあります。



ICの本線や分岐点などには経由地を設定しないでください。
 遠回りのルート(-----▶)を選ぶことがあります。

地図ソフトについて(1)

株式会社ゼンリンからお客様へのお願い

「本モデル」に格納されている地図データおよび検索情報等のデータの製作にあたって、毎年新しい情報を収集・調査していますが、膨大な情報の改訂作業を行うため収録内容に誤りが発生する場合や情報の収集・調査時期によっては新しい情報の収録がなされていない場合等、収録内容が実際と異なる場合がありますので、ご了承ください。

重要 !!


本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「弊社」)の間の「本モデル」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使用規定

1. 弊社は、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、お客様が管理使用する機器1台に限り本商品を使用する権利を許諾します。
2. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
 - (1) 必ず安全な場所に車を停車させてから本ソフトを使用すること。
 - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
3. お客様は、以下の事項を了承するものとします。
 - (1) 本ソフトの著作権は、弊社または弊社に著作権にもとづく権利を許諾した第三者に帰属すること。
 - (2) 本ソフトおよび本ソフトを使用することによってなされる案内などは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、全て正確かつ完全ではないこと。弊社は、このような場合においても本ソフトの交換・修補・代金返還その他の責任を負わないこと。
 - (3) 本ソフトに関する弊社のお客様に対する損害賠償責任は、弊社の故意または重過失による場合を除き、お客様が直接被った現実かつ通常の損害の賠償に限られ、また、機器の対価としてお客様が現実に支払った金額を限度とすること。なお、この規定は、本ソフトに関する弊社の損害賠償責任のすべてを規定したものとすること。
4. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
 - (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を、複製、抽出、転記、送信することまたは同時に2台以上の機器で使用すること。
 - (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。
 - (3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
 - (4) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください

この取扱説明書では、安全にかかわる注意事項を、次のように記載しています。

 **警告**：「死亡または重傷を負うおそれがある内容」を示しています。

■運転者は、走行中に操作をしないでください。

運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

■操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。

安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

■運転中は、画面を注視しないでください。

運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

■常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。


本ソフトに使用している地図データ・交通規制データ、経路探索、音声案内などが実際と異なる場合があるため、運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

■一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。

一方通行表示は全ての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。

■本ソフトを救急施設などへの誘導用に使用しないでください。

本ソフトにはすべての病院、消防署、警察などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号平20業使、第204-112号)
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)
- この地図の作成にあたっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。(測量法44条に基づく成果使用承認07-173)
- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を利用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 本ソフトを無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 本ソフトに使用している電話番号検索はタウンページ2008年12月のものを使用しています。
- VICIS[®]は財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。

地図ソフトについて(2)

- 道路データは、高速、有料道路においてはおおむね2008年12月、国道、都道府県道についてはおおむね2008年9月までに収集した情報をもとに製作しておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
 - ◆リアル3D交差点 ……ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。(約1710交差点、約5440画像)
※すべての交差点において収録しているわけではありません。
 - ◆JCTビュー ……ルート案内時、自動的に高速・首都高速・都市高速のJCTをリアルデザインで案内します。(約3230ヶ所、約6470方面)
 - ◆方面看板 ……ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。(全国の主要交差点)
※すべての交差点において収録しているわけではありません。
- 経路探索は、2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。
- 「市街地図」データは(株)ゼンリン発行の住宅地図に基づき作成しております。なお、「市街地図」は地域により作成時期が異なるため、一部整合が取れていない地域があります。また、「市街地図」収録エリアにおいては、データの整備状況により一部収録していない地域があります。
- 電話番号検索データはタウンページ(2008年12月発行)をもとに作成しています。タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- 個人宅電話番号検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域に格差がありますが全国で地図検索が可能です。なお、検索された物件の一部では周辺までの表示になる場合があります。
- VICISリンクデータベースの著作権は、(財)日本デジタル道路地図協会、(財)日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICISレベル3対応データを収録しております。VICISによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印等)の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。
※収録エリアには2009年4月時点でVICISサービスが開始されていないエリアも含まれております。
VICISサービスの開始時期については(財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

VICISに関するお問い合わせ

(財)道路交通情報通信システムセンター サービスサポートセンター

電話番号：0570-00-8831

電話受付時間：9：30～17：45(土曜、日曜、祝祭日を除く)

※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※PHSからはご利用できません。

FAX：03-3592-5494

FAX受付時間：24時間

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報をもとに作成しております。

- 道路：2008年12月(高速・有料道路)／2008年9月(国道・都道府県道)
- 交通規制※¹：2008年9月 ■住所検索 : 2008年11月 ■電話番号検索 : 2008年12月
- 郵便番号検索：2008年11月 ■ジャンル検索：2008年10月 ■高速・有料道路料金※²：2008年11月
- 市街地図 : 2008年7月 ■個人宅電話番号検索：2008年10月

※¹：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。

※²：料金表示はETCを利用した各種割引などは考慮していません。

【VICISレベル3対応データ収録エリア】 全国47都道府県

※ただし、収録エリアには2009年4月時点でVICISサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICISサービスの開始時期については(財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

本ソフトについてのお問い合わせ先
株式会社 ゼンリン カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル 0120-210-616

受付時間 10:00～17:00 月～金(祝日・弊社指定休日は除く)

2009年5月発行 製作・発行／株式会社ゼンリン

© 2007 財団法人日本デジタル道路地図協会

© 2008 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

© 2008 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

© 2009 AREX CO.,LTD.

© ジオ技術研究所

© 2009 ZENRIN CO., LTD.

地図に表示される記号

地図表示記号(例)

	都道府県庁舎・北海道支庁庁舎 (オレンジ色)		ファミリーレストラン		その他目標施設
	市役所・特別区庁舎(黄色)		山頂		JRA競馬場・ウインズ
	町村役場・政令指定都市区役所庁舎		工場		ガソリンスタンド
	官公署・市町村役場支所(出張所)		一方通行記号		展望タワー
	消防署(含む：分署・支署・出張所)		交差点		動物園
	自衛隊		サービスエリア		植物園
	学校		パーキングエリア		水族館
	病院		インターチェンジ		ゴルフ場
	警察署・交番・駐在所		ジャンクション		温泉
	図書館		料金所		スキー場
	海水浴場・(湖水、池)水泳場		ランプ(出入口)		遊園地・テーマパーク
	デパート・ショッピングセンター		ランプ(出口専用)		テーマパークゲート
	その他ショップ		駐車場		キャンプ場
	ホテル・旅館・宿泊施設		運動施設		スタジアム
	史跡・旧跡、観光名所		サッカースタジアム		公園
	神社		墓地		マリナー
	寺院(仏閣、地蔵)				
	教会				
	城跡				
	美術館				
	博物館				
	郵便局				
	銀行				
	飛行場・空港				
	港				
	フェリーターミナル				

道路の表示色

青色：高速道路、有料道路

赤色：国道

緑色：主要地方道、県道

灰色：一般道、細街路（経路案内対象外）

薄紺色：フェリー航路（経路案内対象外含む）

※経路対象・経路対象外ともに破線表示

※市街地図の場合、上記と異なる色で表示されます。

※計画道路

- 建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として表示されます。
- 市街地図では計画道路も実線表示している箇所がありますが、ルート探索の対象とはなりません。

立体アイコン(例)



東京タワー



サンシャイン60



神宮球場



松江城



日本武道館



横浜ランド
マークタワー



東京都庁
(第一庁舎)



通天閣



金閣寺



原爆ドーム

市街地図(5m/12m/25mスケール)の収録エリア(1)

90%以上収録地域 → 無印、50%以上収録地域 → □、50%未満収録地域 → ■

北海道	札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、苫小牧市、稚内市、美瑛市、虻別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、釧路町、岩見沢市、網走市、留萌市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、江差町、斜里町、伊達市、白老町、音更町、北斗市
青森県	三沢市、青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、むつ市、藤崎町、大鰐町、東北町、つがる市、平川市
岩手県	盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、陸前高田市、釜石市、二戸市、栗石町、岩手町、滝沢村、一関市、紫波町、矢巾町、大槌町、山田町、岩泉町、八幡平市、奥州市
宮城県	多賀城市、仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、色野市、名取市、岩沼市、大河原町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、富谷町、色麻町、加美町、登米市、栗原市、東松島市、美里町、大崎市
秋田県	秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、五城目町、井川町、由利本荘市、湯上市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市
山形県	山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市
福島県	福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、桑折町、国見町、本宮市、鏡石町、西郷村、矢吹町、小野町、田村市、南相馬市、伊達市
茨城県	水戸市、日立市、土浦市、取手市、ひたちなか市、五霞町、境町、守谷市、利根町、古河市、石岡市、結城市、龍ヶ崎市、下妻市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、牛久市、つくば市、鹿嶋市、潮来市、茨城町、大洗町、東海村、鉾田市、神栖市、阿見町、常陸大宮市、那珂市、筑西市、板東市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、行方市、常総市、つくばみらい市、小美玉市、河内町

栃木県	宇都宮市、小山市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、矢板市、上三川町、二宮町、益子町、市貝町、芳賀町、壬生町、野木町、大平町、都賀町、那須町、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市
群馬県	前橋市、高崎市、伊勢崎市、太田市、桐生市、富士見村、榛東村、吉岡町、吉井町、甘楽町、中之条町、東吾妻町、隣恋村、草津町、みなかみ町、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市
埼玉県	川越市、熊谷市、川口市、さいたま市、所沢市、飯能市、加須市、本庄市、春日部市、狭山市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、鳩ヶ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、鶴ヶ島市、吉川市、三芳町、毛呂山町、鷲宮町、松伏町、行田市、秩父市、東松山市、羽生市、鴻巣市、坂戸市、幸手市、日高市、伊奈町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町、騎西町、北川辺町、大利根町、宮代町、白岡町、葛蒲町、栗橋町、杉戸町、ふじみ野市、ときがわ町
千葉県	千葉市、市川市、船橋市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、銚子市、館山市、成田市、東金市、鴨川市、君津市、富津市、酒々井町、富里市、印旛村、本埜村、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里町、九十九里町、山武市、横芝光町、芝山町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、南房総市、匝瑳市、香取市、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、いすみ市

東京都	千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、西東京市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、瑞穂町、日の出町、あきる野市、檜原村、奥多摩町
神奈川県	横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、相模原市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、愛川町、秦野市、座間市、松田町、山北町、箱根町、真鶴町、湯河原町、清川村
新潟県	新潟市、三条市、長岡市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、燕市、栃尾市、糸魚川市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、聖籠町、見附市、村上市、田上町、湯沢町、妙高市、南魚沼市、胎内市
富山県	富山市、高岡市、魚沼市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市
石川県	野々市町、内灘町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、津幡町、かほく市、白山市、能美市、志賀町、川北町
福井県	福井市、鯖江市、坂井市、美浜町、高浜町、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、あわら市、越前市
山梨県	甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、増穂町、昭和町、富士河口湖町、上野原市、甲州市、市川三郷町、中央市

長野県	松本市、長野市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、軽井沢町、御代田町、下諏訪町、富士見町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、松川町、高森町、阿智村、白馬村、坂城町、小布施町、山ノ内町、筑北村、安曇野市
岐阜県	岐阜市、多治見市、岐南町、関ヶ原町、神戸町、大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、下呂市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、笠松町、坂祝町、富加町、飛騨市、本巣市、郡上市、海津市、北方町、輪之内町、安八町
静岡県	浜松市、沼津市、富士市、静岡市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、芝川町、岡部町、御前崎市、吉田町、菊川市、森町、新居町、伊豆の国市、牧之原市
愛知県	名古屋市中区、岡崎市、一宮市、瀬戸市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、東郷町、長久手町、豊山町、春日町、清須市、大口町、扶桑町、七宝町、美和町、甚目寺町、大治町、蟹江町、飛鳥村、弥富市、阿久比町、東浦町、南知多町、武豊町、一色町、幸田町、三好町、御津町、豊橋市、半田市、豊川市、常滑市、新城市、美浜町、吉良町、幡豆町、小坂井町、愛西市、北名古屋
三重県	津市、松阪市、いなべ市、東員町、菟野町、四日市市、伊勢市、桑名市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、玉城町、度会町、志摩市、伊賀市、木曾岬町、朝日町、川越町
滋賀県	近江八幡市、草津市、大津市、彦根市、長浜市、守山市、栗東市、野洲市、湖南市、甲賀市、安土町、日野町、竜王町、米原市、高島市、東近江市

市街地図(5m/12m/25mスケール)の収録エリア(2)

90%以上収録地域 → 無印、50%以上収録地域 → □、50%未満収録地域 → ■

京都府	城陽市、向日市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、木津川市、精華町、京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、富津市、亀岡市、長岡京市、宇治田原町、笠置町、和束町、南山城村、京丹後市、南丹市、大山崎町
大阪府	大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、田尻町、高槻市、河内長野市、泉南市、島本町、豊能町、能勢町、熊取町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村
兵庫県	尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、三木市、播磨町、福崎町、太子町、上郡町、神戸市、姫路市、洲本市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、猪名川町、稲美町、淡路市、南あわじ市、養父市、丹波市、宍粟市、朝来市、たつの市、多可町、香美町、新温泉町、加東市
奈良県	奈良市、橿原市、桜井市、生駒市、平群町、三郷町、斑鳩町、田原本町、明日香村、大和高田市、大和郡山市、天理市、五條市、御所市、香芝市、葛城市、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、安堵町、川西町、宇陀市、三宅町
和歌山県	和歌山市、海南市、岩出市、かつらぎ町、湯浅町、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、白浜町、那智勝浦町、紀の川市、有田川町、高野町
鳥取県	鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、三朝町、日吉津村
島根県	松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市、斐川町
岡山県	岡山市、倉敷市、玉野市、備前市、早島町、勝央町、久米南町、津山市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、和気町、里庄町、矢掛町、鏡野町、奈義町、西粟倉村、美作市、吉備中央町、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美咲町、浅口市

広島県	呉市、尾道市、福山市、府中市、府中町、坂町、江田島市、広島市、竹原市、三原市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、海田町、熊野町、安芸高田市
山口県	下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、山陽小野田市、光市、長門市、柳井市、美祿市、周南市、和木町、平生町
徳島県	徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、石井町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町、阿波市、美馬市、三好市
香川県	高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、土庄町、綾川町、宇多津町、まんのう町、琴平町、多度津町、三豊市、小豆島町
愛媛県	松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、松前町、砥部町、伊方町、久万高原町、西予市、東温市
高知県	高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、佐川町、梶原町、四万十市、香南市、香美市、四万十町、黒潮町
福岡県	北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、中間市、小郡市、春日市、宗像市、志免町、粕屋町、水巻町、直方市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、筑紫野市、大野城市、太宰府市、前原市、古賀市、那珂川町、宇美町、篠栗町、須恵町、新宮町、久山町、芦屋町、岡垣町、遠賀町、二丈町、志摩町、うきは市、大刀洗町、刈田町、吉富町、福津市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、鞍手町、大木町、築上町、みやま市
佐賀県	佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、白石町、嬉野市、神崎市
長崎県	佐世保市、時津町、長崎市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、五島市、波佐見町、対馬市、壱岐市、西海市、雲仙市、長与町、南島原市

熊本県	熊本市、玉名市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、山鹿市、菊池市、宇土市、植木町、大津町、菊陽町、合志市、益城町、阿蘇市、南小国町、小国町、上天草市、宇城市、高森町、天草市
大分県	大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、九重町、玖珠町、国東市
宮崎県	宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、清武町
鹿児島県	鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、いちき串木野市、阿久根市、出水市、伊佐市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曾於市、霧島市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市
沖縄県	那覇市、宜野湾市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、本部町、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、豊見城市、与那原町、南風原町、石垣市、うるま市、宮古島市、南城市、八重瀬町



アドハイス

- 地図ソフトの更新により収録エリアは変わります。
- 収録されている市街地図データの調査終了時期は一部を除き、2009年7月です。

細街路(主要市区町村道路)探索エリア

細街路(主要市区町村道路)を含めたルートの探索を行なうことができます。

探索されたルートは細街路中では黄色で表示されます。




お願い

狭すぎて、自動車が通行できない細街路を案内することがあります。

運転の際は現地の状況にしがってください。

VICSの概要

VICSはVehicle Information and Communication System(道路交通情報通信システム)の略です。「VICS」および「vics®」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

〈概念〉

道路交通にかかわる様々な情報を、直接車載機にリアルタイムに提供することにより、ドライバーが適切なルートを選ぶことができ、その結果として、車の流れの分散、渋滞の緩和が促され、道路交通の安全性、円滑性が向上することを目的としています。

〈システム概要〉

このシステムは、(財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)*¹から、3種類のメディア(電波ビーコン、光ビーコン、FM多重放送)*²を使ってリアルタイム*³に送られてくる道路交通情報(渋滞、事故、工事、所要時間、駐車場など)を、車載機で受信、表示するというものです。表示形態は文字情報表示(レベル1)、簡易図形表示(レベル2)、地図表示(レベル3)の3段階あります。

本機では、FM多重放送のVICS情報を受信し、レベル1～3を表示します。

※本書および画面表示では、VICS情報を“交通情報”とも呼んでいます。

*¹ (財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)は、警察庁、総務省、国土交通省を主務官庁とする公益の財団法人です。

*² FM多重放送では広域情報を提供します。主として、電波ビーコンは高速道路に、光ビーコンは一般道路に設置されており、走行している場所に即した情報を提供します。

*³ 通信処理のため、5分程度の遅れはあります。

〈サービスエリア〉

東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、大阪府、愛知県、京都府、兵庫県、長野県、広島県、福岡県、宮城県、北海道(札幌地区、旭川地区、函館地区、釧路地区、北見地区)、静岡県、群馬県、岡山県、福島県、沖縄県、宮崎県、岐阜県、三重県、山口県、茨城県、和歌山県、滋賀県、奈良県、栃木県、山梨県、新潟県、石川県、熊本県、大分県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県、佐賀県、長崎県、鹿児島県、福井県、富山県、山形県、秋田県、青森県、島根県、鳥取県、岩手県、全国の高速道路(電波ビーコン)で展開されています。(平成21年3月1日現在)

〈情報提供時間〉

ビーコン……24時間

FM多重放送……24時間(ただし、第1、第3日曜日の翌日の月曜日、午前1時～午前5時までは放送を休止する場合があります。)

※VICSの運用休止中は、情報が送信されていても、内容は保証されません。

〈情報の更新について〉

おおむね、5分間隔で更新されます。

〈FM文字多重放送の一般情報(番組)の道路交通情報とのちがいについて〉

一般情報の道路交通情報が30分ごとに手入力されるのに対して、VICSではリアルタイムに情報を提供しています。

〈VICSリンクデータベースの著作権について〉

VICSリンクデータベースの著作権は(財)日本デジタル道路地図協会、(財)日本交通管理技術協会が有しています。

*VICSリンク：各メディアを介して車両へ道路交通情報を提供する際、道路の統一的な表現手段として「VICSリンク」を定義しています。リンクは道路ネットワークを交差点、インターチェンジ、ジャンクション、分岐点、合流点等の適切な分割点(ノード)で分割し、その分割単位に付番したものであり、道路ネットワーク上の道路交通情報の表現が的確かつ効率的に行えます。

*VICSリンクデータベース：VICSリンクと(財)日本デジタル道路地図協会が製作しているデジタル地図との対応テーブル。

〈VICSに関する問い合わせ先について〉

問い合わせの内容によって、下記のように問い合わせ先が異なります。

問い合わせ項目	問い合わせ先	お買い上げの 販売会社	VICSセンター* (東京センター)
VICSの概念、計画			○
レベル1の表示内容			○
レベル2の表示内容			○
レベル3の表示内容		○	
サービスエリア		○	
受信可否		○	
車載機の調子、機能、使い方		○	

*VICS関連商品、VICS情報の受信エリアや内容の概略、レベル3(地図)表示の内容に関することは弊社「お客様相談室」(連絡先は裏表紙をご覧ください)へお問い合わせください。

*VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは(財)VICSセンターへお問い合わせください。(ただし、レベル3(地図)表示の表示内容は除く。)

(財)VICSセンター (サービス・サポート・センター)

電話番号 【東京センター(お客様問い合わせ窓口)ユーザー問い合わせ番号】
0570-00-8831

※PHSからはご利用できません。

全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

電話受付時間 9:30~17:45(土曜、日曜、祝祭日を除く)

FAX番号 (03)3592-5494 (全国)

FAX受付時間 24時間

ホームページアドレス <http://www.vics.or.jp/>

*お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めのHonda販売店または、裏表紙に記載している株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」までご連絡いただくことをおすすめします。

※PHSからはご利用できません。

〈使用上のご注意〉

- 提供された情報と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制に従ってください。
- 提供される情報はあくまでも参考情報です。
- 提供されるデータ等は最新情報でない場合があります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総 則

(約款の適用)

第1条 財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契 約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、別表1のとおりとします。ただし、そのサービス提供区域内であっても、電波の伝わりにくいところでは、VICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料 金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表2に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保 守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

- 2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑 則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

〔別表1〕「サービスの提供区域」

東京都 23区及び昭島市、あきる野市、稲城市、青梅市、清瀬市、国立市、小金井市、国分寺市、小平市、狛江市、立川市、西東京市、多摩市、調布市、八王子市、羽村市、東久留米市、東村山市、東大和市、日野市、羽村市、福生市、町田市、三鷹市、武蔵野市、武蔵村山市

神奈川県 厚木市、綾瀬市、伊勢原市、海老名市、小田原市、鎌倉市、川崎市、相模原市、座間市、逗子市、茅ヶ崎市、秦野市、平塚市、藤沢市、三浦市、南足柄市、大和市、横須賀市、横浜市

埼玉県 上尾市、朝霞市、入間市、岩槻市、桶川市、春日部市、加須市、上福岡市、川口市、川越市、北本市、行田市、久喜市、熊谷市、鴻巣市、越谷市、さいたま市、坂戸市、幸手市、狭山市、志木市、草加市、秩父市、鶴ヶ島市、所沢市、戸田市、新座市、蓮田市、鳩ヶ谷市、羽生市、飯能市、東松山市、吉川市、深谷市、富士見市、本庄市、三郷市、八潮市、高崎市、和光市、蕨市、我孫子市、市川市、市原市、印西市、浦安市、柏市、勝浦市、鎌ヶ谷市、鴨川市、木更津市、佐倉市、白井市、袖ヶ浦市、館山市、千葉市、銚子市、東金市、流山市、習志野市、成田市、野田市、船橋市、松戸市、茂原市、八街市、八千代市、四街道市

愛知県 安城市、一宮市、稲沢市、犬山市、岩倉市、大府市、岡崎市、尾張旭市、春日井市、蒲郡市、刈谷市、江南市、小牧市、新城市、瀬戸市、高浜市、知多市、知立市、津島市、東海市、常滑市、豊明市、豊川市、豊田市、豊橋市、名古屋市、西尾市、日進市、半田市、尾西市、碧南市

大阪府 池田市、和泉市、泉大津市、泉佐野市、茨木市、大阪市、大阪狭山市、貝塚市、交野市、門真市、河内長野市、岸和田市、堺市、四条畷市、吹田市、摂津市、泉南市、大東市、高石市、高槻市、豊中市、富田林市、豊屋川市、羽曳野市、東大阪市、枚方市、藤井寺市、松原市、箕面市、守口市、八尾市

京都府 綾部市、宇治市、亀岡市、京田辺市、京都市、城陽市、長岡京市、福知山市、舞鶴市、宮津市、向日市、八幡市

長野県 飯田市、飯山市、伊那市、上田市、大町市、岡谷市、更埴市、駒ヶ根市、小諸市、佐久市、塩尻市、須坂市、諏訪市、茅野市、中野市、長野市、松本市

兵庫県 相生市、明石市、赤穂市、芦屋市、尼崎市、伊丹市、小野市、加古川市、加西市、川西市、神戸市、三田市、洲本市、高砂市、宝塚市、龍野市、豊岡市、西宮市、西脇市、姫路市、三木市

福岡県 飯塚市、大川市、大野城市、大牟田市、春日市、北九州市、久留米市、古賀市、田川市、太宰府市、筑後市、筑紫野市、中間市、直方市、福岡市、前原市、宗像市、柳川市、山田市、八女市、行橋市

広島県 因島市、尾道市、呉市、竹原市、廿日市市、広島市、福山市、府中市、三原市、三次市

宮城県 石巻市、岩沼市、角田市、気仙沼市、塩竈市、白石市、仙台市、多賀城市、名取市、古川市

北海道 (札幌地区) 赤平市、芦別市、石狩市、岩見沢市、歌志内市、恵庭市、江別市、小樽市、北広島市、札幌市、砂川市、滝川市、伊達市、千歳市、苫小牧市、登別市、美唄市、三笠市、室蘭市、夕張市

静岡県 熱海市、伊東市、磐田市、御殿場市、静岡市、島田市、下田市、裾野市、天竜市、沼津市、浜北市、浜松市、袋井市、富士市、藤枝市、富士宮市、三島市、焼津市

群馬県 安中市、伊勢崎市、太田市、桐生市、渋川市、高崎市、館林市、富岡市、沼田市、藤岡市、前橋市

福島県 会津若松市、いわき市、喜多方市、郡山市、白河市、須賀川市、相馬市、二本松市、原町市、福島市

岡山県 井原市、岡山市、笠岡市、倉敷市、総社市、高梁市、玉野市、津山市、新見市

沖縄県 糸満市、浦添市、沖繩市、宜野湾市、名護市、那覇市

宮崎県 小林市、西都市、日南市、延岡市、都城市、宮崎市

岐阜県 恵那市、大垣市、各務原市、岐阜市、関市、高山市、多治見市、土岐市、中津川市、羽島市、瑞浪市、美濃加茂市、山県市、瑞穂市

三重県 伊勢市、尾鷲市、龜山市、桑名市、鈴鹿市、津市、久居市、松阪市、四日市市

山口県 岩国市、宇部市、小野田市、下松市、下関市、長門市、萩市、光市、防府市、美祢市、柳井市、山口市、周南市

茨城県 石岡市、笠間市、北茨城市、古河市、高萩市、土浦市、下館市、下妻市、日立市、常陸太田市、ひたちなか市、水戸市、結城市

北海道 (旭川地区) 旭川市、士別市、名寄市、富良野市、留萌市

和歌山県 有田市、海南市、御坊市、新宮市、田辺市、和歌山市

滋賀県 大津市、近江八幡市、草津市、彦根市、守山市、八日市市、栗東市

奈良県 生駒市、橿原市、香芝市、御所市、桜井市、天理市、奈良市、大和郡山市、大和高田市

栃木県 足利市、今市市、宇都宮市、大田原市、小山市、鹿沼市、黒磯市、佐野市、栃木市、日光市、真岡市、矢板市

山梨県 塩山市、大月市、甲府市、都留市、韮崎市、富士吉田市、山梨市、南アルプス市

新潟県 小千谷市、柏崎市、加茂市、五泉市、三条市、新発田市、上越市、白根市、燕市、栃尾市、豊栄市、長岡市、新潟市、新潟市、見附市、村上市、両津市

石川県 金沢市、小松市、珠洲市、七尾市、羽咋市、松任市、輪島市

北海道 (函館地区) 函館市

熊本県 荒尾市、牛深市、宇土市、菊池市、熊本市、玉名市、人吉市、水俣市、八代市、山鹿市

大分県 宇佐市、臼杵市、大分市、杵築市、佐伯市、竹田市、津久見市、中津市、田田市、別府市

香川県 坂出市、善通寺市、高松市、丸亀市、さぬき市、東かがわ市

愛媛県 今治市、伊予市、伊予三島市、宇和島市、大洲市、川之江市、西条市、東予市、新居浜市、松山市、八幡浜市

佐賀県 伊万里市、鹿島市、唐津市、佐賀市、多久市、武雄市、鳥栖市

長崎県 諫早市、大村市、佐世保市、島原市、長崎市、平戸市、福江市、松浦市

鹿児島県 阿久根市、出水市、指宿市、大口市、鹿児島市、加世田市、鹿屋市、国分市、川内市、垂水市、西之表市、枕崎市

徳島県 阿南市、小松島市、徳島市、鳴門市

高知県 安芸市、高知市、宿毛市、須崎市、土佐市、土佐清水市、中村市、南国市、室戸市

福井県 大野市、小浜市、鯖江市、武生市、敦賀市、福井市

富山県 魚津市、小矢部市、黒部市、新湊市、高岡市、砺波市、富山市、滑川市、氷見市

山形県 上山市、寒阿江市、酒田市、新庄市、鶴岡市、天童市、長井市、南陽市、東根市、村山市、山形市、米沢市

秋田県 秋田市、大館市、男鹿市、能代市、本荘市、湯沢市

青森県 青森市、黒石市、五所川原市、十和田市、八戸市、弘前市、三沢市、むつ市

岩手県 一関市、大船渡市、釜石市、北上市、久慈市、遠野市、花巻市、宮古市、水沢市、盛岡市、陸前高田市

鳥根県 出雲市、津江市、大田市、浜田市、平田市、益田市、松江市、安来市

鳥取県 倉吉市、境港市、鳥取市、米子市

北海道 (釧路地区) 釧路市、根室市、帯広市

北海道 (北見地区) 網走市、北見市、紋別市

〔別表2〕視聴料金 315円 (うち消費税15円)
ただし、車載機購入価格に含まれております。

〔約歌〕

その他

故障かな？と思ったら(1)

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、
使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

共 通

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
低温時(0℃以下)に車のエンジンスイッチをⅡ(ON)にすると、しばらく画面が暗い。	液晶(内部照明装置(バックライト))の特性によるものです。	故障ではありません。しばらくそのままお待ちください。本体の温度が上がると元に戻ります。	—
エンジンスイッチをⅡ(ON)にした後、しばらく画面にムラがある。	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。しばらくすると安定します。	—
音が出ない。	音量が小さいまたは音の大きさが“0”になっている。	[VOLUME] ボタン(▼/▲)で調整してください。	297
	音質・音量バランスが片方に寄っている。	音質・音量バランスを正しく調整してください。 ※2スピーカーの場合は“0”に合わせます。	299、 300
	音を消している(ミュート中) ([OPTION] ボタン(⊙)にミュートを設定している場合)	[OPTION] ボタン(⊙) / [VOLUME] ボタン(▼/▲)を押してミュートを解除してください。	267、 268、 297
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—
本機に登録されていた情報が消失している。	<ul style="list-style-type: none"> ●本機の使用をあやまった ●ノイズの影響を受けた ●修理を依頼したなどにより本機に保存した内容が消失する場合があります。 	消失したデータについては補償できません。	—
ディスプレイが閉じない。	ディスク排出処理中。	排出が終わったらディスクを取り出してください。取り出さないとディスプレイ部は閉じません。	—
	SDカードが奥まで挿入されていない。	奥まで挿入してください。奥まで挿入しないとディスプレイ部は閉じません。	48
ディスクが出ない。	ディスクに汚れ、傷、指紋がついている。	ディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズがついているディスクは使用しないでください。 ※ディスク要因で読み込みできないときなど、イジェクトしてから排出されるまでに時間がかかる場合があります。	38

モニター

症状	原因	処置	参考ページ
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。音声のみでお楽しみください。	—
	明るさ／コントラスト調整が暗い方いっぱいになっている。	明るさ／コントラストを調整してください。	444～446
	画面が消えている。	画面をタッチして、画面を表示させてください。	447
	VTRモードになっている。	外部機器の電源を入れる、または他のモードに切り替えてください。(VTR未入力時は黒い画面になります。)	—
表示が暗く見づらい。	車両側のオートライトが働いている。	画面の明るさはイルミに連動します。(トンネル内など画面が急に暗くなります。) オートライトが働いていないとき、またはライトをONにしていると画面は明るくなります。	—
画面が乱れる。	液晶画面の近くに携帯電話や無線機がある。	携帯電話等の妨害により画面が乱れる場合があります。液晶画面の近くにこれらを近づけないでください。	—
ワンセグなどの映像色や色合いが悪い。	調整がずれている。	明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いを調整してください。	444～446
映像にはん点やしま模様が出る。	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
ディスプレイに光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。	—

「故障かな」と思ったらい

その他

故障かな？と思ったら(2)

ナビゲーション

自転車マーク関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
平面地図画面と3Dビューで地名表示が異なる。	画面が煩雑(複雑)にならないよう、文字情報の間引き処理を行なっています。また道路や地名などを複数表示することもあります。	故障ではありません。	—
現在地が正しく表示されない。	走行条件やGPS衛星の状態により、表示誤差が生じた。	GPS衛星電波を受信してください。	43
自転車を移動させても地図がスクロールしない。	現在地表示になっていない。	現在地 ボタンを押してください。	—
自転車マークが表示されない。	現在地表示になっていない。	現在地 ボタンを押してください。	—
走行すると道路が消える。	走行中は細街路を表示しません。	故障ではありません。	26
地図画面上のGPS受信表示がいつまでも灰色のまま。	GPSアンテナ上に物が置いてあるため、GPS衛星からの電波が受信できない。	アンテナ取付位置上部に物を置いたり、GPSアンテナにペンキやワックス等を塗ったりしないでください。また、積もった雪は、取り除いてください。	27
	GPS衛星の受信感度が悪い。	GPS衛星からの電波が安定するまでお待ちください。	43
自転車位置精度が悪い。	タイヤチェーンの装着、本システムの他車への載せ替えなどにより、車速パルスからの車速推定にずれ(進みや遅れ)が発生した。	しばらく(およそ30km/hの速度で30分程度)走行すると自動的に調整されます。	60
	GPS内蔵レーダー探知機を設置している。	本機やGPSアンテナから離れた位置にGPS内蔵レーダー探知機を設置するか、使用しないでください。	—

ナビゲーション

目的地/経由地/メニュー項目などが選択または設定できない

症状	原因	処置	参考ページ
再探索時、経由地を探索しない。	すでに経由地を通過した、または通過したと判断した。	通過した経由地を再び経由したい場合は、再度ルート設定を行なってください。	—
ルート情報が表示されない。	ルート探索を行っていない。	目的地を設定し、ルート探索を行なってください。	128～132
	“ルート案内”が停止になっている。	“ルート案内”を開始してください。	69, 143
ルート探索後、有料道路出入口付近を通っても、案内記号が表示されない。	自車マークが探索されたルート上を走行していない。(案内記号は、探索されたルート内容に関するマークのみを表示)	探索されたルート上を走行してください。	—
自動再探索ができない。	道幅が3m以下の細街路(灰色(細線)の道路)を走行している。または自動ルートがない。	探索対象道路を走行してください。または手動で再度探索をやり直してください。ただし、このときは全ルート探索を行ないます。	131、132、140、227、228
経由地が設定できない。	すでに経由地を5か所設定している。	経由地は5か所以上設定することはできません。数回に分けて探索を行なってください。	—

音声案内関係

症状	原因	処置	参考ページ
音声案内しない。	探索されたルートを外れている。	探索されたルートに戻るか、再度ルート探索を行なってください。	128～132、141
	“ルート案内”が停止になっている。	“ルート案内”を開始してください。	69, 143
	消音 ボタンをタッチして音声を出なくしている。	− / + ボタンをタッチするか 消音 ボタンをタッチして解除してください。	263
	音声案内をしない設定にしている	音声案内をする設定にしてください。	251～254
実際の道路と案内が異なる。	音声案内の内容は右左折する方向、他の道路との接続形態などにより異なった内容になる場合があります。	実際の交通ルールにしたがって走行してください。	—

「故障かな？」と思ったら

その他

故障かな？と思ったら(3)

ナビゲーション

ルート探索関係

症状	原因	処置	参考ページ
探索されたルートが表示されない。	目的地の近くに道路がない。	目的地を近くの道路まで位置修正してください。特に、上り下りで道路が別々に表示されているような場所では進行方向に注意の上、道路上に目的地や経由地を設定してください。	—
	出発地と目的地が近い。	距離を離してください。	—
探索されたルートが途切れて表示される。	探索では、細街路* (灰色(細線)の道路)を使用しないエリアがあるため*、現在地または経由地が途中から表示されたり、または途切れたりすることがあります。	故障ではありません。	—
大回りな自動ルートを探索する。	探索では、細街路* (灰色(細線)の道路)を使用しないエリアがあるため*、大回りなルートになることがあります。	基本道路(灰色(細線)以外の道路)に近づけて設定してください。	—
	出発地、目的地付近の道路に規制がある(一方通行など)ときに遠回りのルートを出すことがあります。	出発地や目的地を少しずらして設定してください。 または、通りたいルートに経由地を設定してください。	—
	細街路* (灰色(細線)の道路)を探索に使用するエリアでは、現在地および目的地(経由地)付近では左折を優先しているため、遠回りになることがあります。	故障ではありません。	—
	車の方向(矢印の向き)が目的地方向と逆のときは進行方向にそってルートを作成するため、遠回りのルートを作成することがあります。	故障ではありません。	—
ランドマークの表示が実際と異なる。	地形データの不備や誤りにより起こることがあります。	地図ソフトが古い場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
出発地、経由地、目的地から離れたポイントにルートが引かれる。	地図上の出発地、経由地、目的地付近に経路探索用のデータが入っていないため、ルート案内の開始、経由、終了点が離れてしまう。	近くの道路上に目的地を設定してください。ただし、近くの道路が細街路(灰色(細線)の道路)の場合、少し離れた一般道路からルートが引かれる場合があります。	—

ナビゲーション

症状	原因	処置	参考ページ
意図したルートとは違うルートが引かれる。	目的地の近くに探索可能な道路がない。	目的地と逆の車線に設定されたりし、正しいルートが作れないことがありますので、目的地は最詳細地図で車線等を確認して設定してください。	470
	目的地を建物の中心に設定している。		
	中央分離帯のある道路の反対側に目的地・経由地を設定している。	一方通行を考慮してルート探索するので大回りなルートを引く場合があります。最詳細地図で車線などを確認して設定してください。	470

* : 政令指定都市、および県庁所在地以外(地図ソフトの更新により変わることがあります。)

※ : 細街路とは道幅5.5m未満の道路のことをいいます。

VICS関係

症状	原因	処置	参考ページ
VICS情報(レベル1とレベル2)が表示されない。	VICS情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。	—
	交通情報番組を選択していない。	交通情報番組(VICS)を受信します ボタンを選択してください。	170、171
VICS情報(レベル3)が表示されない。	VICS情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。	—
	交通情報番組(VICS)を受信します ボタンを選択していない。	交通情報番組(VICS)を受信します ボタンを選択してください。	170、171
一般情報が表示されない。	一般情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。	—
	一般情報番組を受信します ボタンを選択していない。	一般情報番組を受信します ボタンを選択してください。	170、171

「故障かな?」と思ったら

その他

故障かな？と思ったら(4)

リアカメラシステム関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
カメラ映像が出ない。	シフトレバーがRの位置になっていない。	シフトレバーがRの位置になっているか確認してください。	290
カメラ映像の映りが悪い。	前面のレンズカバーが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。	292
カメラ映像に白い光の縦線が入る。	CCD素子を利用したカメラの特性です。	故障ではありません。	—
リアカメラのガイド表示が出ない。	ガイド表示が設定されていない。	販売店で車種にあわせた設定と調整を行なってください。	—
	ガイド表示が ガイドOFF になっている。	シフトレバーがRの位置になっている状態で画面をタッチし、 ガイドON ボタンをタッチしてください。	290
リアカメラのガイド表示が正しく合っていない。	ガイド表示が正しく調整されていない。	販売店での調整が必要です。	—
	乗車している人数や荷物、地形の影響などで車両が傾いている。	平らな場所や荷物を下ろした状態でご確認ください。ガイド表示の調整が必要な場合は販売店にご相談ください。	—

フロントカメラ／コーナーカメラシステム関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
カメラ映像が出ない。	車速が速い。	減速してください。	—
	加速した。		
カメラ映像の映りが悪い。	前面のレンズカバーが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いて下さい。	298
カメラ映像に白い光の縦線が入る。	CCD素子を利用したカメラの特性です。	故障ではありません。	—
コーナーカメラのガイド表示が出ない。	ガイド表示が ガイドOFF になっている。	徐行もしくは停止した状態で画面をタッチし、 ガイドON ボタンをタッチしてください。	298
コーナーカメラのガイド表示が正しく合っていない。	ガイド表示が正しく調整されていない。	販売店での調整が必要です。	—
	乗車している人数や荷物、地形の影響などで車両が傾いている。	平らな場所や荷物をおろした状態でご確認ください。ガイド表示の調整が必要な場合は販売店にご相談ください。	—

ラジオ

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
ラジオの自動選局ができない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。	311
ラジオで“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。	—
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りが良くなり、雑音が少なくなります。	—
ラジオまたはTVの入りが悪い。	エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。	車両側の電装品が動くとノイズが入る場合があります。電装品の動作を止めると良くなる場合があります。	—
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—

ワンセグ

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
字幕が出ない。	字幕のある番組を選局していない。	字幕のある番組を選局してください。	—
受信できない。	エリア変更をしていない。	エリアを変更してください。	329、 330
	放送エリア内にいない。	地上デジタル(ワンセグ)テレビ放送は、現在のアナログテレビ放送との混信を避けるために、当初は受信エリアが限られています。順次拡大される予定です。	—
	アンテナ電源の設定が正しく設定されていない。 ※アンテナ端子やアンテナコードをショートさせた場合や、アンテナの故障等で過電流を検出すると自動的に【電源切】に設定されます。	アンテナ電源を【電源入】に設定してください。 ※設定できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	351
番組表が表示されるまでに時間がかかる。	データ取得中のためです。	多少時間がかかることがあります。	—
本機に設定した内容、プリセット登録などが消失している。	・初期化を行なった ・本機の使用を誤った ・ノイズの影響を受けた ・修理を依頼した などにより本機に設定した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—

「故障がなっと思ったらい」

その他

故障かな？と思ったら(5)

CD、MP3/WMA

症 状	原 因	処 置	参考ページ
CD、MP3/WMAモードに切り替わらない。	CD、MP3/WMAが挿入されていない。	CD、MP3/WMAを挿入してください。	—
<ul style="list-style-type: none"> ●再生しなかったり、大きな雑音が出たり、再生が途中で止まる。 ●音がとんだり音質が悪い。 	CD、MP3/WMAの不良。	他のCD、MP3/WMAを聞いてみてください。よくなればCD、MP3/WMAの不良の可能性があります。	—
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクのクリーニング(やわらかい布などでディスクの汚れを拭きとるなど)をしてみてください。また、キズのあるディスクは使用しないでください。	38
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまってしまう恐れがあります。ラベルがはがれてないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。	—
	CD-Rの場合は書き込みソフト/ハードの組み合わせや書き込み速度に左右されます。書き込みの深さ、幅(面積)等の規格が合わないと音切れや音とびをしたり、再生できない場合があります。	書き込み速度を遅くすると、安定して焼けますので一番遅い速度での書き込みをお試しください。	—
CD、MP3/WMAが入らない。	結露している。	CD、MP3/WMAを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	すでにCD、MP3/WMAが入っていて2枚目をいれようとしている。	入っているCD、MP3/WMAを取り出してから、次のCD、MP3/WMAを入れてください。	—
CD-RやCD-RWを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。	—
ディスクを取り出したときディスクが熱い。	<ul style="list-style-type: none"> ●本体を長時間使用していた。 ●ディスクを長時間再生していた。 	長時間使用すると本体内部の温度が上がり、ディスクを取り出すとディスク自体が熱くなることがあります。本体のディスク読み取り性能およびディスクへの影響はございませんので気をつけて取り出してください。	—

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
MP3/WMAファイル を再生できない。	CD-DAデータとMP3ファイルが混在しているディスクを再生しようとした。	CD-DAデータとMP3ファイルが混在している場合、MP3ファイルは再生できません。	—
	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	—
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。	—
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたMP3/WMAファイルにしてください。	—
再生が始まるまでに時間がかかる。または止まる。	MP3/WMAディスクを再生する場合ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3/WMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください。(MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けたCD-R、CD-RWを再生しないでください。)	—
聞きたいMP3/WMAファイルが見つからない。	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	—
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。	—
ファイル再生が、記録した順と異なる。	MP3/WMAファイルの再生順序は、CD-R/CD-RW書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。	—

故障かな？と思ったら(6)

SD、USB

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
SD、USBの再生画面を表示しない。	SDカード未挿入／USBメモリデバイス未接続。	SDカードを挿入またはUSBメモリデバイスを接続してください。	—
MP3／WMA／AACファイルを再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルにしてください。	382～384、404～406
再生が始まるまでに時間がかかる。	SDカードまたはUSBメモリデバイスに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA／AAC以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」、AAC形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けたファイルは再生しないでください。	—
USBメモリデバイスを認識していない。	対応しないUSBメモリデバイスの可能性があります。	別のUSBメモリデバイスで試してください。	404～406、409
	USB接続コードが正しく接続されていない。	USB接続コードが正しくUSBメモリデバイスに接続されているか確認してください。	
SDカードの再生が始まらない。	本機で再生できないSDカードを挿入している。	再生可能なSDカードを挿入してください。	383
	結露している。	SDカードを取り出して電源を切った状態でしばらく放置してから使用してください。	—
SDカードを初期化できない。	誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。	SDカードに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。	—
PHOTOモードが再生できない。	PHOTOモードになっていない。	AV SOURCE画面から「PHOTOモード」に切り替えてください。	294、295
	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたファイルにしてください。	440

iPod

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
正常に動作しない。	接続不良。	別売のUSB接続コードにiPod本体に付属されているUSBケーブルを使って、iPodを確実に接続してください。iPodが正常に動作しない場合はiPodをリセットしてください。	—
	再生可能なデータがない。	再生可能なデータをiPod本体に転送してください。	—
正常に動作しない。	iPodのソフトウェアバージョンが古い。	iPodのソフトウェアを本機で対応しているバージョンにバージョンアップしてください。	417
iPodを接続しているのに画面にiPodの接続をうながすメッセージが表示される。	iPodビデオ認証中に車のエンジンスイッチを変更した。	iPodを接続しなおしてください。	—

こんなメッセージが出たときは(1)

■下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

ナビゲーション

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“受信局が変化しました。情報を受信中です。”(FM多重)	FM多重のVICS情報(レベル1/レベル2)表示中に受信周波数が変わり、その後、FM多重の情報を受信したが、表示可能な情報ではないとき。	表示可能な情報が受信できるまでは、“受信局が変化しました。情報を受信中です。”が表示されたままとなります。しばらく待っても表示が変わらない場合は、放送エリア外にある、または、エリア内にあるが電波状況が悪く、受信できない可能性があります。	—
“情報の受信中です。”(FM多重)	FM多重の表示しようとしている情報が受信できていないとき。(受信感度は良い)	受信できるまでしばらくお待ちください。	—
“サーチ中は登録できません。”(FM多重)	放送局のサーチ中に、 プリセット ボタンをタッチしたとき。	サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。表示されている周波数が保存されます。	186
“放送局は登録されていません。”(FM多重)	放送局を1つもプリセットしていないときに、 プリセット ボタンをタッチしたとき。	あらかじめ、放送局をプリセットしておかないと、この機能は働きません。	186
“情報を受信していません。”(FM多重)	受信エリア外に居るとき。	受信エリア外では、受信できません。	—
	受信エリア内に居るが、電波状況が悪く、受信できないとき。	場所を移動してみてください。	—
	放送局のサーチ中に 文字情報 / 図形情報 ボタンをタッチしたとき。	サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。	—
	VICS放送局を受信しているが、一般情報を受信する設定になっているとき。	交通情報を受信する場合は、交通情報を受信する設定にし、VICS放送局を受信してください。また、一般情報を受信する場合は、一般情報を受信する設定にし、一般情報放送局を受信してください。	165、 167
	一般情報放送局を受信しているが、交通情報を受信する設定になっているとき。	交通情報を受信する場合は、交通情報を受信する設定にし、VICS放送局を受信してください。また、一般情報を受信する場合は、一般情報を受信する設定にし、一般情報放送局を受信してください。	165、 167
“この情報は表示できません。”	走行中に文字情報または図形情報を表示しようとしたとき。	パーキングブレーキ信号入力リード線を配線していない場合は、配線してください。安全な場所に車を止めてください。	取付書参照

ナビゲーション

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“SDカードがありません。”	SDカードが挿入されていないとき。	指定のWebサイトから地点/ルート探索したデータが書き込まれているSDカードを挿入してください。	—
	SDカードは挿入されているが、認識できていないとき。	SDカードを一旦抜いてから再度確実に差し込んでください。	—
“該当するデータがありません。”	SDカード内に該当するデータがないとき。	指定のWebサイトからデータを書き込みしてください。	—

オーディオモード

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“しばらくお待ちください。”	ディスクを読込中です。	表示が消えるまでしばらくお待ちください。	—
“信号が受信できません。”	放送エリア外にいるとき。	放送エリア外では受信できません。	—
	地形や周囲の構造物などの影響で受信状態が悪いとき。	受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	アンテナの故障が考えられるとき。	停車時に受信レベル確認画面でレベル数値が40以上あるか確認してください。レベル数値が低い場合、アンテナの故障や正しく取り付けられていないことが考えられます。正しく取り付けられているか確認してください。	349～ 351 取付
	車の走行速度が速いとき。	法定速度内でも受信できない場合があります。	—
	パソコンや携帯電話などを使用しているとき。	車内で使用している電子機器、無線利用機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。また、違法無線局などの影響を受ける場合があります。	—
放送エリア内にいるが、受信できないとき。	社団法人デジタル放送推進協会(Dpa)で公表されている放送エリアのめやすは固定受信機を想定しているため、車載機では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—	

「こんなメッセージが出たときは」

その他

こんなメッセージが出たときは(2)

オーディオモード

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“このキーにはプリセットの設定がされていません。”	プリセット設定がされていない 11～12ボタン(プリセット呼出ボタン)をタッチしたとき。	チャンネルリスト画面またはチャンネル一覧でチャンネルを確認してください。	334～338、512、513
“再生ファイルがありません。SDカードを確認してください。”	●SDカードに再生可能なMP3/WMA/AACファイルがないとき。	再生可能な音楽ファイルが入ったSDカードを挿入してください。	—
“再生ファイルがありません。USBデバイスを確認してください。”	USBメモリデバイスに再生可能なMP3/WMA/AACファイルがないとき。	再生可能な音楽ファイルが入ったUSBメモリデバイスを接続してください。	—
“しばらくお待ちください。”	ディスクを読み込み中です。	正常な動作ですので、そのままお待ちください。	—
	ファイル数が多いSDカード/USBメモリデバイスの場合、再生が開始されるまでに時間がかかります。	正常な動作ですので、そのままお待ちください。	—
	メッセージが表示されたままで再生ができない場合、読み込みエラーをおこしている可能性があります。	しばらく待ってから電源をオフにし、SDカード/USBメモリデバイスを一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をオンにしてください。	48
“再生可能な画像がありません”	SDカード/USBメモリデバイスに再生可能なJPEGファイルがないとき。	拡張子がJPGであるJPEGファイルをSDカード/USBメモリデバイスに入れてください。	—
“SDカードが挿入されていません。SDカードを挿入してください。”	SDカードが差し込まれていない。	再生可能なファイルが入ったSDカードを差し込んでください。	—
	SDカードは差し込まれているが、認識できない。	電源をオフにし、SDカードを一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をオンにしてください。	48
“使用できないSDカードが挿入されています。SDカードを確認してください。”	使用できないSDカードが差し込まれている。	対応可能なSDカードを使用し、本機で初期化したSDカードを使用してください。	379
“ディスクを入れてください”	ディスクが入っていないとき。	正しいディスクを挿入してください。	—
“走行中は映りません。”	走行中にワンセグまたは“VTR(映像がある場合)”を見ようとしたとき。	安全のため、車を完全に停止しないと、映像(動画)を見ることはできません。安全な場所に車を停車させてから、操作してください。	—

オーディオモード

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“再生可能なディスクを入れてください。”	<ul style="list-style-type: none"> ●本機で再生できないディスクをいれているとき。 ●CDが逆にセットされているとき。 ●ディスクに汚れ／異常があるとき。 ●音楽用ディスク以外のディスクがセットされているとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●本機で再生できるディスクを入れてください。 ●ディスクを正しくセットしてください。 ●ディスクの汚れを拭きとってください。 ●別のディスクを入れてみてください。表示が消えれば、前のディスクに異常がある可能性があります。 ●正しいディスクをセットしてください。 	—
“iPodと通信できません。iPodを再度接続しなおしてください。”	iPodと通信できない、またはiPodと認証できないとき。	iPodを本機から一度取り外し、iPodを再接続してください。	—
“この画像は表示できません。”	対応していないJPEG画像を表示しようとしたとき。	本機が対応している形式のJPEG画像をSDカード／USBメモリーデバイスに入れてください。	440
“USBデバイスが接続されていません。USBデバイスを接続してください。”	USBメモリーデバイスが接続されていないとき。	再生可能なファイルが入ったUSBメモリーデバイスを接続してください。	409
“接続されているUSBデバイスでは、再生することができません。”	非対応のUSBメモリーデバイス（USBマウスなど）が接続されているとき。	本機が対応しているUSBメモリーデバイス（USBフラッシュメモリ）を使用してください。	—

こんなメッセージが出たときは

その他

チャンネル一覧

地域設定で選択された地域の、放送局とプリセット登録されるチャンネルの組み合わせは、下記のようになります。

※他地域(旅行などのおでかけ先)の放送を受信されたときは、下記のようにならない場合があります。割り当てられた放送が実際に開始される時期は地域により異なります。また放送の開始時は地上アナログ放送との混信を避けるために、非常に小さい出力で放送されるため受信できるエリアが限定されます。

※放送局側の都合により放送局名等変更になる場合があります。

■表のみかた

徳島	お住まいの地域
① 四国放送	チャンネル番号
2 NHK教育・徳島	放送局名
3 NHK総合・徳島	

(2009年3月現在)

お住まいの地域	北海道(札幌)	北海道(函館)	北海道(旭川)	北海道(帯広)	北海道(釧路)	北海道(北見)
放送局名	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・札幌 3 NHK総合・札幌 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・函館 3 NHK総合・函館 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・旭川 3 NHK総合・旭川 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・帯広 3 NHK総合・帯広 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・釧路 3 NHK総合・釧路 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・北見 3 NHK総合・北見 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB

お住まいの地域	北海道(室蘭)	宮城	秋田	山形	岩手	福島
放送局名	1 HBC北海道放送 2 NHK教育・室蘭 3 NHK総合・室蘭 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 TBCテレビ 2 NHK教育・仙台 3 NHK総合・仙台 4 ミヤギテレビ 5 KHB東日本放送 8 仙台放送	1 NHK総合・秋田 2 NHK教育・秋田 4 ABS秋田放送 5 AAB秋田朝日放送 8 AKT秋田テレビ	1 NHK総合・山形 2 NHK教育・山形 4 YBC山形放送 5 YTS山形テレビ 6 テレビユー山形 8 さくらんぼテレビ	1 NHK総合・盛岡 1 TBCテレビ 2 NHK教育・盛岡 4 テレビ岩手 4 ミヤギテレビ 5 岩手朝日テレビ 5 KHB東日本放送 6 IBCテレビ 8 めんこいテレビ 8 仙台放送	1 NHK総合・福島 1 TBCテレビ 2 NHK教育・福島 4 福島中央テレビ 4 ミヤギテレビ 5 KFB福島放送 5 KHB東日本放送 6 テレビユー福島 8 福島テレビ 8 仙台放送

お住まいの地域	青森	長野	新潟	石川	福井	富山
放送局名	1 RAB青森放送 2 NHK教育・青森 3 NHK総合・青森 5 青森朝日放送 6 ATV青森テレビ 6 HTB北海道テレビ 8 UHB	1 NHK総合・長野 2 NHK教育・長野 4 テレビ信州 5 abn長野朝日放送 6 SBC信越放送 8 NBS長野放送	1 NHK総合・新潟 2 NHK教育・新潟 4 TeNYテレビ新潟 5 新潟テレビ21 6 BSN 8 NST	1 NHK総合・金沢 1 KNB北日本放送 2 NHK教育・金沢 4 テレビ金沢 5 北陸朝日放送 6 MRO 8 石川テレビ 8 BBT富山テレビ	1 NHK総合・福井 2 NHK教育・福井 6 MRO 7 FBCテレビ 8 福井テレビ	1 KNB北日本放送 2 NHK教育・富山 3 NHK総合・富山 6 チューリップテレビ 6 MRO 8 BBT富山テレビ 8 石川テレビ

お住まいの地域	愛知	静岡	三重	岐阜	東京	神奈川
放送局名	1 東海テレビ 2 NHK教育・名古屋 3 NHK総合・名古屋 4 中京テレビ 5 CBC 6 メ〜テレ 7 三重テレビ 8 岐阜テレビ 10 テレビ愛知	1 NHK総合・静岡 2 NHK教育・静岡 4 静岡第一テレビ 5 静岡朝日テレビ 6 SBS 8 テレビ静岡	1 東海テレビ 2 NHK教育・名古屋 3 NHK総合・津 4 中京テレビ 5 MBS毎日放送 5 CBC 6 メ〜テレ 6 ABCテレビ 7 三重テレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ 10 テレビ愛知	1 東海テレビ 2 NHK教育・名古屋 3 NHK総合・岐阜 4 中京テレビ 5 CBC 6 メ〜テレ 7 三重テレビ 8 岐阜テレビ 10 テレビ愛知	1 NHK総合・東京 2 NHK教育・東京 3 tvk 4 ティバテレビ 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 フジテレビジョン 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	

お住まいの地域	群馬	茨城	千葉	栃木	埼玉	山梨
放送局名	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・水戸	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・甲府
	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・甲府
	3 群馬テレビ	3 チバテレビ	3 チバテレビ	3 とちぎテレビ	3 テレビ玉	4 YBS山梨放送
	4 テレビ玉	4 日本テレビ	3 tvk	4 日本テレビ	3 群馬テレビ	4 日本テレビ
	4 日本テレビ	5 テレビ朝日	3 テレビ玉	5 テレビ朝日	3 チバテレビ	5 テレビ朝日
	5 テレビ朝日	6 TBS	4 日本テレビ	6 TBS	4 日本テレビ	6 UTY
	6 TBS	7 テレビ東京	5 テレビ朝日	7 テレビ東京	5 テレビ朝日	6 TBS
	7 テレビ東京	8 フジテレビジョン	6 TBS	8 フジテレビジョン	6 TBS	7 テレビ東京
	8 フジテレビジョン	9 TOKYO MX	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	8 フジテレビジョン
	12 放送大学	12 放送大学	8 フジテレビジョン	12 放送大学	8 フジテレビジョン	
			9 TOKYO MX		9 TOKYO MX	
			12 放送大学		12 放送大学	

お住まいの地域	大阪	京都	兵庫	和歌山	奈良	滋賀
放送局名	1 NHK総合・大阪	1 NHK総合・京都	1 NHK総合・神戸	1 NHK総合・和歌山	1 NHK総合・奈良	1 NHK総合・大津
	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪
	3 サンテレビ	3 サンテレビ	3 サンテレビ	4 MBS毎日放送	3 サンテレビ	3 BBCびわ湖放送
	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	5 テレビ和歌山	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送
	5 KBS京都	5 KBS京都	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	5 KBS京都	5 KBS京都
	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	7 テレビ大阪	8 関西テレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ
	7 テレビ大阪	7 テレビ大阪	8 関西テレビ	10 読売テレビ	7 テレビ大阪	8 関西テレビ
	8 関西テレビ	8 関西テレビ	10 読売テレビ		8 関西テレビ	10 読売テレビ
	10 読売テレビ	10 読売テレビ			9 奈良テレビ	
					10 読売テレビ	

お住まいの地域	愛媛	香川	徳島	高知	広島	岡山
放送局名	1 NHK総合・松山	1 NHK総合・高松	1 四国放送	1 NHK総合・高知	1 NHK総合・広島	1 NHK総合・岡山
	2 NHK教育・松山	2 NHK教育・高松	2 NHK教育・徳島	2 NHK教育・高知	2 NHK教育・広島	2 NHK教育・岡山
	4 南海放送	4 RNC西日本テレビ	3 NHK総合・徳島	4 高知放送	3 RCCテレビ	4 RNC西日本テレビ
	4 RNC西日本テレビ	4 MBS毎日放送	3 サンテレビ	6 テレビ高知	4 広島テレビ	5 KSB瀬戸内海放送
	4 広島テレビ	5 KSB瀬戸内海放送	4 MBS毎日放送	8 さんさんテレビ	5 広島ホームテレビ	6 RSKテレビ
	5 愛媛朝日	6 RSKテレビ	5 テレビ和歌山		8 TSS	7 テレビせとうち
	5 広島ホームテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ			8 OHKテレビ
	6 あいテレビ	7 テレビせとうち	7 テレビ大阪			
	6 RSKテレビ	8 OHKテレビ	8 関西テレビ			
	7 テレビせとうち	8 関西テレビ	10 読売テレビ			
8 テレビ愛媛	10 読売テレビ					
8 TSS						

お住まいの地域	島根	鳥取	山口	福岡	熊本	長崎
放送局名	1 日本海テレビ	1 日本海テレビ	1 NHK総合・山口	1 KBC九州朝日放送	1 NHK総合・熊本	1 NHK総合・長崎
	2 NHK教育・松江	2 NHK教育・鳥取	1 KBC九州朝日放送	2 NHK教育・福岡	1 KBC九州朝日放送	1 KBC九州朝日放送
	3 NHK総合・松江	3 NHK総合・鳥取	2 NHK教育・山口	2 NHK教育・北九州	2 NHK教育・熊本	2 NHK教育・長崎
	6 BSSテレビ	6 BSSテレビ	3 tysテレビ山口	3 NHK総合・福岡	3 RKK熊本放送	3 NBC長崎放送
	8 山陰中央テレビ	8 山陰中央テレビ	3 OBS大分放送	3 NHK総合・北九州	3 STSサガテレビ	3 RKK熊本放送
			4 KRY山口放送	3 RKK熊本放送	4 KKTくまもと県民	4 NIB長崎国際テレビ
			4 RKB毎日放送	3 STSサガテレビ	4 RKB毎日放送	4 RKB毎日放送
			5 yab山口朝日	4 RKB毎日放送	5 KAB熊本朝日放送	4 KKTくまもと県民
		5 FBS福岡放送	5 FBS福岡放送	7 TVQ九州放送	5 NCC長崎文化放送	
		7 TVQ九州放送	7 TVQ九州放送	8 TKUテレビ熊本	8 KTNテレビ長崎	
		8 TNCテレビ西日本	8 TNCテレビ西日本	8 KTNテレビ長崎	8 TNCテレビ西日本	
					8 TKUテレビ熊本	

お住まいの地域	鹿児島	宮崎	大分	佐賀	沖縄
放送局名	1 MBC南日本放送	1 NHK総合・宮崎	1 NHK総合・大分	1 NHK総合・佐賀	1 NHK総合・那覇
	2 NHK教育・鹿児島	1 MBC南日本放送	1 KBC九州朝日放送	1 KBC九州朝日放送	2 NHK教育・那覇
	3 NHK総合・鹿児島	2 NHK教育・宮崎	2 NHK教育・大分	2 NHK教育・佐賀	3 RBCテレビ
	3 UMKテレビ宮崎	3 UMKテレビ宮崎	3 OBS大分放送	3 STSサガテレビ	5 GAB琉球朝日放送
	4 KYT鹿児島読売TV	5 KKB鹿児島放送	4 TOSテレビ大分	3 RKK熊本放送	8 沖縄テレビ(OTV)
	4 KKTくまもと県民	6 MRT宮崎放送	4 南海放送	3 NBC長崎放送	
	5 KKB鹿児島放送	8 KTS鹿児島テレビ	4 RKB毎日放送	4 RKB毎日放送	
	5 KAB熊本朝日放送		5 OAB大分朝日放送	5 FBS福岡放送	
6 MRT宮崎放送		5 FBS福岡放送	7 TVQ九州放送		
8 KTS鹿児島テレビ		7 TVQ九州放送	8 TNCテレビ西日本		
8 TKUテレビ熊本		8 TNCテレビ西日本	8 TKUテレビ熊本		
			8 KTNテレビ長崎		

用語説明(1)

トラック

CDに収録されている曲の区切り(1曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラック番号と呼びます。

VTRモード

市販のビデオデッキやポータブルオーディオ機器などの外部機器の出力を入力する機能です。VTR端子から入力された映像や音は、VTRモードに切り替えることにより、本システムを使って見たり、聞くことができます。

MP3

MP3はMPEG Audio Layer3の略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聞き取れない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1/10のサイズにすることができます。

ID3タグ/WMAタグ

MP3ファイル、WMAファイルには、IDタグ、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトルやアーティスト名などを保存できます。ID3タグ、WMAタグに対応したプレイヤーでID3タグ、WMAタグ情報の表示・編集が可能です。

エンコーダ

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をするソフトウェアです。

エンコード

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をすることです。エンコードを行なうソフトウェアをエンコーダと呼びます。

セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを、“セッション”と言います。本機は、同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合、最初のセッションに記録されているデータしか再生できません。(ディスクによっては再生できない場合もあります。)セッションをクローズした後に、データを追加した場合は、第2セッション以降に書き込まれるので、本機では再生できません。

サンプリング周波数

アナログ信号からデジタル信号への変換(AD変換)を1秒間に何回行なうかを表す数値のことです。

ルートフォルダ

ツリー型ディレクトリ構造の最上層にあるディレクトリのことをさします。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (ATRAC3 など) での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音になります。(MP3 と ATRAC3 のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

VBR

「Variable Bit Rate (可変ビットレート)」の略です。一般的には CBR (固定ビットレート) が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

WMA

「Windows Media Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player ver.7 以降を使用してエンコードすることができます。Microsoft、Windows Media、Windows のロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

AAC

「Advanced Audio Coding」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3/WMA よりさらに高圧縮にもかかわらず原音にかぎりなく近い高音質にて再生が可能です。

マストレージクラス

正式名称は USB マストレージクラスといい、USB 接続された周辺機器を外外部ドライブとして認識させる仕組みのことです。デジタルカメラ関連製品でよく使われています。

DRM (デジタル著作権管理)

デジタルデータの著作権を保護する技術。音声・映像ファイルにかけられる複製の制限技術で不正利用を防ぎます。本機は WMA の DRM に対応していないため、Windows Media Player を使用して WMA を作成するときは「保護された音楽を録音する (Ver. によって表現が異なる場合があります。)」の項目にチェックを付けないでください。

Joliet (ジュリエット)

Microsoft 社が開発した CD 上でロングファイル名を扱えるようにした規格です。Joliet ではスペースを含む最大 64 文字までのファイル名に対応したユニコード (文字コード) で記録します。

SDカード

小型、軽量の IC 記録メディアです。「SDカード」対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができ、1枚の「SDカード」に異なる種類のデータを混在して記録することができます。

用語説明(2)

SDHC(エスディーエイチシー)

アソシエーションによって規格化されたSDメモリーカードの上位規格で4GB以上の記録が可能。転送速度も高速化され「class2(2MB/s)」「class4(4MB/s)」「class6(6MB/s)」をそれぞれ最低の保証速度としています。

音楽配信サイト

音楽を有料または無料でダウンロード提供するインターネット上のサービスサイト(ホームページ)です。

転送

パソコンからメディアまたはメディアからパソコンに曲を移すことです。

著作権

著作者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

コピーコントロールCD/レーベルゲートCD

PC(パソコン)などで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。



受信レベル

アンテナから入ってくる電波の質(信号と雑音の比率)です。受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、車のある場所、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

アスペクト比

画面の縦、横のサイズの比率のことです。アスペクト比には、4:3(普通のテレビ)と16:9(ワイドテレビ)の2種類あります。

LB(レターボックス)

16:9のワイド画像をアスペクト比4:3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像を垂直方向に圧縮することによって、4:3のテレビでも、正規の比率で画像を表示します。画面の上下には、黒い帯が入ります。

パン&スキャン(P&S)

16:9のワイド画像をアスペクト比4:3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像の左右をカットして、4:3のテレビで表示します。

字幕放送

画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。

本機では、字幕をOFFにしたり、字幕の言語を切り替えたりできます。

地上デジタルテレビ放送／ワンセグ

・地上デジタルテレビ放送

2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタルテレビ放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。

デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。

くっきりはっきりした高画質のHDTV(高精細度テレビ)や、文字や画像などのデータ放送があります。

※本機はハイビジョン放送には対応していません。

・ワンセグ

地上デジタルテレビ放送による携帯受信機向け放送サービスです。

データ放送

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができます。例えばお客様のお住まいの地域の天気予報を、いつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。

マルチビュー放送

1チャンネルで主番組・副番組の複数映像が送られる放送です。

例えば野球放送などでは主番組は通常の野球放送、副番組はそれぞれのチームをメインにした放送が行なわれます。

カスタマイズ

お客様の好み使い方にあわせて機能を設定しなおすことです。

ポッドキャスト

インターネットを使って配信されている音声データを誰でも気軽に好きなときに聞くことができるしくみで、iPodなどのオーディオプレーヤーと組み合わせると、音声・動画ファイルの最新データを自動的に蓄積することができます。

初期設定一覽

各種設定初期状態は下記のとおりです。

ナビゲーション

画面表示	メイン画面	北方向を上 スケール=25m
	右画面	北方向を上 スケール=200m
探索条件	探索条件=推奨 料金表示=普通車 自動再探索=する フェリーを優先=しない 季節規制考慮=する 時間規制道路を考慮=する スマートICを利用=しない ルート学習結果を利用=する VICS自動再探索=する VICS情報を考慮=する 統計交通情報を考慮=する	
F M 多重	受信番組設定 周波数設定	交通情報番組 (VICS) 自動選局=ON プリセット選局=未設定
エコドライブ情報	エコドライブ開始=中止 履歴=なし 評価履歴=残す エコドライブ表示=しない 評価レベル=初級 急加減速のお知らせ=する エコ速度超過のお知らせ=する アイドリングのお知らせ=する	
VICS	VICS表示設定	一般道=ON、 有料道=ON 規制=ON、 点滅=ON 駐車場=ON、 渋滞無し=OFF、渋滞混雑=ON

地図表示	地図表示設定	メイン画面 住所の色分けを表示=する 名称の文字サイズ=小 吹き出しを表示=する 標高地図を表示=する 地図モード=北向き 3Dの視覚調整=10目盛中左から 1目盛目
		右画面 右画面に地図表示=しない 住所の色分けを表示=する 名称の文字サイズ=小 吹き出しを表示=する 標高地図を表示=する 地図モード=北向き 3Dの視覚調整=10目盛中左から 1目盛目
		地図の色 昼夜切替え=スモール連動 標高地図色=季節連動
		表示項目 MAPCODEを表示=する 地図情報を表示=住所名 AUDIO情報を表示=しない 緯度・経度を表示=しない 登録地点を表示=する
		ルート案内 全ルートを表示=する ルート色=ピンク ルート情報を表示=しない JCTビューを表示=する 交差点拡大図を表示=する 交差点情報を表示=する リアル3Dを表示=する 方面看板を表示=する VICS案内=する 合流案内=案内中 踏み切り案内=案内中 専用レーン案内=する 盗難多発地点警告=しない AV画面中の案内割り込み=しない
		ランダムマーク カーディーラー=Honda Cars店
	現在地設定 矢印	

画面設定

案内音量	15目盛中左から8目盛目 消音=OFF	
軌跡／地点	軌跡記録スタート/ストップ=ストップ 軌跡保存データ=なし 登録地点=未登録	
到着予想	平均時速を自動で設定=する 一般道路=30km/h 国道=40km/h 有料道路=80km/h	
お知らせ	オイル交換=しない クリーンフィルター交換=しない 車検・点検=しない タイヤローテーション=しない 結婚記念日=しない 誕生日1=しない 誕生日2=しない お好み=しない	
オプションボタン	ミュート	
ETC設定	カード挿入表示=する ブザー=する ETC音声ガイド=する ETCレーン表示=する カード未挿入警告=する	
カメラ	フロント／コーナーカメラ 自動表示=いいえ 登録地点検知=はい カメラインジケータ表示=はい	(別売のフロント／コーナーカメラ接続時)
その他	キー操作音=する	

画質調整	色の濃さ	16 (カメラ映像 ^{*2})	ナビ、 カメラ映像 ^{*2} 共通
	色合い	16 (カメラ映像 ^{*2})	
	明るさ	31	
	明るさ (イルミ ^{*1} ON時)	12 (フロント／コーナー カメラは16)	
	コントラスト	16	

※ナビゲーション画面時は、色の濃さ／色合い／ディスプレイ選択は表示されません。

*1 イルミ=イルミネーション

*2 カメラ映像=リアカメラ・フロントカメラ・
コーナーカメラ

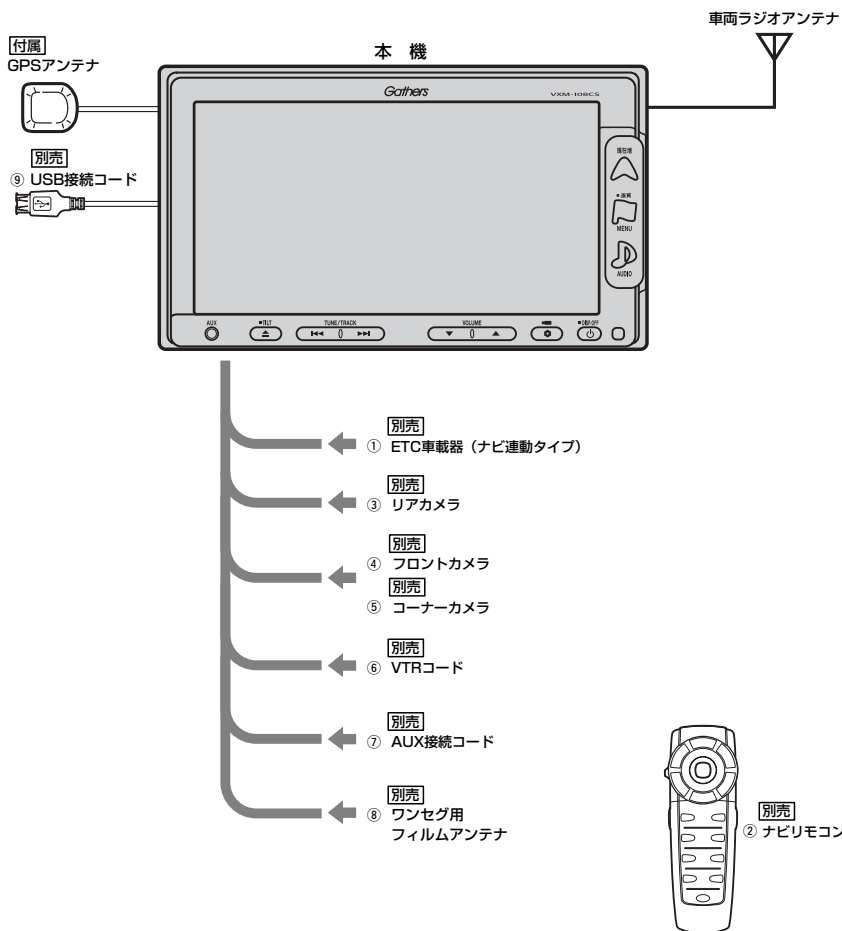
オーディオ設定

音質／音量バランス	BASS=0 TREBLE=0 BALANCE=0 FADE=0
車速連動音量	MIDDLE

ワンセグ

エリア変更	視聴エリア=東京 エリア変更=自動	
チャンネルリスト	チャンネルリスト=東京 プリセットリスト=未登録	
音声字幕	音声設定=音声1 主 字幕設定=字幕なし	
システム設定	各種設定	時計表示=する 中継・系列局 サーチ=自動
		アンテナ電源=電源入

別売品(システムアップ)について



① ETC車載器 (ナビ連動タイプ)

② ナビリモコン

本機でナビゲーション操作やオーディオ操作するための専用リモコンです。

③ リアカメラ

④ フロントカメラ

⑤ コーナーカメラ

⑥ VTRコード

市販のビデオカメラなどを接続する場合に必要です。

⑦ AUX接続コード

⑧ ワンセグ用フィルムアンテナ

地上デジタルテレビ放送(ワンセグ)を受信します。

⑨ USB接続コード

※本機で使用できる別売品については、お買い上げの販売店におたずねください。

主な仕様

モニター部

種類	液晶カラーモニター
駆動方式	TFTアクティブマトリックス方式
画面サイズ	7V型
使用光源	冷陰極管

地上デジタルテレビ部

受信チャンネル	000~999 UHF：13~62チャンネル
放送方式	地上デジタル放送方式(日本) ワンセグ
アンテナ入力端子	専用端子

ナビゲーション部

GPSアンテナ	マイクロストリップ 平面アンテナ
受信周波数	1575.42MHz (C/Aコード)
受信方式	パラレル16チャンネル
受信感度	-130dBm
位置更新時間	約0.5秒
フォーマット	オリジナルメモリーフォーマット

CD部

S/N	75dB以上
周波数特性	20~20,000Hz
高調波ひずみ率	0.1%以下(1kHz)

ラジオ・チューナー部

回路方式	AM/FM/MPX ラジオPLL方式
受信周波数	FM 76.0~90.0MHz AM 522~1629kHz
実用感度	FM 15dB μ AM 32dB μ
S/N比	FM 55dB AM 50dB
ステレオセパレーション	FM 30dB
歪率	FM 0.3% AM 0.5%

入出力端子

電源入力端子	24ピン専用コネクター
VTRコード接続端子	8ピン専用コネクター
GPSアンテナ入力端子	GPSコネクター
ラジオ入力端子 (VICS入力端子)	JASO ANTジャックメス ラジオ入力端子と共用)
ETC端子	5ピン専用コネクター
リアカメラ接続端子	5ピン専用コネクター
フロント/コーナercamera接続端子	7ピン専用コネクター
USB端子	4ピン専用コネクター
車両信号入力端子	3ピン専用コネクター
ワンセグアンテナ入力端子	2ピン専用コネクター
AUX	ミニジャック

その他

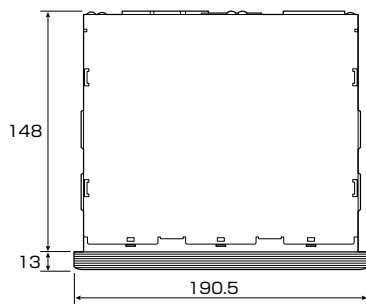
電源	DC12V
最大出力	45W×4 (15.2V)
外形寸法	約190.5×111×161mm (幅×高さ×奥行き) ※突起部は除く。
質量(本体のみ)	約2520g

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

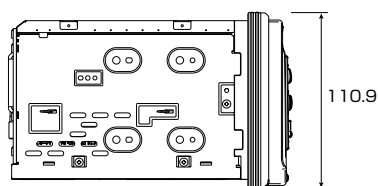
※モニター部の画面サイズのV型(7V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

構成内容

外形寸法図 (本体)



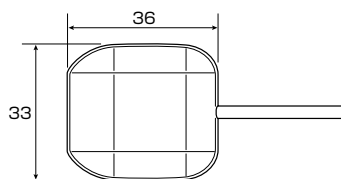
[平面図]



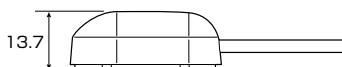
[左側面図]

(単位: mm)

(GPSアンテナ)



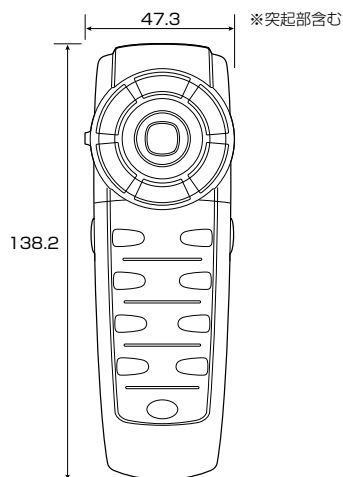
[平面図]



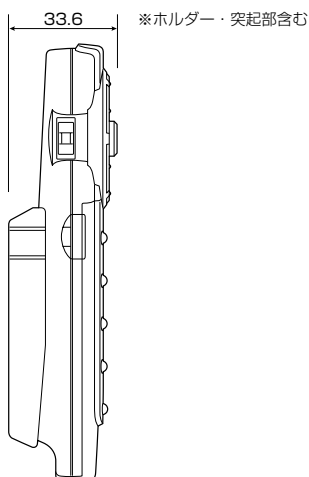
[側面図]

(単位: mm)

(ナビリモコン)



[平面図]



[側面図]

(単位: mm)

保証／アフターサービスについて

■保証について

- 保証書に記載された「販売会社印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

■アフターサービスについて

- 調子が悪いとき……………まず、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき……………保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げの販売会社に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理……………保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理……………修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品……………製造打ち切り後、最低6年間保有しています。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めの販売店へご相談ください。

索引

索引.....516~519

索引(1)

数字・アルファベット

1ルート／複数ルート探索をする	127～132
2画面表示にする	79～81
3Dビュー	57
3Dビューの角度を調整する	235、236
AUX/VTR	
AUX/VTRモードを切り替える	401
AUX機能/VTR機能を使う	397～399
各部の名称とはたらき	396
画面のサイズを変更する	400
時計を表示する	402
AV SOURCE画面のモードボタンについて	298
CD	
CDモードを終了する	359
CDを聞く	358、359
CDを取り出す	360
各部の名称とはたらき	356
再生を一時停止する	361
スキャン(イントロ)再生をする	362
早戻し/早送りをする	361
表示部(再生画面)について	357
ランダム(順序不同)再生をする	362
リピート(繰り返し)再生をする	362
ETC	
ETC情報を見る	221、222
ETCについて	271
ETCの基本操作	272
ETCを利用するには	273、274
各機能を設定するには	269、270
料金通過表示について	273
予告案内/警告表示について	274
GPS	
GPS衛星の電波受信と測位	43
iPod	
1曲ずつ選曲する(トラックを戻す/進める)	422
iPodとは	416
iPodを聞く	421
iPodを再生させるには	418
iPodを終了する	422
iPodを本機に接続すると	418
各部の名称とはたらき	419
再生を一時停止する	423
シャッフル再生する	430
使用上の注意	416
選曲モードより選択し、再生させる	425～429
対応可能なiPod	417
時計を表示する	431

早戻し/早送りをする	423
表示部(再生画面)について	420
リストより好きなトラックを選び再生させる	424
リピート(繰り返し)再生をする	430
MP3/WMA	
1ファイルずつ選曲する (トラックを戻す/進める)	376
MP3/WMAディスクを取り出す	375
MP3/WMAを聞く	374、375
MP3/WMAを終了する	375
各部の名称とはたらき	372
再生を一時停止する	377
好きなフォルダを選ぶ	378
スキャン(イントロ)再生をする	379
トラックリストより好きなトラックを選び 再生させる	377、378
早戻し/早送りをする	376
表示部(再生画面)について	373
ランダム(順序不同)再生をする	379
リピート(繰り返し)再生をする	379
PHOTO	
PHOTOモードを終了する	437
各部の名称とはたらき	434
画像を回転させる	440
画像を表示させる	436、437
画像を戻す/進める	441
表示について	435
フォルダを選択し、画像を表示させる	439
メディア(USB/SD)を選択する	438
QQコールを表示する	224
QQコールを利用する	223
SDカード/USBメモリデバイスについて	39、40
SDカードから地点を登録	218～220
SDカードからルート探索	156～158
SDカードの取り扱いかた	41
SDカードを入れる/取り出すには	48
USBメモリデバイスの 音楽再生について	404～406
USBメモリデバイスを使う	407～415
1曲ずつ選曲する(トラックを戻す/進める)	411
USBメモリデバイスの接続をやめるには	410
USBメモリデバイスを聞く	409、410
USBメモリデバイスを本機に接続するには	409
USBモードを終了する	410
各部の名称とはたらき	407
再生を一時停止する	412
好きなフォルダを選ぶ	414
スキャン(イントロ)再生をする	415

早戻し/早送りをする	411
表示部(再生画面)について	408
ランダム(順序不同)再生をする	415
リストより選曲する	412、413
リピート(繰り返し)再生をする	414

VICS

VICSの項目一覧	168
VICS放送局	165
一般情報とは	166
一般情報の内容(番組)について	166
一般情報放送局	167
エリア選局	182、183
緊急情報を見るには	176、177
交通情報(VICS情報)／一般情報の受信について	160
交通情報(VICS情報)とは	163
交通情報(図形情報)を見るには	174、175
交通情報(文字情報)／一般情報を見るには	172、173
交通情報／一般情報を表示するには	169
自動選局	178、179
自動選局を止める	179
受信する情報(交通情報／一般情報)を選ぶには	170、171
手動選局	180、181
操作画面について	168
表示について	163、164、166
プリセットした放送局に上書きする	186
プリセットした放送局を呼び出す	184、185
放送局をプリセット(保存)する	184~186
マーカー一覧表	165
VICS情報有料放送サービス契約約款	484、485
VICSの概要	482、483
VICS表示の設定	265、266

ア行

緯度・経度と地点設定	241、242
迂回探索	142
映像の調整のしかた	444~446
エコドライブ情報設定	187~193
グラフ表示	192
履歴を削除	191
履歴を見る	190
オプションボタン設定	267、268
主な仕様	512
音質／音量バランスの調整をする	299、300
音声案内について	82、83

音声案内の音量を調整するには	263、264
音声はそのまま画面を消すには	447
音声はそのままナビゲーション画面を表示する	449、450
音量調整	297

カ行

各部の名称とはたらき

ナビゲーション	50、51
ラジオ	304、305
ワンセグ	323~325
CD	356
MP3/WMA	372
AUX/VTR	396
SD	385
USB	407
iPod	419
PHOTO	434

キー操作音を止めるには

280

軌跡を使う

194~198

記録を止める	195
軌跡を表示	195
軌跡表示を止める	196
記録した軌跡を確認	197
削除する	198

基本表示の設定を変える

239、240

クイック機能について

69、70

クイックルートを探索する

77、78

現在地(自車)位置変更

260、261

現在地を表示するには

60

構成内容

513

交通情報を受信する

316、317

故障かな?と思ったら

486~497

個人情報の取り扱いについて

465

こんなメッセージが出たときは

498~501

サ行

再生できるディスクについて

36、37

再探索

141

市街地図(5m/12m/25mスケール)の

収録エリア

478~481

自車マークの種類を変える

262

自宅を登録する

71~74、199

車速連動音量を設定する

301、302

索引(2)

渋滞地点を確認する	155
渋滞予測ルートを探索	152~154
出発地・経由地・目的地の設定	470、471
初期設定一覧	508、509
自律航法とマップマッチング	44

タ行

地図画面の見かた	56、57
地図ソフトについて	472~475
地図の色を変える	237、238
地図の縮尺レベル	58
地図表示(方位)を切り替える	61、62
地図を動かす(地図スクロール)	63
地図を拡大/縮小する	59
地図を表示するには	54、55

地点を探す

SDカードで地点を探す	119~121
緯度・経度で地点を探す	116
施設のジャンルから地点を探す	96~98
自宅周辺の地図を表示する	99
住所で地点を探す	92~95
周辺にある施設から地点を探す	100~103
地図から地点を探す	122
地名から地点を探す [50音]	112、113
電話番号で地点を探す	90、91
登録地点で地点を探す	107~109
マップコードで地点を探す	117、118
名称で地点を探す [施設50音]	86~89
郵便番号で地点を探す	114、115
履歴の中から地点を探す	110、111

地点を登録する	75、76
ディスクの取り扱いかた	38
ディスクを入れる/取り出すには	46、47
ディスプレイ部の角度を調整する	49
データ初期化(消去)する	281、282
デモ走行をする	146
登録地点の地図を呼び出す	210~212
登録地点の並び替えをする	207~209
登録地点の編集/見る	200~206
登録地点を削除する	213~215

ナ行

ナビゲーションシステムとは	42
---------------	----

ハ行

パソコン連携(いつもドライプリンク)	52
表示できる施設	104~106
フォルダ名の編集	216、217
フロントカメラ/コーナーカメラ映像を表示する	283~289
映像を表示する	285
カメラの映像について	289
組み合わせて表示する	285
コーナーカメラガイドの表示	287
コーナーカメラガイドの見かた	288
設定をする	283
地点を登録する	286、287
平均速度を設定	226
別売品(システムアップ)について	510、511
保証/アフターサービスについて	514
ボタンの照明について	448

マ行

右画面地図表示の内容を設定	233、234
見たい地域を探す	63~65
メイン画面(地図)の設定を変える	231、232
メニュー項目一覧	67、68
メニューの基本操作	66
メンテナンス情報の設定	275~279

ヤ行

用語説明	504~507
------	---------

ラ行

ラジオを使う	303~315
FM/AM放送を切り替える	308
各部の名称とはたらき	304、305
選局する	311~313
表示部について	306
プリセット(メモリー)する	314、315
プリセット1/プリセット2を選ぶ	309、310
ラジオモードを終了する	308
ラジオを聞く	307
ランドマーク表示設定	258、259
リアカメラの映像を表示する	290~292
映像を表示する	290
カメラの映像について	292
警告文の位置を下げる	292
リアカメラガイドの表示	290

リアカメラガイドの見かた	291、292
リモコンを使う	451~464
ルート案内時の注意点	466~469
ルート案内設定	243~257
AV画面中案内割り込み設定	256、257
JCTビュー設定	246
交差点拡大表示	247
交差点情報表示	248
合流案内設定	252
専用レーン案内設定	254
全ルート表示	244
盗難多発地点警告設定	255、256
踏み切り案内設定	253
方面看板表示	250
リアル3D表示	249
ルート情報表示	245
ルート色設定	244
ルート案内をストップ/スタートする	143
ルート設定について	124~126
ルート探索条件の設定	227~230
ルート変更をする	133~140
経由地/目的地などの入れ替え	139
経由地の追加	135~138
経由地の変更/削除	139
出発地の変更	133、134
探索条件の変更	140
目的地の変更	135
ルートを編集	
現在のルート削除	149
現在のルート保存	148
現在のルートを表示	144、145
登録ルートの呼び出し/削除	150、151

ワ 行

ワンセグを使う	320~353
「ワンセグ」について	320
「ワンセグ」の画像について	322
「ワンセグ」の番組受信について	321
アンテナ電源の設定をする	351
エリアスキャンをする	332
エリア変更を自動に戻すには	331
音声や字幕を切り替える	346
各部の名称とはたらき	323~325
基本的な操作のながれ	326
視聴エリアの変更(地方/県域の設定)をする	329、330
受信可能な放送局(チャンネル)および受信レベルを確認する	349、350

スキャンについて	333
設定を初期化する	352、353
選ぶ	334~338
チャンネルリスト/プリセットリストを初期化する	339、340
中継・系列局サーチをする	345
テレビのアナログ放送からデジタル放送への移行についてのお知らせ	322
時計表示設定/中継・系列局	
サーチ設定	347、348
番組表を見る	343、344
プリセットメモリーをする	341、342
ワンセグモードにする	327、328
ワンセグモードを終了する	328